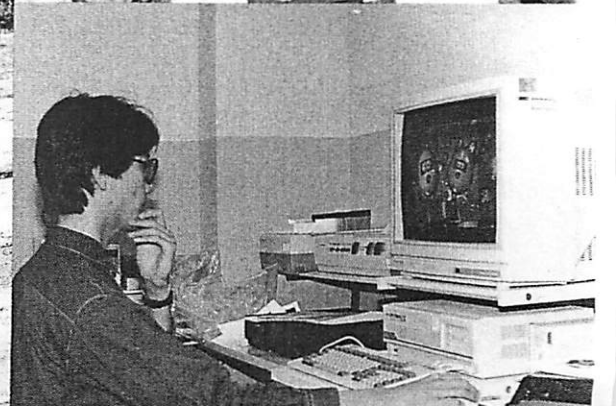


九州共立大学工学会誌

COM

1990. January No.7

『いい気持ちでいたい』



特集、コミュニケーションスペースを造ろう！

COM 1990・JANUARY No.7

『いい気持ちでいたい。』

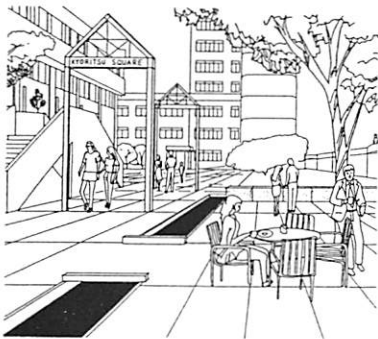
目次

I インタビュー ————— 1

COMの原点であるコミュニケーションを見つめ直して、主に教職員の皆さんに趣味や、学生時代の事などを話してもらいました。教職員と学生の距離が短くなる手助けとなれたら幸いです。



II コミュニケーション スペースを造ろう — 17



大学活性化と人間味をなくさない学生を増やすため、みんなが集まってくつろげる広場を造りたいと考えました。

III 学長インタビュー — 29



1のインタビューと2のコミュニケーションスペースのまとめとして、さらに学校が活性化するために伊東学長にインタビューしました。

IV 感動, 感動の嵐だわ!! — 31



映画や本などの印象に残ったセリフについて、それを深く考えてみました。

V 学科紹介 ————— 35



No.7のCOMから2学科ずつ順に紹介します。今回は電気科と環境化学科です。

VI 実況中継!! 共立大生の実態 39



共立大生の実態を知るために、生活と就職のアンケート調査をおこないました。共立のイメージの色は？と聞かれてぜひとも情熱の赤にしたいと考えます。

VII 海外研修(開発) 47



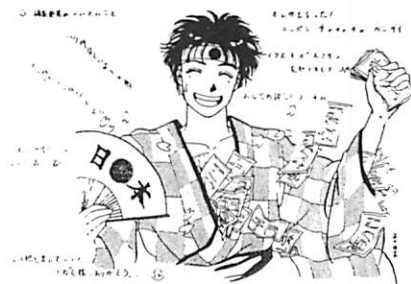
開発学科で毎年恒例の海外研修です。

VIII 研究室だより 51



工学部の教養学科、機械工学科、電気工学科、土木工学科、建築学科、開発学科、環境化学科の研究室の紹介です。

IX 言いたいことがあったら 言ってみろ! 67



日常の楽しかったこと、嬉しかったこと、不思議な体験や腹がたったことを解放マシーンという箱を設置して、いろいろな声を聞きました。

X 講演会 73



去る12月9日に吉野ヶ里の発掘調査で有名な高島忠平さんをお呼びし、講演会を開きました。

XI 編集後記 74



COMのメンバーお疲れさまでした。

INTERVIEW

誰かを深く知るということは、誰かを思いやりの心で理解すること。

この言葉はT・T・D(テレンス・トレント・ダービー)のセカンドアルバムの中に入っている曲名の1つですが、ここでは教職員の方々に学生時代の事や、趣味、夢、学生への一言などを語ってもらいました。COMの原点であるコミュニケーションという言葉を追求しての企画で、

その人の事を少しでも知っていればコミュニケーションをとりやすいし、自然にコミュニティできると思うのです。『誰かを深く知るということは、誰かを思いやりの心で理解すること。』この言葉を理解して教職員の方々のいい面を吸収してください。

汗を流す遊びをしましょう!!

教養学科・牧原先生編

教養学科で物理担当の牧原先生は遊びに、スポーツに、勉強にいそがしかったようです。ここでは先生の学生時代の過ごし方を中心にインタビューしました。

COM「先生の大学時代はどんな遊びをされましたか」

牧原「パチンコやマーじゃん等をのめり込まない程度に…。時々、授業をさぼったりして…」(笑)

「あとクラスでソフトボールのチームを作って、朝6時ぐらいから試合やったりしていました」

COM「朝6時からっていうのはすごいですね」

牧原「みんなで集まれる時間は授業の始まる前ぐらいしかなかった。放課後はみんな忙しかったので」

COM「そういえば、COM5号の研究室だよりに『ソフトボールで汗を流し、パチンコで集中力を、麻雀で判断力を養っている。』って書かれていましたね」

牧原「ん～。そういうこともあったね」

COM「最近、休みの日は何をされていますか?」

牧原「子供の相手や、たまに釣りをしたり…」



牧原先生の五箇条

- 一. 合金化合物を作って磁性を調べています。
- 二. パチンコで集中力を、麻雀で判断力を養っています。
- 三. 学生時代は荒井由美を聞いていた。
- 四. 学生へ、汗を流す遊びをしましょう。
- 五. 専門の事を聞きに来たり、遊びに来たりしてください。

COM「先生が物理に興味をもちだしたのはいつ頃ですか」

牧原「高校の時です。高校の時、物理で飯が食えたらいいなあと思っていた」

物理とは自然現象がわかるすばらしいものだと思っていた。

編集者のたわ言

COMのメンバーでソフトボールをした時の事、牧原先生も加わられた。自分はファーストを「ほけ〜」と守っていると、バッターがいいあたり。これはヒットだなあと思ってちらっと横を見るとセカンド牧原先生横っつびでとっているではないか。(敵ながらあっぱれじゃなくて、味方ながらあっぱれ。(なんじゃそれは))これはバットの角度、球のスピード、その他もろもろを瞬時に計算した神技ではなからうか。



あなたは義に過ぎてはならない。

電気工学科・松枝先生編

自他共に認める大酒呑みの松枝先生におもしろい話しを聞き出そうとしたのですが、ちゃっかりと御本人直々に原稿を書いて下さいました。

二十数年前の私の学生時代を思い出してみましよう。家業が風呂屋の友人の所へサントリーレッド一本とつまみ少々を買って行ったことがある。ところが友人の親父さんが留守で、ボイラー等の仕事をせねばならないというので仕方なく、薄暗い仕事場で酒盛りを始めた。20～30分おきに湯の量、温度、客の混み具合を見る覗き穴が、酒盛りをしているわれわれのすぐ側にあった。しかも男湯の覗き穴は5メートル位はなれているのに女湯の穴は2メートルも離れていなかった。(編集部:この後、先生達の行動は言うまでもないですね)

もう一つ学生時代の思い出として忘れられないことは

『自分の将来が見えない』という不安との戦いであった。全共闘世代と呼ばれる私たちの世代の学生生活は自分さえ見失いがちであった。そんな中で悪友の一人一人が必死に生きようと戦っていた。少し真面目になりすぎたが真面目になりついでに読者諸氏に次の言葉を送りたい。

『私はこの空しい人生において諸々の事を見た。そこには義人がその義によって滅びることがあり悪人がその悪によって長生きすることがある。あなたは義に過ぎてはならない。また賢きに過ぎてはならない。あなたはどうして自分を滅ぼしてよかろうか。悪に過ぎてはならない。また愚かであってはならない。』これは紀元前5世紀に書かれた『伝道の書』にある言葉だと曾野綾子は書いている。昔の人間も今の人間もあまり変わってないと思いませんか。



一つの事にもっとこだわりを。

教養学科・田吹先生編

教養で英語を担当されている田吹先生が学生だった頃、その当時の学生の気質というものは今に比べておおらかで、授業よりもいかにやりたいことをやったかということが大事だったそうです。その中で先生は言語学に興味を持ち、ペンシルバニア州立大の大学院で言語学の勉強をされたそうですが、その時の経験を語っていただきました。

まず日本の大学院と大きく違う点は外国人の数だそうで、クラスの半分が外国人(!)で残りのアメリカ人にもいろいろな人種(北欧系アメリカ人等)がいてまさに人種の坩堝だったそうです。日本人、というよりもアジアの人と白人の違いという点では、アメリカ人は平気で2日間徹夜をすることが出来るけれどもアジアの人は体力的にそれが無理で毎日こつこつと努力して行かなければならなかったそうです。このことが物語っているようにアメリカ人と言うのは良きにつけ悪きにつけ全てが濃厚でしつこく、それに対して日本人というのは余りにも淡泊すぎてアメリカのしたたかなものしか残れない世界に

入り込めないものがあるそうです。少し抽象的になってしまいましたがこの意味を理解するためには一度アメリカまで行ってみる必要があるようです。

学生へ何か一言ありませんかという問に対して、『もっとしつこく一つの事にこだわるように』との事でした。

インタビューの時、先生の前にマイクを置くとあがってしまったのでしょうか、いつもの田吹先生とはちょっと違う慎重な会話となってしまいました。ヒマな人は一度田吹先生の研究室を訪ねてみるとよいでしょう。海外旅行の安い行き方など、お徳な話しが聞けると思います。



“情熱をもて!!”

環境化学科・秋貞先生編

秋貞先生は環境化学科で物理化学を教えておられます。先生は大学時代、教養課程（九大では、大学4年間は2つの課程に分かれていました）の時は化学研究部と模型飛行機、専門課程の時はワンダーフォーゲルに入っていたそうです。その大学時代の事を中心にインタビューしてみました。

COM「大学時代、熱中された事や印象に残っている事を聞かせて下さい。」秋貞「熱中した事はやっぱりサークル活動でしょうね。ワンダーフォーゲルとって、登山部の様にハードではないサークルに入っていました。」

COM「征服感を味わうために登るのではなくて……。」秋貞「そこまでいかない。まあ、みんなで騒ぎながら登るぐらいでした。」「印象に残っている事は、学園祭の時間でピアガーデンをした事です。あれが一番人気があります。」COM「利益となったお金は何に使われましたか？」秋貞「来年の学園祭の準備費用と、クラ

スで飲みに行ったりする軍資金に……。」COM「よくクラスで飲みに行ったりしておられたんですか？」秋貞「最初の頃は、上級生に任せてコンパのノウハウを知り、慣れて来れば自分達で試験の後とかに……。そこで女性にも笑い上戸、泣き上戸、怒り上戸がいる事を知りました。」(笑)

秋貞先生の五箇条

- 一. 小さい頃の夢は、宇宙、月世界を探検する事でした。
- 二. 「努力」と言う言葉が好きです。
- 三. 休みの日には子供の相手をしています。
- 四. 大学時代は、ワンダーフォーゲルと言うサークルに所属していました。
- 五. 学生に望むことは、「情熱を持って!!」と言う事です。

尊敬出来る人は自己を確立している人。(但しそれは自分の哲学を完結しなければいけないと言う意味で)



貫禄をつけたい!!

環境化学科・助手・生田さん

環境化学科で助手の仕事をしておられる生田さんの学生時代は、サークルに入っていない代わりにアルバイトをちょこちょこやっていたそうです。そのあたりからインタビューしました。

COM「アルバイトはどういう事をしましたか？」生田「ローソンの店員とか、家庭教師とか……」COM「家庭教師のバイトは短時間でお金になる割のいいバイトですよね。」生田「ん～、でもその子がなかなか覚えてくれないで困った。」(笑) COM「バイトで貯めたお金はどのように使われました。」生田「ほとんど生活費にしました。親の仕送りは使わずに奨学金とバイト料でまかかっていました。たまたま親から電話がかかってきて『あんたお金全然使いよらんけど生きとるね!』とか言われたり……(笑)」

COM「(笑)孝行者だったんですね。」



COM「学生の時の趣味は何ですか。」生田「冬になると編み物をしてた。私、寮にいたけどみんな編み物していた。」COM「生田さんはずーと寮生活だったんですか。」生田「1年～4年までずっと寮です。」COM「ホームシックになったりしませんでしたか。」生田「私1人っ子でたまに家に帰ったりしても、はやく寮に戻りたかった。だから逆ホームシックみたいな感じだった。」COM「寮にいたらそんなもんですよね。」

まだ学生に見られるから貫禄をつけたい。

編集者のたわ言

生田さんとのインタビューの時雑談になり、なぜか「うなぎ」の話になった。相棒と2人で、A「最近のうなぎおいしくないね。」B「そんなに味変わらんと思うけど」とかぶつづつ言っていたら突然、生田さん「うなぎは柳川よ。」と断言。突然の断言にびっくりしたけどおもしろかった。

うなぎにこだわる生田さんの囁きの声でまねてね!!
柳川なのようあう!!



『おいしかった』の一言が嬉しい。

学生食堂編 [藤原さん]

学生食堂で主にレジの仕事をしておられる藤原さんは映画の話になると目を輝かせます。そんな藤原さんに趣味や学生へのお願いなどを話してもらいました。

COM「藤原さんは休みの日何されてますか？」 藤原「パンフラワーや水泳などしてます。あとビデオをよく見ます。私、ロバート・デニーロが好きなのよ」 COM「ロバート・デニーロがでているものはよく見られますか」 藤原「うん。タクシードライバーとかディアハンターとか見ました」 COM「テレビはどういうの見られますか？」 藤原「ダイナスティとか好き」 COM「そんな夜中まで起きられてるんですか」 藤原「そう。寝むたいけど。それで野球があったら最悪。もう、泣きたいくらい」(笑) COM「(笑)」

学生食堂・藤原さんの五箇条

- 一. 食後は、食器を片付けてほしい。
- 二. おすすめメニューは“どんぶり物、A定、B定”
- 三. 暇な時はビデオを見ています。
- 四. ミッキー・ロークが好きです。
- 五. 『おいしかったよ』の一言が嬉しい。

COM「今までこの仕事をしていて嬉しかった事は？」
藤原「やっぱり学生に『おばちゃん、おいしかったよ。』とか『ごちそうさま』とか言われたりすると、また明日もがんばろうと思う」

編集者のたわ言

学食2階のラッキーという名前はどこへ行ったんだろう。せっかく募集して決まった名前がパチンコ屋みたいではなあ…。2番目はJOYというホテルの名前だし…。



藤原さんおすすめ手作り料理

第①弾 焼肉のあえもの

材料 <4人前>

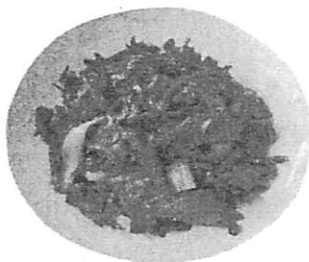
牛薄切り肉……………	200g
酒・しょうゆ……………	各小さじ1
にんにく(すりおろし)……	1かけ
クレソン……………	200g
きゅうり……………	1本
しょうゆ……………	大きじ2
砂糖・ごま油・酢……………	各大きじ1
いりごま(白)……………	各大きじ1/2
しょうが(すりおろし)……	少々

サラダ油

1 牛肉は一口大に切り、酒としょうゆ、にんにくで下味をつけておく。

2 クレソンは葉を摘む。軸は5cmの長さに切ってサッとゆでる。きゅうりは長さを二つに切り、縦にごく薄く切る。カッコ内の材料を合わせておく。

3 フライパンにサラダ油大きじ1を熱して牛肉を入れ、手早くいため取り出し、すぐ2の野菜と合わせ、カッコ内の材料で合える。



第②弾 卵とひき肉のレタス包み

材料 <4人前>

卵……………	4コ	{ 赤みそ・みりん…各大きじ2 酒…………… 大きじ1 トウバンジャン…小さじ1 (豆板醤) ごま油
豚ひき肉……………	100g	
にんにく……………	1かけ	
レタス……………	1コ	

1 卵はときほぐし、にんにくはみじん切りにし、レタスは葉を1枚ずつはがす。カッコ内の材料は合わせておく。

2 中華なべにごま油大きじ1を入れて火にかけて、にんにくとひき肉をいためる。ひき肉に火が通ったら火からはずし、調味料を加えて再び火にかけて、いためる。

3 卵を一度に流し入れ、木じゃくしで大きく混ぜるようにしていためる。ひき肉に卵がからんでポロポロとした状態になったら火を止める。レタスを包んで食べる。



“一芸に達した技術者となれ。”

電気工学科・岡本先生編

『私の学生時代は2・26事件などが時代背景にあったせいもあって自分も含めて学生のほとんどが政治的なことに目が向いていた。』と語る岡本先生はその当時の日本の状態を次のように語られました。『あのころの日本は政治がうまくいかず、貧富の差が激しくて貧しい人が沢山あふれていた。自分も国家に対しての意見が強く、旧制高校(七高)の学友たちといろいろ議論をしていた。』その片方で友人関係の絆も強く、今の若い世代の人たちのような打算的な付き合いがなかったため、腹を割って話すことができ、そのころの学友は今になってもひとたび合図がかかれば日本のどこにいても駆けつけてくれるすばらしい友人だそうです。

今の学生に言いたい事はありませんかという問いに対して岡本先生は次のように語って下さいました。

『常に疑問を持ち、一芸に達した技術者になってほしい。』

せまい範囲でもいいからこれは自分が一番だというものをつくとすばらしいことができる。それから8年間の海外生活を通して感じたことだが、自分の祖国が健在であるということはすばらしいことで、今の若者たちはそのことをよく理解し、世界的視野を持っていい意味での愛国心を持ってほしい。』

最近、愛国心というものが薄れかけた若者が多い時代ですが戦争とか平和とかいう問題ではなく、日本人であるというナショナリズムは必要であると痛感させられたひとときでした。



現時点を大事に生きてほしい。

機械工学科・村岡先生編

機械工学科で機械工作法、工作機械、FA工学などを教えておられる先生の趣味は音楽鑑賞で、今はモーツァルトの音楽を楽しんでいるそうです。先生は機械工学科の就職委員の担当ということで、その辺りからインタビューしてみました。

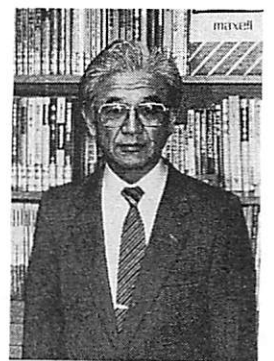
COM「先生は就職委員をなさっておられるそうですが、ここの学生の印象はどうですか。」村岡「学生の就職希望地は地元志向の傾向が多いようです。」COM「そういう学生に対して先生はどういった意見をお持ちですか。」村岡「学生に対して言うなら、『人間、至る所に青山あり』と言いたい。どこへでも行って自分の活躍するところを見つけなさい。自分の運命というのは自分で切り開いていくしかない。」COM「それは長男の場合にでもですか。」村岡「家庭の事情にもよるけど、大学で学んだ事を活かすためには自分の地盤は自分自身で築いてほしいということです。」

村岡先生の五箇条

- 一. 音楽はモーツァルト!!
- 二. 機械工作法, 工作機械, FA工学などを教えています。
- 三. 技術者はすべての事に好奇心を持つことが大切。
- 四. 学生へ、『人間至る所に青山あり』
- 五. 大学時代に一生の友達を作りなさい。

COM「学生に対して助言をお聞かせください。」

村岡「一つは物事に好奇心を持ってということ。なぜそうなるかという疑問を持ちなさい。二つ目は自分の専門以外の本も読む、いわゆる雑学のすすめでいろいろな分野の書物に親しめばなにか得ることがあり人生の糧となる。最後に『少年老いやすく、学成り難し』という言葉があるけれど現時点を大事に生きてほしい。」



機材を多くの人に利用してもらいたい!!

LL・AV編 [百武さん・石橋さん]

LL・AVと聞いてもそれがどこにあるのか、それをどのように利用していいのかわからない学生がほとんどだと思います。なんせLL・AV準備室は『共立大のチベット高原』と言われているぐらいの秘境です。(同情することはありません。本人達は既に開き直っています。)この部屋にはLL・AV担当の百武さんと石橋さん、PC担当の山口さんの3人がいます。ここではLL・AV担当の百武さんと石橋さんにインタビューしました。

COM「趣味はなんですか?」

石橋「読書かな。他に思いつかない。」

百武「趣味をもたないのが趣味です。」(笑)

COM「なんかこうばあっとはずしにどこかに行くようなことはないですか?」

石橋「ここで外しっぱなしだから。」

COM「ああ、それで家にかえってもとに戻ると。」(笑)



英会話ビデオ

○LL・AV準備室にある英会話ビデオを紹介してもらいました。

初級

小林克也の
English My Way.

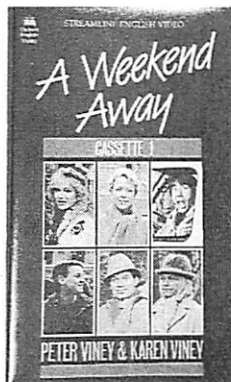
百武さんいわく。これをマスターすると正しく基本的な英語の発音ができる。



中級

A Weekend Away.

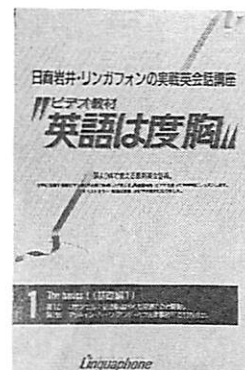
日常のイギリス会話で、初歩的な会話の聞きとり練習です。



上級

英語は度胸

ビジネスマン用の英会話ビデオ。これをマスターすると社会にでも大丈夫。



COM「百武さんは英語を話すことが好きみたいです...」

百武「普段、うっ積しているから他の言葉に直すとなんか外れたよにばあーとなる」

COM「うーん。なんか理解できない世界がある。」

LL・AVの五箇条

- 一. LL・AV教室の管理と教材の管理が私達の仕事です。
- 二. 学生が自習室に来ると嬉しい。
- 三. 機材を多くの人に利用してもらいたい。
- 四. 開放的雰囲気を出したい。
- 五. LL・AVの機材を大切に。

自習室をみんながたくさん使ってくると機材に対する愛着心が湧いて大切に扱ってくれるんじゃないかな。

編集者のたわ言

COMの取材をここにお願ひにきたとき「COMってなに?」というCOMの存在さえ知らないふとどき者がいました。さて、その人はいったい誰でしょう。

1. 百武さん 2. 百武さん 3. 百武さん

答えはやっぱり百武さんでした。



外国人教師編

学内広し(?)と言われるが、いくらガッコが広くても、どうしても目立つ人がいる、ホリが深くて背が高い、遠い異国から共立大にやって来た、英語のことならまかせなさい、そうそれは外国人の先生方なのでした。

● TAMAH・NAKAMURA 先生(USA)

Q1 共立大生に対しての印象はどうでしょうか。

「私は6クラス受けもっていてその内1クラスがスペシャルクラスです。スペシャルクラスの生徒はリアクションもあってとてもやりやすいです。残りのクラスは学生がジョークを言う時がとてうれしいのもっと言ってほしいです」

Q2 共立大と自国の大学と比べて何かお気づきになった点は？

「アメリカに比べて学生が生き生きしてませんね。それと大学の教室が大きすぎることでですね。学生が50人しかいないのに200座席の教室でやるからみんなうしろに行こうとしちゃうんですね。だから私は半分からうしろには座っちゃいけないようにしてます」

Q3 休みの日は何をして過ごしていらっしゃるのですか？

「私は料理が好きで休みの日には自分の食べたいものを主人といっしょに作ってます。それから月に一度料理教室をひらいています。以前、博多にちゃんこ鍋を食べに行ったんですけどとてもおいしかったあ。お相撲を引退した人が直接料理している店なのでおいしいんでしょうね。共立の学生さんに聞いたことがあるんですが、みんな料理に興味ないみたいですね。外食ですませてるみたいだけどやっぱり自分で作るべきですね。」

Q4 共立大生へ何か一言おねがいます。

「もっと生き生きしたところを見せてほしいですね。特に授業中に。」



TAMAH 先生は、とてもファッショナブルでもあります。

● SANDIE・KOURITZIN 先生(CANADA)

Q1 共立大生に対しての印象はどうでしょうか。

「印象というか、おどろいたことがいくつかありましたね。授業が終わってないのにクラブのユニフォームに着がえはじめたり(笑)、テストに遅れたり、ノートもペンも持たないとか…、いつだったか学生にどんな夢をもっているのか書かせたんですね。そしたら学校を吹きとばすなんてのがありました(笑)。」

Q2 共立大と自国の大学と比べて何かお気づきになった点は？

「共立大というよりも日本の大学とちがう所がありますね。カナダでは週に10~15時間程授業があって出席もとってなかったですね。カナダでは色々な言葉が使われているので語学の授業はセミナー形式でした。私はケベックから来たので英語しかしゃべれませんでしたから苦労しました。私はフランス語を学びましたが日本のように訳読なんてなくてすべて会話でした。質問もフランス語、答えもフランス語でした」

Q3 休みの日は何をして過ごしていらっしゃるのですか？

「私はウェイトトレーニングジムに通ってます。週に5回ほど。えーとベンチプレスで50kgを9回くらいもち上げますよ。足でやると180回くらいかな。そのジムのインストラクターが相撲をやった人で40才くらいなんだけどやっぱりいい体してますね」

Q4 授業でのハプニングなんかあるでしょうか。

「ちょっとはずかしいんですけど…いつだったかいつもはまじめな学生なんですけどその日は私語をしてたんですね。それで何度注意しても聞かなかったものですから自分のクツをぬいでその学生に投げつけてやりました。相当おどろいてましたね(笑)。」

Q5 共立大生へ何か一言おねがいます。

「クラブだけじゃなくて授業でももっと元気を出してほ

しいですね。]



ベンチプレス50kg
にはちょっとおど
ろきでした。

●HEATHER・SUTCH 先生 (UK)

Q1 共立大の印象はどうでしょうか。

「私は3クラス受け持ってますがやはり英語が好きな学生とそうでない学生に別れますね。1クラスにそういった学生が一諸になっているので教える側としてはどちらにあわせていいのかとまどってしまいます。それから1クラス50人はちょっと多すぎますね。50人もの学生に1人1人間いかけてやることはむずかしいからね」

Q2 共立大と自国の大学を比べて何かお気づきになった点は？

「私はイギリス人ですがイギリスでは週にほんのいくつかしか授業が入ってないのでたくさんの方が授業に出て来ますし出席もとりません。自分で選択して受けている講義ですから。セミナーでは1クラス6人の学生しかいませんしドイツ語のセミナーではドイツ語しか話してはいけないことになってました。日本の学生は1日平均3時間程授業があるので気の毒ですね」

Q3 休みの日には何をして過ごしてらっしゃいますか？

「寝てます(笑)。あと編み物をしてますね。ドレスとかも作ります」

Q4 授業中でのハプニング等ありませんか？

「私が学生の頃の話ですが、中国語の授業で先生が高い教壇の上にむりによじ登って座っていたんですね(外国の先生、特に男性は講義中教壇に座るクセをもった方が多い)それで案のじょうみごとに後ろに教壇ごと大きな音をたててひっくり返ってしまったんです。みんな拍手してましたね。先生も痛さをこらえておじぎしてました。(笑)」

Q5 共立大生へ一言おねがいます。

「もっと生き生きとしてほしい。授業中のリアクションがもっとほしいですね」



イギリス人にして
はあまりにもアメ
リカ的なキャラク
ターの先生でした。

●EDY・KIZAKI 先生 (USA)

Q1 共立大の印象はいかがでしょう。

「とても活発な学生が多いですね。英語を学ぶ上でとてもよい事ですがもっと気持ちをオープンにして習う姿勢を持ってほしいです。卒業して仕事を始めると忙しくなって今のような十分な時間がなくなってしまいます。だけど学生達は“明日にしよう”って延ばし延ばしにしまっていて今やろうとしないんですね。後から英語が喋べれたらって実感するんですよ、きっと」

Q2 共立大と自国の大学を比べて違う点は？

「アメリカでは年の初めの授業でどのようなカリキュラムで進行するかといった全体の流れが書いてある紙を決まってどこでも配ってましたね」

Q3 休みの日にはどのような事を？

「合気道、写真、歴史の勉強、etc…だけど日本では毎日毎日忙しくて何もできませんね」

Q4 どのような授業形式をとられているのですか。

「昨年からはビデオを使って授業を行ったんです。1人が撮影して1人が前で英語をなんでもいいから喋べるといふふう。そうすると今までとは違った姿勢で英語に取り組み初めましたね。ある程度プレッシャーはあった方がいいみたいです。」

Q5 共立大生に一言おねがいます。

「時間をむだにしないで下さいという事です。時間は限られたものですから。自分の人生は自分のものですから人に頼らず自分で責任を持って大切に大事にして下さい」



自宅は小倉にある
そうです。名前か
ら御主人は日本人
だということがわ
かります。

エキスパートになる意欲をもってやろう!

開発学科・粟谷先生編

粟谷先生は開発学科で水理学を教えておられます。先生の趣味は山歩きだそうです。ここでは先生の趣味や、水理学にどうして興味をもたれたか、学生への助言などを話してもらいました。

COM「趣味が山歩きということですけど、こういったところに行かれますか。」 粟谷「今まで一番登ったところは三郡山です。1,000m級の山に、月に1・2回行ってます。」 COM「けっこう高い山に登られるんですね。他に趣味として何かありますか。」 粟谷「日曜大工と模型の船作り……。」 COM「話は変わりますが、先生が水理学に興味をもたれたのはどのような理由からですか。」 粟谷「大学の時は物理を専攻していたけど、寮にいたとき水理学の教授が自分の部屋の2つ隣りぐらいに住んでいました。その教授とすぐ仲良くなり、研究の話とか聞いて興味をもちました。」 COM「水理学の流体の魅力

は何でしょうか。」 粟谷「流体の運動を支配する基礎的な事はかなりわかっているけど実際問題になると非常に複雑なものだから、まだまだやるのがたくさんあるということかな」

粟谷先生の五箇条

- 一. 趣味は山歩きに、日曜大工、模型の船作りです。
- 二. 水理学の研究をしています。
- 三. お勧めの本
 - ・水は救えるか (朝日新聞熊本支局編)
 - ・日本人への警告(堺屋太一)
- 四. 大学時代は魚とりをしたりして遊んでいました。
- 五. 大学は一生涯の飯を食う準備をする所だから、エキスパートになる意欲をもってやろう!!



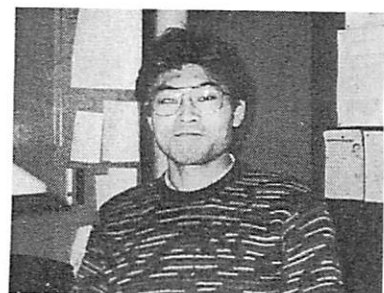
4年間の間に“これをやったぞ”といえるものを持って!!

機械工学科・上条先生編

上条先生は機械工学科で主に自動制御を教えておられます。先生は12月10日(1989)に結婚式を挙げたばかりのほかほかの新婚さんです。趣味は水泳、アマチュア無線、音楽鑑賞だそうです。ここでは学生時代の事を中心に話してもらいました。

COM「学生時代はサークルには入っていただけですか。」 上条「水泳部に入っていました。泳ぐのは好きだったけど、練習は嫌いだった。(笑)」 COM「一番印象に残っていることは何ですか。」 上条「水泳部に入部した頃の頃、山口大学と定期戦がありました。一年だから、そうたいした距離泳がないでいいだろうと思い、友達と試合の日の朝5時まで酒を飲んでた。半分酔った状態で自分の種目の平泳ぎ200mを泳ぎ、これで終わったと思っていたらいきなり先輩から“フリーで400m泳げ”と言われた。もう死にそうになって泳いだのが印象に残ってます。泳いだばかりでへとへとになっているにもかかわらず、当時、苦手の自由形で、おまけに酒を飲んでいる。」 COM(笑)。

上条「泳ぐときには自分の息が酒臭いし……。」 COM(爆笑)。COM「話は変わりますが、先生になってよかったと思うことはありますか。」 上条「質問に来た学生が、説明を聞いてなるほどと理解してくれた時が一番嬉しいですね。」 COM「それでは学生に助言をお願いします。」 上条「講義や実験の時と休み時間のけじめをつけてほしい。やる時はやるという気持ちの切り換えができるように!!」「それと勉強に限らず4年間の間に“これをやったぞ”というものを1つは持って卒業してほしい。そしてそれを持つことができればその人の学生生活は成功だったんじゃないかと思う。」



できるだけ友達を増やさない。

環境化学科・山本先生編

山本先生は環境化学科で主に衛生化学を教えておられます。休日の時は孫の相手をしているそうで、孫という言葉がでるとにこにこしながら“孫がかわいくてね”と言っておられました。先生は裁判化学をやっていた時があるということです。ここでは裁判化学の事、学生への助言などをインタビューしました。

COM「先生は裁判化学をなさっておられたそうですが、その時の印象に残っていることをお聞かせください。」

山本「1つ例をあげると、奥さんが夫を殺すために、パラチオンを油の中に入れて、その油でイカの天ブラを作り、夫に食べさせた事件があった。それを検査してくれと検察側から依頼を受けて、パラチオンをどのくらい油の中に入れていたら、天ブラの中に熱で分解されていないパラチオンが残っているかを調べた。その奥さんが行動したとわり、同じ鍋や七輪、炭や油まで同じ物を使い、イカの

大きさも同じに切った。そうして作った天ブラの中に何分間あげたら何%分解するかとか、実際に殺人に使用された油の分析などについて報告した。」 COM「推理小説の世界ですね」

山本先生の五箇条

- 一. 趣味は彫刻を彫る事です。
- 二. 衛生化学の研究をしています。
- 三. 休日は孫の相手をしている。
- 四. 時代小説や歴史物が好き。
- 五. できるだけ友達を作りなさい。

COM「このまえのCOMの研究室だよりも、学生に対して“九州に来たからには一度は九州最高峰、久住へ…”と書かれていましたが、他に学生に対して助言はありますか。」 山本「大学時代の友達は一生のつきあいになるのだから友達を大切にしない。もう一つ『人間万事塞翁が馬、禍福は糾へる縄の如し』とこころえて、何事もよくよくよせず頑張ること。」



たくましく生きてください。

環境化学科・助手・山崎さん編

環境化学科で助手の仕事をしておられる山崎さんの性格は“あっさり”の一言につきます。趣味は編み物と絵を描くことだそうです。ここでは大学時代の事を中心にインタビューしました。

COM「大学時代は家政科にいらしたそうですが、そこで印象に残っている事をお聞かせください。」 山崎「集団給食実習というのがあって、食堂のおばちゃんみたいな事をしていました。そこで中華を作る班になった人は、スープのだしをとるために鶏の頭や足を扱わなければならなかった。それが印象に残っています。鶏のくちばしや爪を中華包丁という大きな包丁で切ったりして…」

COM「なんか残酷な感じもしますが……。」 山崎「ん〜。そういう実習が多かった。」 COM「最初の頃は鶏の頭とか扱う事に抵抗あったでしょう。」 山崎「小さい頃家で鶏を絞めて食べる時に、死んだ鶏の羽をむしるのが子供の係だったから、そんなに抵抗なかった。」 COM「(笑)」 COM「学生時代にアルバイトはされましたか」

山崎「おそば屋さんとか、国民宿舎の厨房の仕事とかのバイトをしました。そういったアルバイトとかで包丁使いを覚えてもらいました。」 COM「やっぱり料理関係の仕事が多いですね。それでは最後に学生に対して一言。」 山崎「たくましく生きてください。」

編集者のたわ言

一番最初の山崎さんの印象があまりにもあっさりしていたもので、つつい山崎さんに「なんかあっさりしていますね。」といったところ「私、育ち悪いから。」という返事まであっさりして



いた。ポテトチップスのドレッシングサラダよりあっさりした味です。



P.S ドレッシングサラダとは和風ドレッシングとフレンチサラダのミックスで架空のものです。

“自信をもってやれ!!”

建築学科・重藤先生編

重藤先生は建築学科で主に建築材料を教えておられます。趣味は園芸だそうです。ここでは主に大学時代の話をお聞きました。

COM「大学時代はどういった遊びをされましたか。」重藤「酒を飲みに行くのが多かったですね。」COM「どんな所へ飲みに行ったんですか。」重藤「500円ずつもって行けば、棚の端から端まで1杯ずつ飲ませてくれる所に行っていた。」(笑) COM(笑)。重藤「サントリーレッドかハイニッカ。それぐらいの時代や…」COM「他にはどういった遊びをされましたか。」重藤「夏休みとかは民家調査に行っていました。古い家の造りとかを調べたり…。それはある歴史の先生の研究室に入ったから行ったことで、私は私立の学校では早い時期から研究室に入った方がトクだと思います。卒業証書とか貰って

も実際には役にたたない。1, 2年は教養課程, 4年生は卒論とか就職, 専門は3年の段階しかやらないから, 技術を得ることは難しい。大学の時には“これをやった”というものがあって自信がもてれば良いと思う。」

重藤先生の五箇条

- 一. 趣味は園芸をやる事です。
- 二. 大学時代は建築研究会に入っていました。
- 三. 研究の魅力は予想した通りになったり, ならなかったりするところ。
- 四. 毎年, 研究生のメンバーがいいので楽しい。
- 五. 学生に一言。“自信をもってやれ”



「よく学び, よく遊べ」

開発学科・片山先生編

片山先生は開発学科で応用力学を教えておられます。趣味がゴルフと囲碁とか。先生は開発学科の就職委員を担当しておられるそうで, その辺りを主にインタビューしました。

COM「ここ(大学)の学生の印象をお聞かせください。」片山「おとなしいと思います。」COM「授業中の態度がおとなしいのですか。」片山「授業中の態度もそうだけれど, 4年生と就職の事で話してもそれを感じます。」COM「積極性に欠けるということですか。」片山「そうですね。就職の希望の会社名をだしてもらった時に, 必ずしも自分の最も希望する会社名を書いていない人がいました。その人に『なぜ, ここを希望するのか。』と尋ねたところ, 『そのあたりが一番私にあうと思ったので。』という返事がきました。『こういう方面だったらもっと一流のところを希望してはどうか。』と話したら『そこは大丈夫でしょうか。』と弱気になっている。何事も努力をつくして結果を待つという形をとってほしい。始めからだめだとは思わないように。“叩けよ, さらば 開か

れん”という言葉があるけど, やっぱり叩かないとなにも始まらないと思います。」COM「他に学生に対して助言したいものはありますか。」片山「学生に, “よく学び, よく遊べ”ということをおきたい。勉強ばかりやっいてある程度成績のいい人と, 成績はそこそこでクラブ活動をやっていた人とは, クラブ活動をやっていた人を企業は望みます。会社は協調性のある人, 健康な人を希望します。」COM「勉強とクラブ活動を両立していないとだめということですね。」



番外編

小林さん (メイ・ラン・ファン マスター)

COMの編集部員もよく利用するこのお店は、JR折尾駅正面に位置する西鉄ビル2階にあります。あまりに黙々とぎょうざを作るマスターの姿にインタビューを頼みづらくなり、仕事が終わってから書いてもらったものを写す形となりました。

○〈趣味〉(休みの日)

山登り、あとは食べる事と、寝る事。それが人間の基本です。休みたい時に休みます。(不定休〔無定休ではない。〕)

○〈仕事をやっているおもしろかった事や、嬉しかった事は?〉 ……おもしろかった事は特に無し。嬉しかったことは、お客さんが自分の作った料理にお金を払ってくれる事。そのお金でお米が買える事。

○〈好きな言葉〉

……『マイペース』『身分相応』

○〈おすすめメニュー〉

……めんどくさくないもの、『ぎょうざ』

○〈店の宣伝〉

宣伝は嫌いです。来たい人は来ればいいし、来たくない人は来なくてもいいと思っています。

→それがメイ・ラン・ファンの基本です。

○〈大学生に言いたいこと〉

……自分の生活費、学費は自力でかせげ!

→それが大学生の基本です。

○〈なぜ、メニューのメインが

ぎょうざになったのか。〉

……それはメイ・ラン・ファンがぎょうざ屋さんだからです。



宮崎さん (古本屋寿寿書店店長)

宮崎さんは、この折尾の町で古本屋を経営しておられます。昔は神主、今は古本屋店長という変わった経歴を持っておられます。趣味は読書や音楽鑑賞、ちょっと変わって旅も好きとのこと。ここでは趣味を中心にインタビューしてみました。

COM「店長は古本屋を経営しておられますが、休みの日は何をしておられるんですか」

店長「まず読書、あとは知らない町の中を歩きまわったりしてるね。そういうことが好きなんだね。」

COM「音楽などはどういうのを聞くんですか」

店長「僕はビートルズだったからね、60年代後半の。だから基本はビートルズ。店で流す音楽もビートルズが多いね。」

COM「ビートルズが基本ですか」

店長「本で読んだけど、ビートルズの音楽は他の音楽、ハワイアンとか、ボサノバ、ジャズとかをいろいろ聴いてみて、初めてその素晴らしさを理解できるそうだよ。」

COM「なるほど、そうですね。その店長が好きな曲か

ら、何かおすすめの曲はありますか」

店長「これといった曲はないね。音楽も本も、自分に合ったのが一番いいね。」

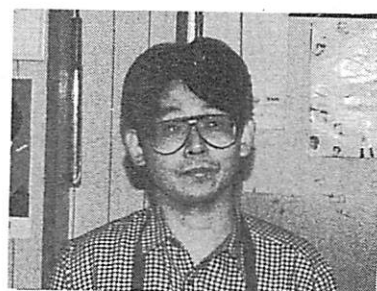
COM「本もそうなんですか」

店長「あの本に出会ったから人生が変わった、なんてこともあり得るしね。そういう意味で、本でも何でも出会いが大切なんだよ。」

COM「なるほど〜 (シンゴ君風に)。」

宮崎店長の五箇条

- 一. 本は出会いである。
- 二. ビートルズエイジはどんな音楽でも聴かなくては…。
- 三. 万巻の書を読み、万里の道を行きたい。
- 四. I LOVE OCCULT. (オカルト大好き)
- 五. 何事も極めることが大切である。(Hなことでも)



僕らは「運命共同体」!!

土木工学科・三原先生編

三原先生は土木工学科で構造工学を教えておられます。冗談ばかり言われているようで、しめるところはしめてくれます。では、さっそくインタビュー。

COM「先生の趣味をお聞かせください。」 三原「ものすごくキザなんですけど、趣味は学生に勉強を教える事です。(笑)」 COM「(爆笑)家に帰って何をされるんですか。」 三原「学生に勉強を教えるためには、学生より多く知っておかなければいけないから、本を読む時間が多い。ただし、勉強の本ばかりじゃなくて、いろんな雑誌も読みます。趣味は雑学を増やすことですね。なんで雑学を増やすのかというと、学生と共通の話題を作るためなんですよね。例えば“ダブル浅野”の事を学生に聞かれて、『何それっ。』って言ってしまったら会話はそこで終わっちゃう。『浅野ゆう子と浅野温子というのがあるん

ですよ』ぐらいは教えてくれるけど、『どっちが好きですか』と聞かれたら会話が続かない。雑学を増やすもう1つの理由は自分の若さを保つためです。なにか勉強しようとする時には向上したいと思う気持ちがある。その気持ちを大切にしたい。」 COM「それでは最後に先生の夢を聞かせてください。」 三原「学生とのコミュニケーションの場をつくりたい。それと、講義によって学生を洗脳し意識改革を行いたい」



▲まだ洗脳されていない人達です。

やるべき時に、やるべき事ができる習慣をつけるように!!

建築学科・永田先生編

永田先生は建築学科で都市計画を教えておられます。ここでは先生の趣味、都市計画について、学生への助言などを話してもらいました。

COM「先生の趣味をお聞かせください。」 永田「ソフトボールと英会話、囲碁、ギター……それぐらいですね」

COM「バラエティーに富んでいますね。だいたい休みの日は何をなさっていますか。」 永田「ソフトボールは定期的にやっています。団地のソフトボールチームに入っていて、毎週日曜日の午前9時~12時まで練習しています。」 COM「このまえCOMのメンバーでソフトボールをしたとき先生の当たりがすごかったのはそこに秘密があったんですね。」 COM「話は変わりますが、どうして都市計画のほうに進もうと思われたのですか」

永田「建築の中でも都市計画というのは特殊な分野で、我々が建築のデザインを考える時に単体のデザインだけを考えればいいのではなくて、周辺の景観とか、町並みを考えてなくては行けない。ところが周囲の町並みを見ても混沌としている。単体のデザインだけを考えてもそ

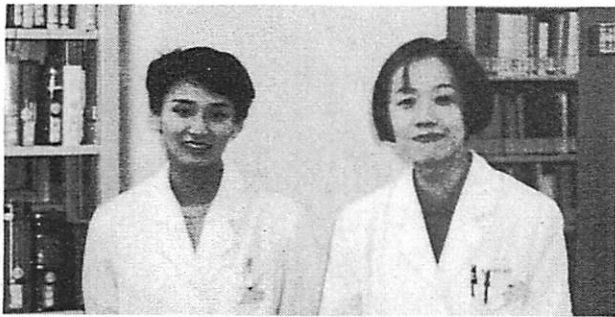
れをどうする事もできないので、都市全体を考える分野に進もうと思いました。」 COM「建築を通して学ばれたことは何ですか。」 永田「建物や道路など都市の物的な基盤がめまぐるしく変わる中で、長い年月かけて築かれた歴史的建造物や街並み等、変らない部分が人間の生活の中でいかに大切かという事を感じています。」 COM「それでは最後に学生に対して一言お願いします」 永田「よく卒業生で『大学時代にあれをやっとけばよかった。』という人がいるので、学生には“今からやるべき時にやるべき事ができる習慣をつけておくように”と言いたいです」



学生と接する事ができて楽しい。

図書館編 [上井さん・土井さん]

気軽な気持ちで入れるブラウジングルームと違って閲覧室には静寂という言葉が似合いそうな雰囲気。このちょっと入りにくい雰囲気を取り払おうとCOMの編集部員は立ち上がった。というわけで司書の仕事をしておられる上井さんと土井さんにインタビューしました。



COM「いつ頃から図書館の司書になろうと思っていたのしかったですか」

土井「高校の時から図書館の司書になろうと思っていました。もともと本が好きだったということと、会社とかが入って金銭関係の仕事をするのが嫌いという理由で……」

上井「私は子供の頃はスチュワーデスになりたかったんだけど……」

COM「小さい頃から本はお好きでしたか」

上井「この仕事をする前はあまり好きじゃなかったけど、この仕事をするようになって本に関することにすぐ目がいくようになりました」

COM「環境で好きになったんですね」

図書館の五箇条

- 一. 学生と接することが楽しいので、もっと多くの学生に来てほしい。
- 二. 貸りた本は期日までに返してください。
- 三. ブラウジングルームには飲物類を持込まないでください。
- 四. ブラウジングルームのテレビ、ビデオ、新聞、閲覧室にあるコンピューター等を利用してください。
- 五. 勉強に関する本ばかりではなく、文庫本とかも読んでほしい。

COM「これからの夢を聞かせてください。」

土井「中国に行きたい。私、書道をやっているから書道に関する石碑などを見に行きたい」

上井「私はスイスに行きたい」

COM「どういう理由で……？」

上井「アルプスの少女ハイジを見て…。(笑)」

COM「(大爆笑)」

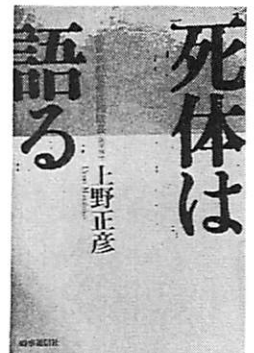
学生のみなさんへ…試験前とかレポートを書く時だけではなく、図書館にはいろんな本が置いてあるから勉強以外の本も利用してください。

上井さん・土井さん推薦の本

1. 死体は語る

著者 上野正彦

生きることの意義、死とは何であるかを勉強した著者が書いたこの本は、著者がいかに死者の人権を大事に守っているかが伺えます。



2. 読むクスリ

著者 上前淳一郎

この本は社会の第一線で活躍する人々のエピソードを集めた企業版ちょっといい話。クスリと笑えてタメになる！と書いてある様に笑える本。



3. 読むクスリ PART 2

読むクスリ第2弾！ 仕事の苦勞やとっさの機転、粋な小話、心を打つ話等々を大会社の社長から巷の主婦まで集めた仕事でのおもしろ話。



何事にも積極的に!!

土木工学科・田中(邦)先生編

土木工学科で測量・基礎工学を教えておられる田中先生はよく映画を見に行かれるそうです。そのあたりからインタビューしてみました。

COM「休日はやっぱり映画に行かれるんですか」

田中「いや休日は子供相手にゴロゴロしているときが多いね。たまに子供をほったらかしてカミさんと映画行くときもあるけど。(笑)今はやっぱり自分の研究が一番感心があるね。でも学生の頃はたくさん映画を見たね」

COM「よくお金がもちましたね」

田中「1本50円で一週間毎に上映する映画が変わる所で毎週見てたなあ」

COM「たとえばどんなものを？」

田中「かなり前だから007の全盛期だったね。あと若大将シリーズとかね」

COM「その頃先生は御自分でどんな学生だったと思いますか？」

田中「自分が学生の頃は先生をよく飲みに誘っていました。僕らあまりお金をもってなかったから……」

COM「今、先生にたかりに来ても行かれますか？」

田中「好きだから行くよ。生徒のグチも聞いてやってもいいと思うし飲んでる時ぐらいは生徒と対等になってもいいんじゃない？その方が生徒も卒業してから研究室に来やすいだろうしね」

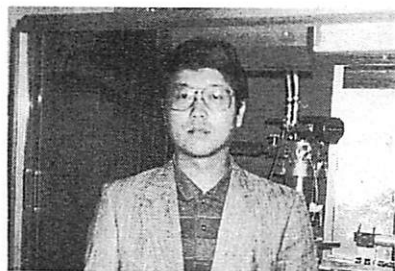
COM「それでは今の学生にアドバイスを」

田中「とにかく友人を多く作っておきなさい。何事にも積極的に取り組んでほしいね」

COM「どうもありがとうございました」

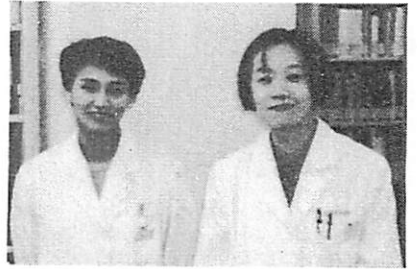


インタビューに協力下さいました皆様、どうもありがとうございました。





みなさんの意外な一面を見られ嬉しく思います。



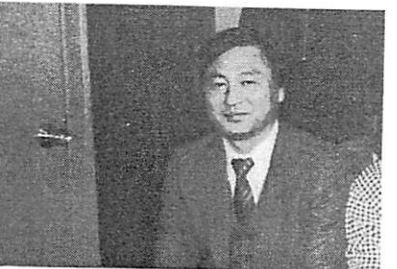
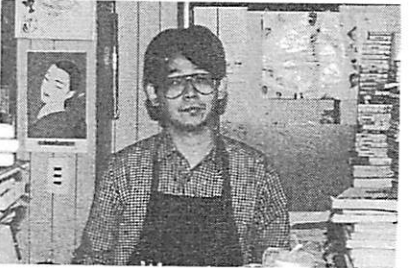
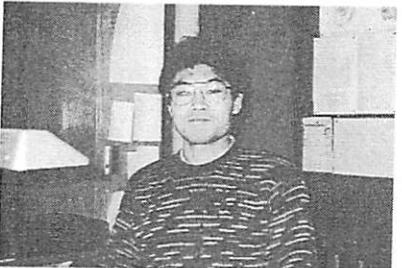
しかし、これはまだまだ氷山の一角！



COMをもっと人間味のある記事が載せられる雑誌にしたい。



編集委員



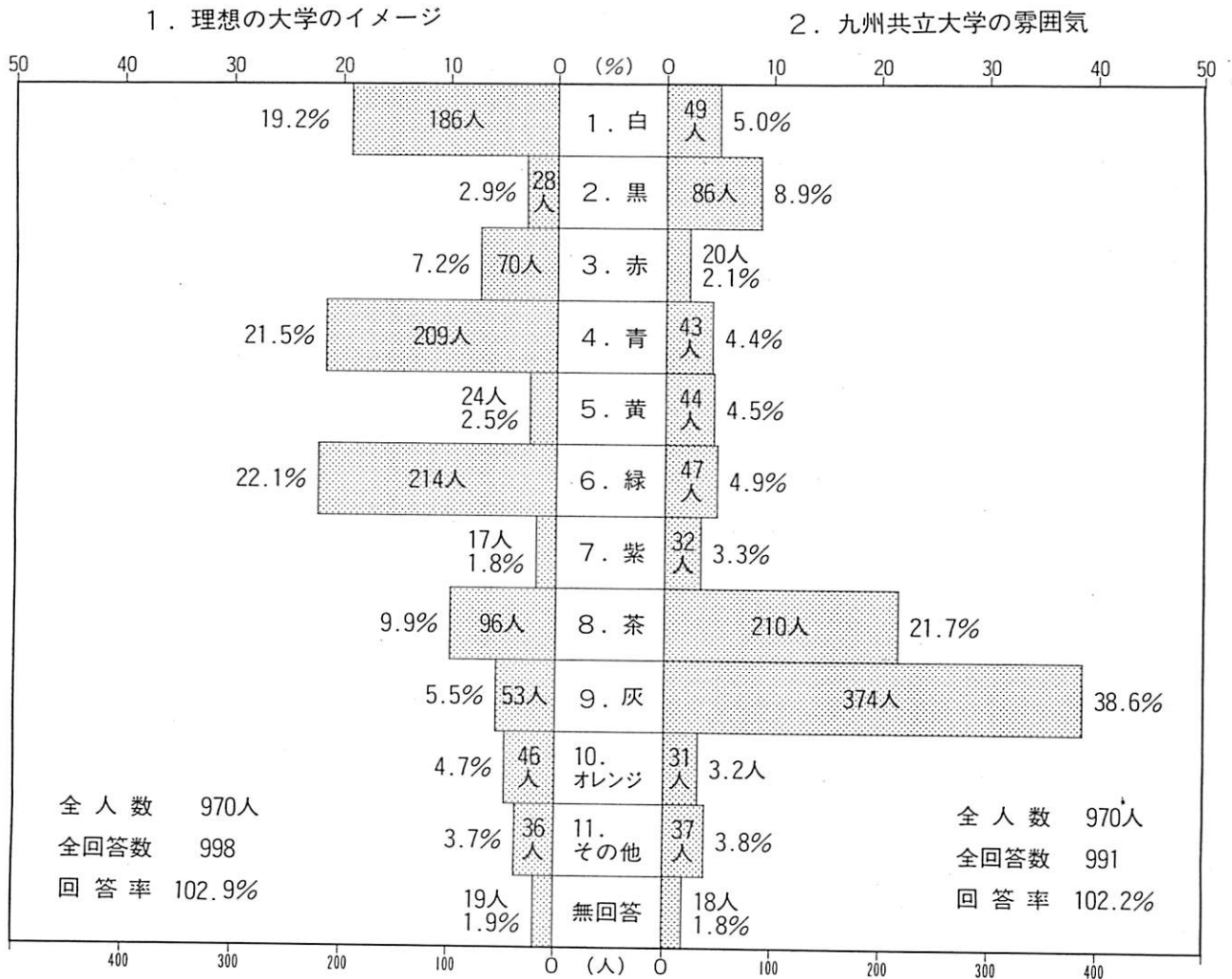
I. 大学のイメージについてお聞きします。

1. 理想の大学のイメージを色にたとえると何色ですか。下の語群より選んで下さい。

1. 白 2. 黒 3. 赤 4. 青 5. 黄 6. 緑 7. 紫 8. 茶色 9. 灰色 10. オレンジ 11. その他

2. 九州共立大学の雰囲気の色にたとえると何色ですか。下の語群より選んで下さい。

1. 白 2. 黒 3. 赤 4. 青 5. 黄 6. 緑 7. 紫 8. 茶色 9. 灰色 10. オレンジ 11. その他



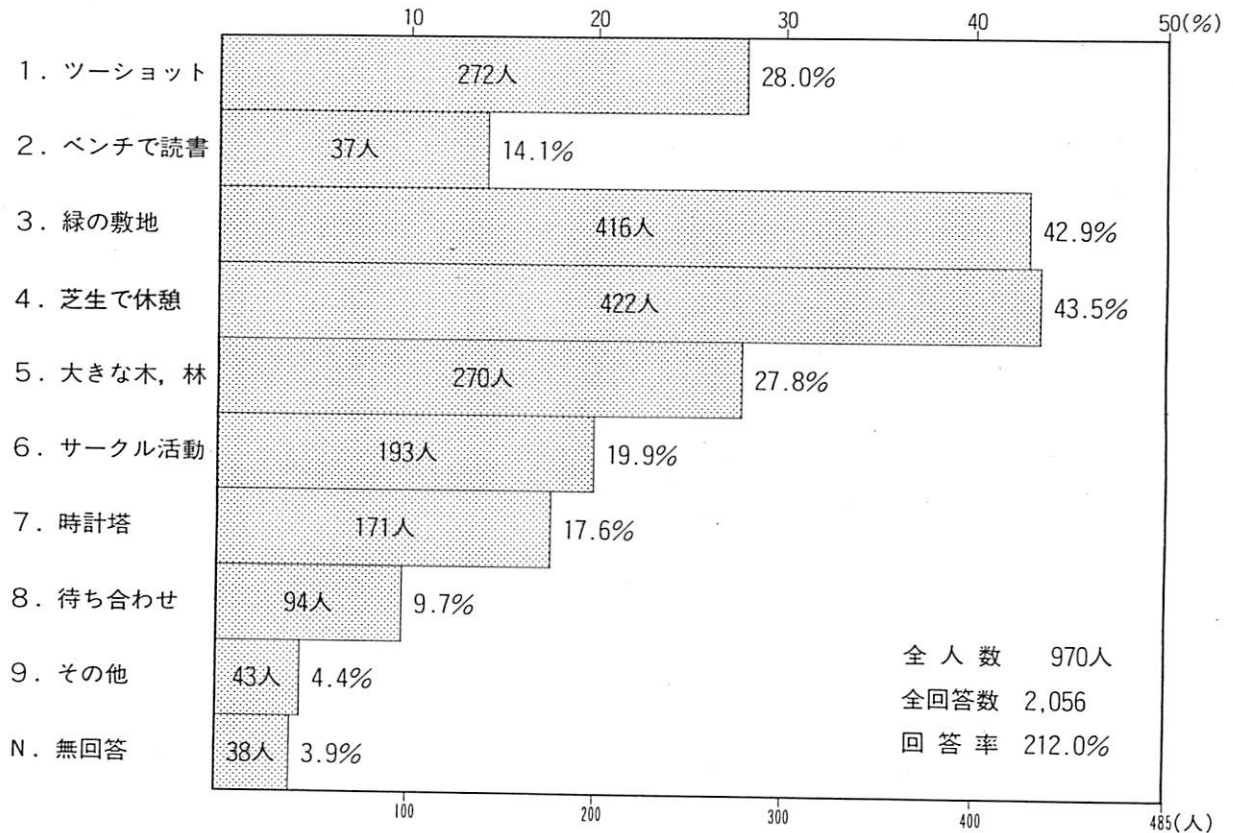
㊦理想のキャンパスのイメージは、白・青・緑の3色に集中しています。僕なりに分析してみると、白は建物のイメージ、緑はもちろん自然の色で、樹木、芝生からのイメージ、青は空または緑と同様に自然からのイメージと思われます。茶色が以外に少ないのに少し驚きましたが、だいたい予想通りといえますね。

共立大の雰囲気は、ダントツで灰色がトップ、続いて茶色となっています。灰色というのは、昨年の折尾アンケートで取った“折尾の色”でもトップでした。なぜこんなに多いんでしょうか。やはり女の子が少ないのと、共立のキャンパスはまだコンクリートがむきだしの所が多数あるので、それで灰色が多くなるのでしょうか。

㊧このアンケートを集計して思ったことは、理想のキャンパスのイメージはほぼ予想通りだったが、共立大学の雰囲気は予想とは少し違ったものとなっていた。どこが違ったかということ、黒がかなり少なく(10%以上だと思っていた)、茶色が以外なほど多かったことで、これは現在の共立大学に絶望までしている人は非常に少ないということでしょう。

3. あなたの理想とするキャンパスにぴったりの風景を選んで下さい。(複数回答可)

1. ツーショット 2. ベンチで読書 3. 緑の敷地 4. 芝生で休憩 5. 大きな木, 林 6. サークル活動
7. 時計塔 8. 待ち合わせ 9. その他にあれば書いて下さい。



㊦“緑の敷地”と“芝生で休憩”が飛びぬけて多いですね。“大きな木, 林”, “ツーショット”を含めて, 前のページのグラフで多かった緑と灰色というのと同調しています。

また“その他”の回答の中にとんでもないものが多数ありました。例を上げれば“ベンチに座っているとテニスボールが飛んで来て, それを女の子が追いかけて来て「とって下さ〜い」とさけぶ”とかいうのがありました。まったくとんでもない話です。

㊧この集計を見て, 以外なほど“緑の敷地”と“芝生で休憩”に回答が集中していることに驚いた。いくら複数回答制にしても, 2人に1人がこの2つを選んでいるのである。やはり, キャンパスには緑が必要不可欠なのだろうか。

また, “ツーショット”と“大きな木, 林”も以外と多いと思う。これは, 大学には女の子がいるということと大学には大きな木, 林が付きものという2つの固定観念からきているのだと思う。

4. あなたの知っている大学の中で、自分のイメージに合っている大学はどこですか。

ベスト7	大学名	回答数
①	青山学院大学	21
①	早稲田大学	21
③	福岡大学	19
④	近畿大学	18
⑤	東海大学	17
⑥	産業医科大学	16
⑦	慶応義塾大学	15

㊦この問いは回答が平坦になりすぎて、差がほとんどでませんでした。上に載せたベスト7も1位と2位の差が6人しかありませんでした。内容を見てみると、青山と早稲田が同数でトップです。僕は見に行ったことがないのでよくわかりませんが、人の話によれば、緑が多く女の子も多いそうで、まさに理想といったところでしょうか。

㊧工学部に女子学生はいない。この一言につきると思います。そういう事を期待することはまちがっている。そうだろう？そして大学のイメージはどれもそんなに違いがないと思える。青山学院は文系が主流なので女子は多いだろうし、それなりにサークル活動も盛んであろう。しかしそれを除くとどこの大学もそんなに変わりはないはずだ。

5. 4で答えた大学のキャンパスのどこに大学らしさを感じましたか。

ベスト7	どこが大学らしいか	回答数
①	広い	84
②	自然・緑が多い	43
③	自由な雰囲気	41
④	設備がいい	36
④	女の子が多い	36
⑥	建築物が立派	35
⑦	活気がある	17

㊦“広い”が“自然・緑が多い”を倍近く引き放して1位です。共立大もそんなに狭くないと思うんですけどね。大学のキャンパスの必須条件として“広さ”と“自然”“女の子”が上げられます。

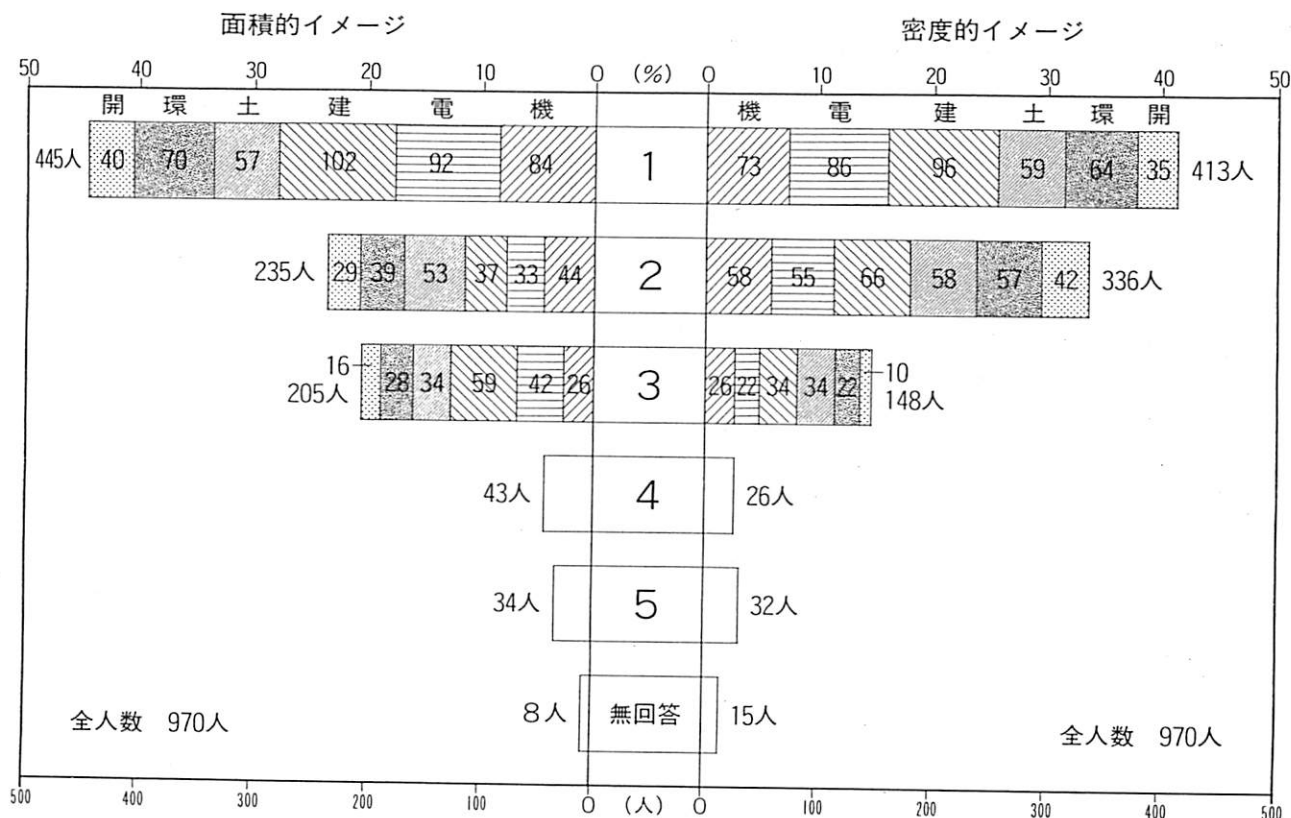
ここまでアンケートを集計して来て、フッと気が付いたんですけど、なんか結果がみんな同じ様な気が……。

㊧もっと緑がほしいですね。といっても芝や植木のようなものではなく大きな樹木のようなものが校舎と校舎の間であって、夏の暑い日には木陰で休んでいる、というのが理想だね。その他には薄暗い大きな部屋の中で列になった机と椅子の中で友達と静かに話しあうというのもいいなあと思う。

6. 九州共立大学をイメージ的にどう感じますか。

面積的に (1. 狭い 2. やや狭い 3. 普通 4. やや広い 5. 広い)

密度的に (1. 詰めすぎ 2. やや詰めすぎ 3. ちょうどよい 4. ややゆとりがある 5. ゆとりがある)



㊦ 共立大のキャンパスを“狭い”と感じている人が全体の半分近くいるけれど、本当はそんなに狭くないんです。ただ使っている土地が少ないだけなんです。たとえばグラウンドの向こうの荒地がそうです。何か使えない理由があるんでしょうか。また密度のイメージは“詰めすぎ”が4割ぐらいいますが、これは一部に集中的に学舎が立っているからです。その方が移動が楽でいいという人もたくさんいるみたいです。どっちがいいんでしょうね。ちなみに僕としては、もう少し学舎をバラして、風通しをよくしてほしいな。

㊧ 上の人の狭くないという意見に賛成です。第8学舎と第2学舎を使う建築の人にしてみれば、放課中の移動や朝の駐車場から第8学舎までの移動は大変なことだと思います。だから風通しをよくしつつも移動が楽にならないものか。私はけっこう広いと思います。ただ使われていない無駄な土地があるのです。密度的には満足しています。それはこれ以上ガラガラの状態になると、何かもの足りないような気になりませんか？そうでしょう、そうでしょう。私は学校の状態は好きです。しかしグラウンドの所の荒地だけは何とかならないものか。

㊨ 九州共立大学の面積的及び密度的イメージについてだがこれは、ほぼ予想通りだった。しかし面積的イメージの結果についてだが実際には共立大学は大学の中でもそんなに狭い大学ではない。共立大学の敷地だけでも学舎の建っている所、駐車場、グラウンド、ぼた山近くの荒地とかなり広い。また福原学園で考えれば更に広がる。反面、密度的イメージについては、みなさんのご意見の通りだと思います。・・・合唱・・・

7. 九州共立大学内で、現在無いもので必要だと思われる場所または施設があれば書いて下さい。

ベスト7	回答数
① 大駐車場 (県外ナンバーも入れる駐車場, 駐車規制のない駐車場) 大きな駐車場, 立派な駐車場, 美しい駐車場, etc.)	93
② 生活協同組合	82
③ 広く美しい学食 (きれいな学食, 高級レストラン, 広い学食) 立派な建物の学食, 喫茶店, etc.)	69
④ 広場・公園・緑地・中庭	64
⑤ 学生会館(ホール)	39
⑥ 書店	36
⑦ 娯楽施設 (映画館, ボーリング場, ディスコ, ビリヤード施設, パチンコ屋, etc.)	35

Ⓕ①の大駐車場はわかる。よく学生の車が道端やどこかの駐車場に止めてあるからだ。第一なぜ県外ナンバーの車が学校の駐車場に入れないのだろう。③は広くて使い勝手の良い食堂が必要であると思う。④は欲しい。⑤は何かが必要であると思う。⑥の書店も欲しい、専門雑誌などが置いてあると便利である。⑦、大学に娯楽施設は少ない。第一、どこの大学の内にボーリング場やパチンコ店があるというのだ。

Ⓖたしかに駐車場は必要だとは思いますが。現在、駐車場はいっぱいだし、さらにひどい状態なのは、バイクや自転車の駐輪場です。自転車なんか車のすぐ横まではみ出していて、非常に危険です。

生協があれば、物が安く手に入るし、便利ですね。僕もほしい。

広く美しい学食、これが一番問題です。たしかに今の学食は狭くて、時間帯を考えて行かないと入れません。広くすることには僕も賛成です。しかし、美しい学食というのは、我々がゴミや食器をきちんと処理すればいいだけのことなので、他人に求めてもしょうがないのではないのでしょうか。

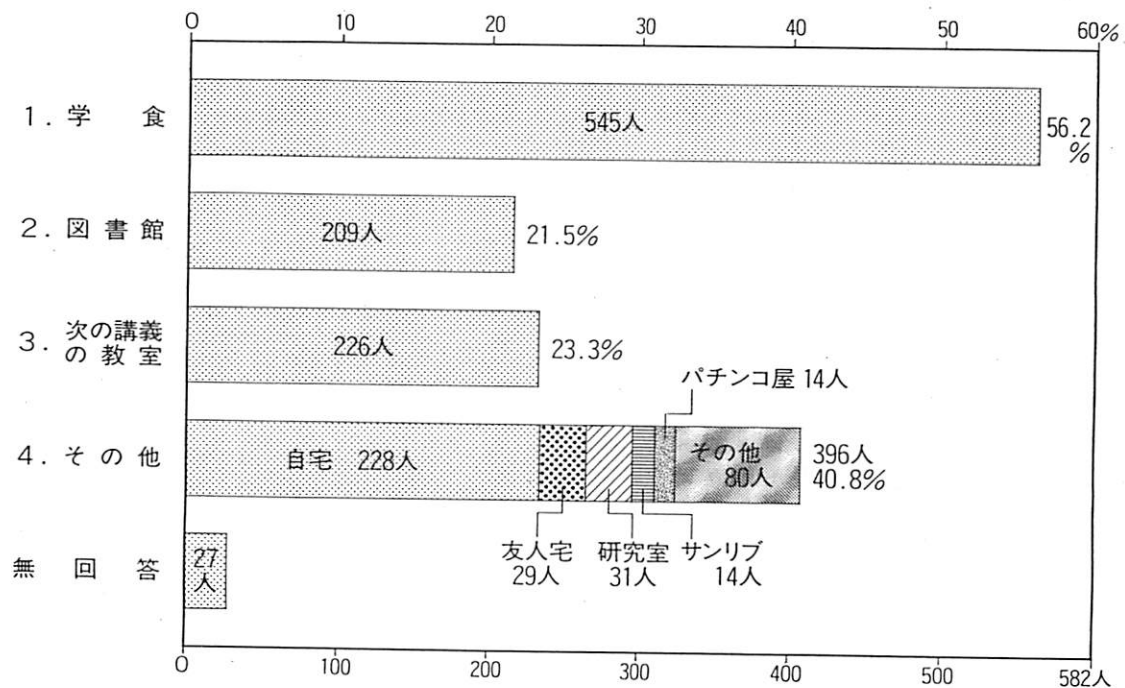
Ⓜ本当に①の大駐車場はわかる。1年生や県外ナンバーは入れないし、しかし何と言っても一番困るのは狭いということであろう。私のクラスでもたった2人しか駐車許可を持っていない。せめて5人に1人は許可して欲しい。②の生協と⑥の書店も学生としては品物や書物が安く手に入るものでぜひとも欲しい物だろう。

しかしベスト6では必要な、もしくはあれば便利な物だろうが、ランキング7とランキングに入っていない物の中にはほとんどない物があり、書いた人は何を考えているのか解らない。

Ⅱ. 大学のキャンパスについてお聞きします。

1. あなたは、講義の空き時間、昼休みにはどこにいますか。下の語群より選んで下さい。(複数回答可)

1. 学食 2. 図書館 (ブラウジングルームも含む) 3. 次の講義の教室 4. その他にあれば書いて下さい。



㊦50%を越える人が“学食”と答えています。問いに講義の空き時間、昼休みにはと聞いているからでしょう。講義の空き時間の方なら“図書館”や“自宅”の方が多いいんじゃないかと思います。大学内に、どれだけ暇を潰す所がないか、行く所がないかという証明になります。

“その他”の中にパチンコ屋と答えた人が14人もいますが、2時間や3時間の間にわざわざパチンコ屋まで行って帰ってくるのでしょうか。大変だなあとあきれられるやら感心するやら。

㊧“学食”・“次の講義の教室”・“図書館”の回答でわかることは、次の行動、目的について近い場所にいるのであろう。また“自宅”については、大学から近い所と考えられる。

これらより、“学食”という回答が多かったのは、比較的大学の中心、つまりどの教室にも近い場所にあるからであろう。悪く言えば、この他に集まれる場所がないともいえる。

㊨この集計を見て何で毎回毎回昼休みに食堂が混んでるのが解った。56%以上もの学生が一度に学食に集まればあれだけ混むのも当たり前だと思う。しかしなぜこれだけの学生が、学食に集まるのかを考えると、答えは簡単、たとえ時間があっても大学の回りに娯楽施設や公共施設等がなければ、外に出て行けない。そうになると必然的に構内の、しかもついのある学食に、ということだろう。その証拠に、その他と回答した人も、ほとんど自宅、友人宅と回答している。この折尾がいかに娯楽施設が不足しているかよく解った。

2. キャンパス内で、何かしたいと思うことはないですか。(例えばキャッチボール、バレーボール等)

ア スポーツ編ベスト3

回答数

- | | | |
|---|---------|----|
| ① | キャッチボール | 40 |
| ② | テニス | 29 |
| ③ | 野球 | 25 |

イ 娯楽・休憩編ベスト3

回答数

- | | | |
|---|----------|----|
| ① | 昼寝 | 31 |
| ② | 女の子と… | 18 |
| ③ | ライブコンサート | 7 |

㊦ トップがキャッチボールと昼寝ですが、まさか例にあげたからキャッチボールが1位になったんじゃないでしょうね、と少し不安です。全体を見て考えてみると、なんとなく活力に欠ける様な気がする。

㊧ まあ、誰が何をするのかは人の勝手ですが、私は8位に入っている水泳というのがいいですねえ、キャンパス内ではないが折尾体育館に行けばプールがあるし、学内ならばキャッチボールが妥当じゃないかなあ。

㊨ 誰が何処で何をしようと自由だけれども娯楽、休憩編の“女の子と……”は、一体なんだろう。女の子と話もしたこともない、うぶな私としては、是非とも教えて欲しい。

3. コミュニケーション・スペース、という言葉聞いて何を連想しますか。

ベスト7

回答数

- | | | |
|---|----------|-----|
| ① | 広場 | 100 |
| ② | 学生食堂 | 33 |
| ③ | 憩い・寛ぎの場 | 32 |
| ④ | 雑談室 | 28 |
| ⑤ | 女性関係 | 27 |
| ⑥ | 会話 | 20 |
| ⑦ | 学生会館・ホール | 18 |

㊦ このアンケートの意味を的確に把握してくれた人が、“広場”と答えてくれたのでしょう。あとの回答は同じくらいの回答数ですがどれもありそうでないものばかりです。女性の人数は、今年度より増えるそうですし、学生会館も今検討中とのことですから、だんだんコミュニケーションスペースが現実化しつつあるといえます。

㊧ コミュニケーションというには会話、すなわち雑談、よってコミュニケーションスペースは雑談室のことであろう。しかし別に雑談室でなくても良いわけである。テーブルに椅子があるだけでも意味するものは十分なわけだから。

㊨ コミュニケーション・スペースと聞いて、何で広場とか学生食堂などの、物質的な物が多く上げられるのだろうか。私としては、会話とか対人関係とかの、非物質的な物しか思い付かないのだが……。

C・Sの基本は、個人的だけれども、“会話”これだと思う。

Ⅲ. 大学の広場についてお聞きします。

1. あなたは大学内における広場造りに関心がありますか。 YES NO

	YES 人	NO 人	無回答 人
機械	140 (80.5%)	32 (18.4%)	2 (1.1%)
電気	154 (89.0%)	18 (10.4%)	1 (0.6%)
建築	171 (81.4%)	37 (17.6%)	2 (1.0%)
土木	119 (72.1%)	42 (25.5%)	4 (2.4%)
環境	131 (84.5%)	15 (9.7%)	9 (5.8%)
開発	79 (84.9%)	14 (15.1%)	0 (0.0%)
全科	794 (81.9%)	158 (16.2%)	18 (1.9%)

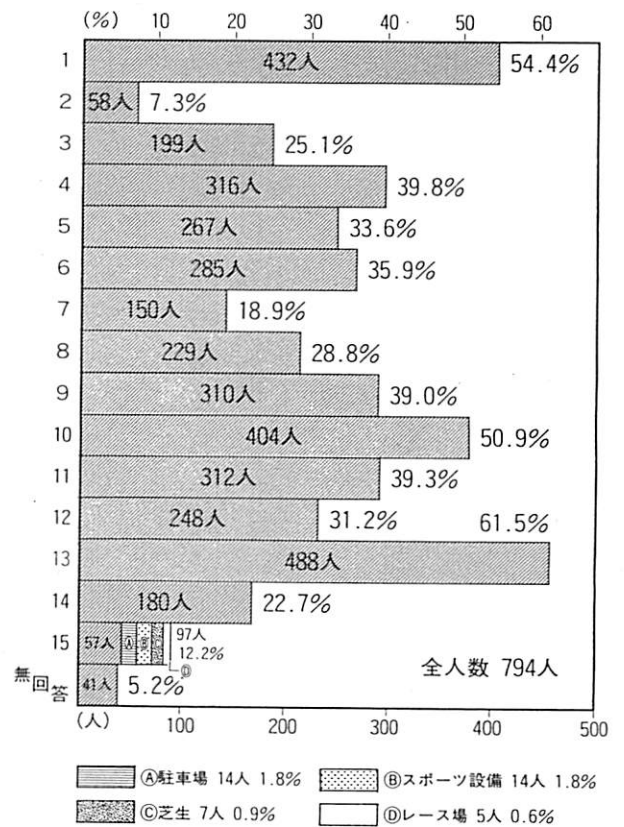
㊦全学科を通して見て、みなさん関心は大変あるみたいですね。これだけ多くの人の関心を集めているコミュニケーションスペースなので、このアンケートの成果が日の目を見るのが近ければいいんですが。

㊧土木の関心が低かったのは、意外でした。学食以外にも集まって談話できるような所といえば図書館のブラウジングルームぐらいですが、ブラウジングルームはジュースが持込めなくてあまり勝手が良くないので皆様の関心があるのだと思います。

㊨この集計結果を見て学生がいかにか庭作りに関心が有るのが解った。この81.9%と言う数字は遥かに予想を上回っており、このアンケート結果が早く実現されることを願いたい。

2. YES. と答えた人にお聞きします。あなたはその広場に何がほしいですか。下の語群より選んで下さい。(複数回答可)

1. ベンチ 2. 机 3. 彫刻 4. 自動販売機
5. 街灯 6. 時計塔 7. ステージ 8. 日陰
9. 樹木 10. 並木 11. 遊歩道 12. 花壇&植物
13. 噴水 14. トイレ 15. その他

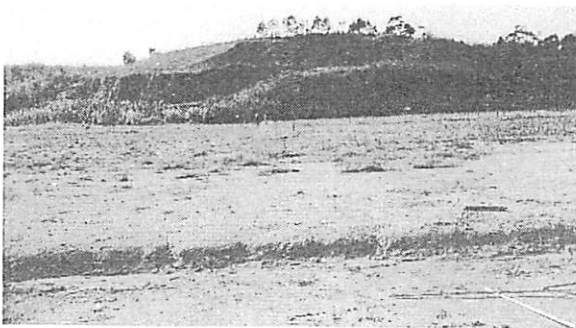
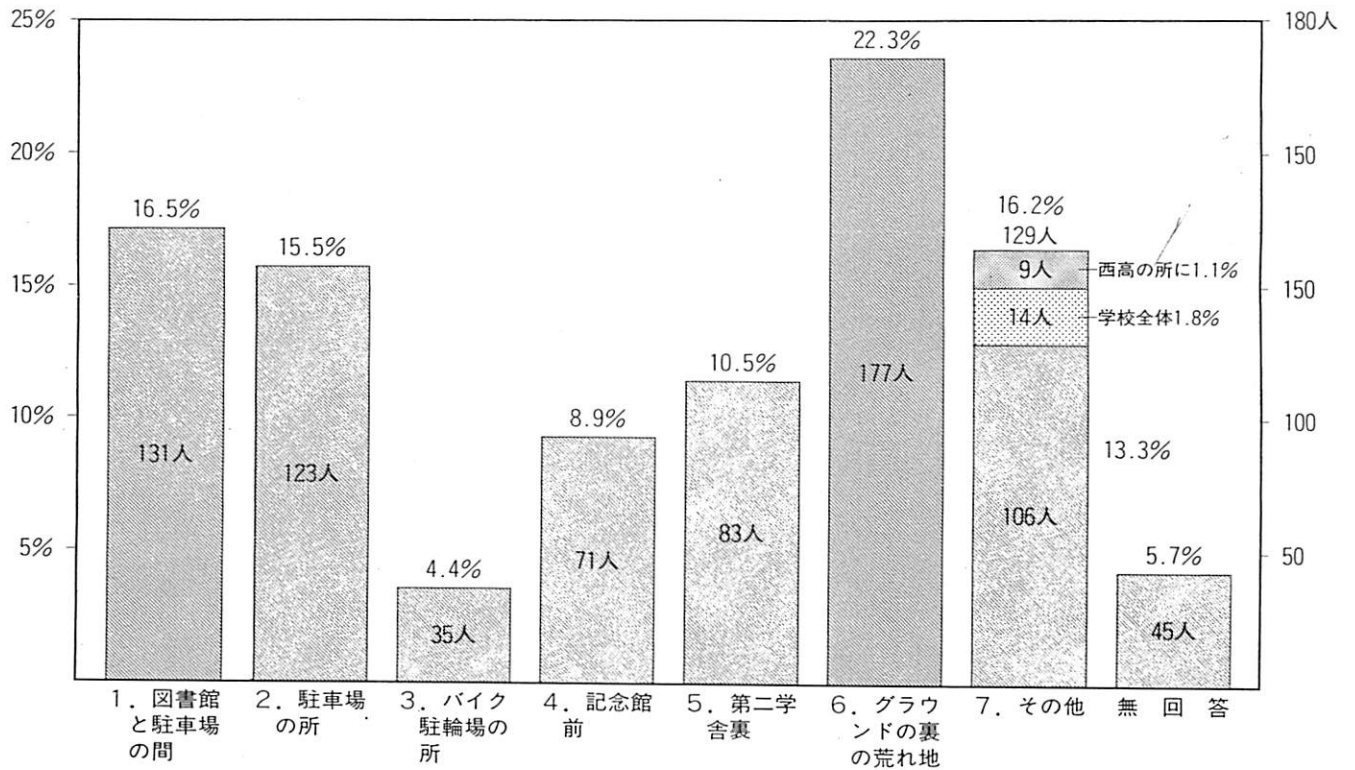


㊨このグラフからわかることは、噴水、並木、自動販売機、遊歩道などの30%を越える回答より、公園の様なものを希望しているのだと思われます。学校の中に公園みたいなものも確かに必要であるかもしれない。

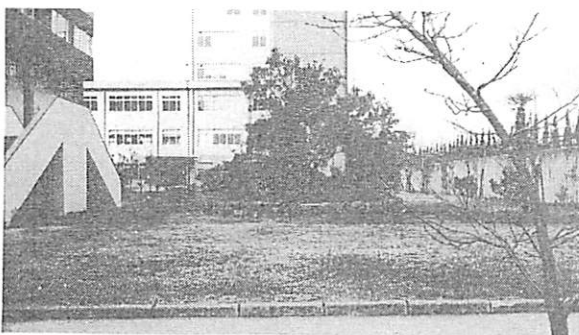
㊩選択項目に上がっているのはほとんど必要なものばかりだったみたいで、全てについて回答数が多かった。プラスαとして、駐車場とかあって、いかにみんなが駐車場を欲しがっているか、他の問いの集計結果とあわせて、よく分ります。

3. その理想の広場は共立大学のキャンパス内のどこに欲しいですか。下の語群より一つだけ選んで下さい。

1. 図書館と駐車場の間 2. 駐車場の所 3. バイク駐輪場の前 4. 記念館前 5. 第二学舎裏
6. グラウンドの向こうの荒地 7. その他にあれば書いて下さい。



㊦ グラウンドの裏の荒地にそんなスペースを造って、果して人が集まるか、というのが僕には疑問です。少し狭いけど2番目に多い“図書館と駐車場の間”の方が人通りも多くて良いと思うんですがね～。



㊧ 荒地と答えた人の気持ちは痛いほどよく分かります。あんな広い土地を草むらにしておくにはもったいないと思ったんでしょう。たしかにあそこは広くて、コミュニケーションスペースを造るにはもってこいだ。そこまでの距離を無視すればの話しだけれど。

㊨ なぜだなんて6のグラウンドの裏の荒地が多いのだろうか。あんな遠い所に作っても利用しにくいだけだ！むしろ小数意見の西校に作った方が利用しやすいし九女と・・・じゃないのかとおもう。

IV. その他、キャンパスについてお気付きの点がありましたらお書き下さい。

ベスト6, プラスα

- ① キャンパスが狭い
- ② 駐車場, 駐輪場がせまい
- ③ 女の子が少ない!!
- ④ 学舎, グラウンド, 通路が整備されてない
- ⑤ キャンパスの色彩がパッとしない
- ⑥ 学食を美しくしよう

その他, プラスα

学内にゴミ箱が少ない

活気がない

W校(?)がじゃま!!

九女が近くて遠い!!

学部, 学科が少ないから増設してほしい

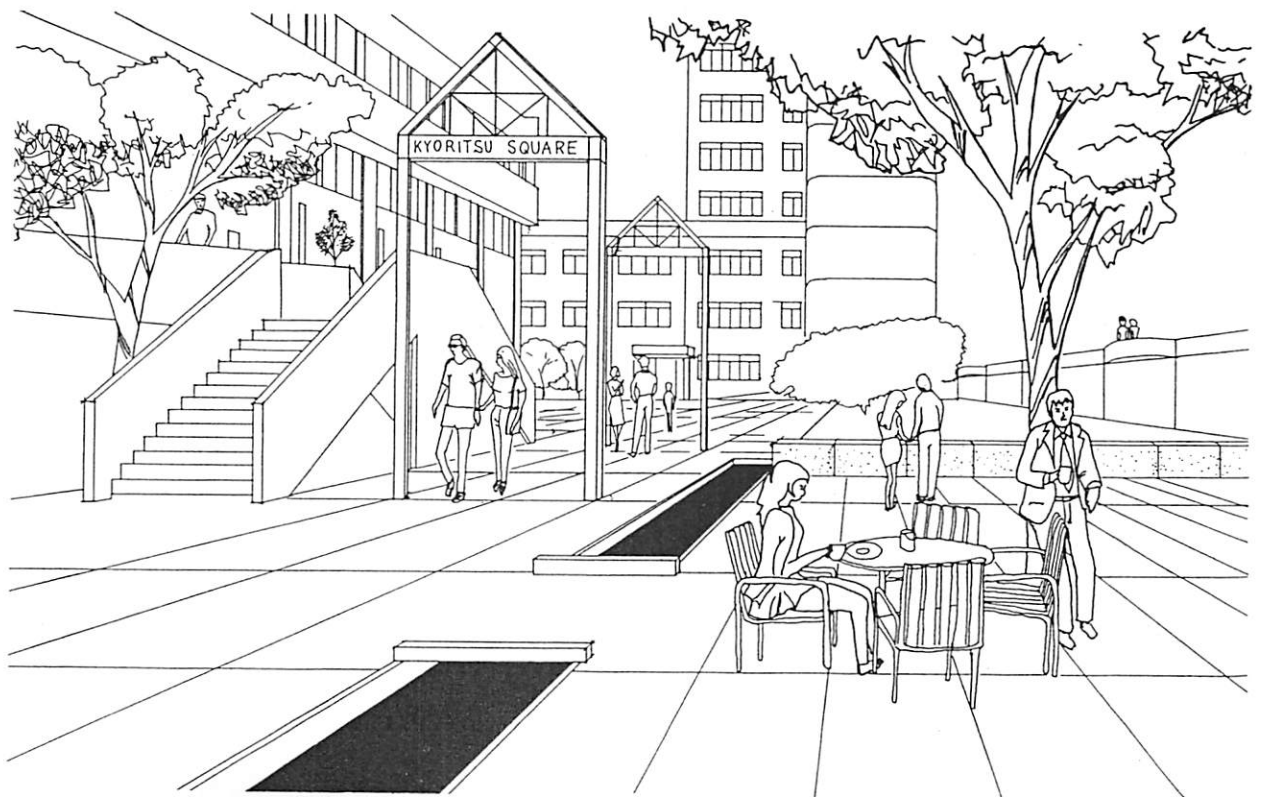
などなど, 他多数

㊦ここまで集計して来た問いの中の“その他”に書いてあった回答を集めたような答えばかりでした。ですから、あまりパッとしないものばかりで、コミュニケーションスペースの参考にするには、少し弱いですね。

㊧学内のいたるところに、紙コップが捨ててあり、見た目にもきたない。灰皿は多いがゴミ箱が少ないためである。ゴミはゴミ箱に、といっても誰も入れないだろう。人の心は、その環境に現われるともいうので、ゴミ箱はけっこう重要な品である。

総集計結果

今まで蜿蜒とアンケートの結果を述べてきましたが、やっとここでその結果を元にして一枚の構想図(下のイラストがそう)としてまとめてみました(正確には、建築の学生の方に描いていただきました)。また、一部編集の結果と異なる点があることをお許し下さい。更にページの都合上、締め括りの言葉もなく、ここで終わります(すみません)。



学長インタビュー！！

タイトルからいきなりカタク始まってしまいましたが、内容はもっとカタいのです。ホントはもっと笑いを交えてヤワらかく書きたかったのですが、書けませんでした。つまらないとか言わずに、しばらくこの企画にお付き合い下さい。それではまた次ページ右下でお会いしましょう。

*

学生

学長がお若い頃、愛読された本や座右の銘をお聞かせ下さい。

学長

人間というものは、年齢、時代、環境などによって成すべきことは変わって行くものです。その中であって、一つの言葉、一つの信念をかたく守り通すと、自分とはもかく周囲の人が迷惑するということを過去の経験より感じました。ですから座右の銘というのは持っていませんが、強いて言うなら小学校の恩師が、気性の荒かった私に贈って下さった『平常心』という言葉がそれに値するでしょう。

私が若い頃よく読んだ本は、歴史書の類のものです。家が戦国武将の家系なので、その影響を受けて過去に遡ってその事実を調べるのが好きになったのでしょう。また専門書の方も、もちろん読みました。中でもリルケの「ヒューマニズムの経済学」が好きでしたね。

学生

九州共立大学をより良い大学とするために、学長はどのようなビジョンや抱負をお持ちですか。お聞かせ下さい。

学長

共立大学に来てまだ一年ほどしか経っていないので、具体的には言えませんが、あの大学に入ればこういうものが身につけられる（それが精神的なものでも、学術的なものでも、生活的なものでも）ということを経験して認めてくれる様な大学にしたいですね。個人的なものだけ

でなく、共通的に流れる実社会や学問に対する姿勢というものが共立大生にはあるとか、そういう雰囲気が出せる大学にしたい。

学生

COM編集部では学内活性化を計ろうということで、コミュニケーション・スペース造りを企画テーマに活動しています。これについてどう思われますか。

学長

私が以前、ある大学を訪問したとき、そこの図書館にあなた方の言う様なコミュニケーション・スペース的なものがありました。その場所では歌を歌っても、議論しても、寝ころがって昼寝してもいいんです。個人がそれぞれ主体的に部屋を使える上に、外部の迷惑にならない様に防音設備まで完備してあるんです。そのアイデアには感心しましたね。

やはり人間というものは、その主体性をどこかで発揮したい、特に組織の中にいると、相手が聞いていなくても何かを訴えたいと感じることがあると思います。ですからそういう場所は必要だと思いますよ。でないと大学に対する愛着心が生まれませんでしょう。

学生

COM編集部と女子学生との座談会を行ったところ、女子用の設備の面で不便を感じており、これらの改善を要求してもあまり進展が見られないという意見が出ました。これについてどうお思いでしょうか。

学長

本学のすぐ近くには女子大学がありますからね。設立した時点から経営、設計などの責任者の方は、おそらく女子は女子大学に入るだろうということで、女子学生に対する十分な受け入れ体制をとらなかつたんでしょう。

しかし、現実には女子が入ってこられて不便している。



PROFILE

姓名：いとうまさのり伊東正則
 昭和3年11月 27日大分県に生まれる。
 昭和27年3月 東京商科大学（現一橋大学）卒業。
 昭和41年12月 北海道大学に於て経済学博士の学位を受ける。
 昭和53年8月 福岡大学専務理事，福岡大学長に就任。
 昭和62年11月 任期満了にて福岡大学を退任。
 昭和63年1月 福原学園九州共立大学副学長に就任。
 平成元年4月 九州共立大学長に就任。
 現在に至る。

また大学の方では、これからは女子にたくさん入学してもらおうと思っています。そうすると早く女子学生が学びやすい環境を作らなければならないということで、今その環境づくりに皆で励んでいるところです。

学生

学生が設備の面も含めて、色々な要望を持ったとき、その声を大学のどこの窓口に伝えれば良いのでしょうか。

学長

今後、どうすれば皆さんの希望を早く、正確に受け入れ、実現させることが出来るか検討してみます。

これは女子学生だけの問題ではなく、共立大生全員の問題として考えないといけないのでね。

学生

雑誌COMを読まれて、どう思われますか。

学長

あなた達は若いのでね、読んでいて楽しい。内容が良い悪いじゃなくてね。重要なのは、如何にして共立大学での青春を生き生きと表現出来るかであって、文章の上手下手とか、構成が偏ってるとかは2次的、3次的なものなんですよ。だから今までのところは、それが出来てるんじゃないかな。あまりプロ的に編集するより、かえって良いんじゃないでしょうか。

学生

最後に共立大学の学生や、本学に限らず学生全般に対して望むことをお聞かせ下さい。

学長

本学の学是は「自律処行」ですから、やはり大学まで来たのなら、自分で考え自分で行動するというところに責任を持って欲しいですね。

自分で考え自分で行動するというのは、何も一人でやれということではなくて、自分の考えをより広いものにするためには、先生方の指導とか、友人、先輩の助言とかを聞いても良いんです。それによって自分自身を豊かにし、思案実行できる様な人になって欲しいということです。

大学の学部、学科というのは専門的分野の基礎を教える所なんです。基礎というのはあまり面白くありませんが、だからといって勉強しなかったら大学にきた意味がないですよ。面白くないことにも、一日のうちの何時間かを費やしてみるのも、自分を豊かにする動機になりますから、あえてそれに挑戦してみるのも大切なんじゃないかな。

*

いかがでしたでしょうか。なお、このインタビューは'89年11月13日に行い、本文中の女子座談会は'89年5月に行いました。したがって、本文の内容はその当時の事ですので、ご了承下さい。この企画に長らくお付き合い下さいましてありがとうございました。



『いろんなことを見て、 それから考えるんだ、 いろんなことを』

『ライラック物語』 ふくやまけいこ著

この漫画について、ベンという男の子とポピティという犬がサーカス団からぬけだして、馬の学校へ行ったお父さんを探しに出る。サーカスのスミザース団長がベンとポピティを他のサーカスの象とトレードをするためにしつこく追いかけてくるが、ベンはうまくきりぬける。父さんを探す旅を続けるうちに知り合ったソーニー、バット、先生、セリア、モス婦人と2人の娘たちに助けをもらいながらもお父さんのいるという町を目差すが、そこには来ておらずに来る途中で行方不明になっていた。お父さんは意外なほど身近にいて、ついでにベンとスミザース団長との仲たがいもとけて、ハッピーエンドで終

るといふ話です。

最後のベンの「いろんなことを見て、それから考えるんだ」と言った言葉が気に入った。いろいろなことを知りそして考えることがライラック自身の考えに方向をもたせたり、自分に有利に働くようにしたり、真実を見つけ出すことなどができるからです。今日いわれる情報化時代にとってそれは大切なことであると思います。それだけではなく身近なことでもそれを行うことができるので、何でもいろいろなことを知って、考える必要があると私は思います。

この漫画はオルコットの『ライラックの木かげより』という子供向けの本が原作なので、絵本を見ているようなほのぼのとした感じがあって良いです。



『アパルトヘイトはもっと 大切な問題だけど、僕は “あなたが恋しい”と言って ほしくてたまらない』

この言葉はテレンス・トレント・ダービー (T・T・D) のセカンドアルバムの歌詞の一部です。アパルトヘイトに関心がない人がみても、ただロマンチックな文だなあと思うだけかもしれない詞です。でも、ちょっと視点を変えて考えてみてください。非白人（特に黒人）の頭の中はいつもアパルトヘイトのような差別問題がはなれない。いつ、いかなる時も……。

この詞を書いたT・T・Dは『黒人は自由になり、アパルトヘイトのような現実問題を忘れるぐらい自然になりたい』と伝えたいのではないのでしょうか。（現実問題と書いたけど非現実と書くべきか……）これはアパルトヘイトに関係がない人でも、人種差別をうけたことがある人なら共感できるはずですよ。

私はブラック音楽から、こういった差別問題に関心を

もった者ですが、白人の子供は黒人の子供に対して命令形でしゃべると聞いたことがあります。T・T・Dもこのような類の言葉を言っています。『一般的に、黒人の男はあまり自負心を見せてはいけなくてとされている。それは失礼なことだとされているけど、確かにそうだね。白人だったら単なる生意気となるところだけれど黒人はそうはいかない……』南アフリカ共和国で主食となっているのはとうもろこしです。しかし、それを輸入している日本では、ほとんどが家畜のえさになっているとか。南アの黒人達は飢えて苦しんでいるというのに。

ほら、ほらそこでTV見ているおばさん！男と女が一緒になれないで、どうのこうののドラマ見て同情の涙なんか流してんじゃねえよ。そこで漫画本を読んでもガキ。おまえだよ、おまえ。ヒーローが苦しんでいるからって心配しなくてもいいの。ヒーローは必ず最後には勝つんだから。

もっと現実を見てください。現実には起っている人種差別の問題にもっと関心をもってください。理解する心を広げられたら人種差別をなくすることができるのではないのでしょうか。

『レイバーを悪役に しちゃいけないよ』

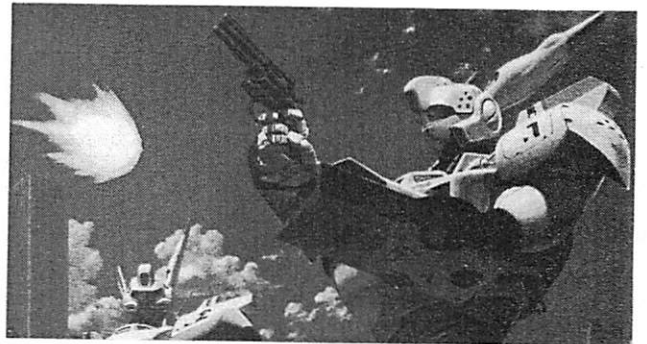
劇場版 機動警察パトレイバー

このセリフは今回の映画の中でも最も気に入ったセリフである。

「レイバーを悪役にしちゃいけないよ」のレイバーとは作業者という意味で、作品中では人型作業用ロボットの事です。ロボットであるレイバーがなぜ悪役に？ 答えはカンタン。何にでも言えるけど、初めから悪いモノなんて無いのです。劇中ではレイバーを悪に変えたのはHOSと言われる悪のプログラムだったんだけど、そのHOSも人間が考え出したモノなんですよね。機械や生活用品、どれも人間のために考えて作られているのに、それを使用する人間の心が悪なら、たちまち機械や生活用品は悪役になってしまうのが現実なんです。わすれていけないのは正義の心！

編 コメント

この映画「パトレイバー・ザ・ムービー」は、他のアニメと少し違い、かなりリアリティーを追求して作り上げられている。20世紀末という近未来に時代設定をし、登場するのは警察官とショベルカーやブルドーザーなどの作業用重機が進化したロボット「レイバー」、それに近頃流行のコンピューターウイルス、ハッカーなどが絡んでくるという具合にである。ストーリーだけでなく、画像の方もシャープで細かい描き込みが施されている。パトレイバー劇場版は細かい所に注目して見ると非常におもしろい映画である。



『人間には想像もつかない物 を見てきた。』

『ブレードランナー』

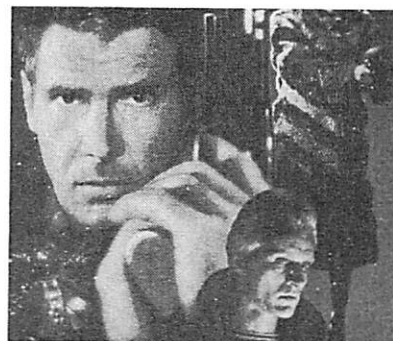
1982年に劇場公開されたこの映画はビデオ発売以来レンタル屋でロングヒットを続けた作品です。おそらく知らない方は少ないのではないのでしょうか。

原作はフィリップ・K・ディックの「アンドロイドは電気羊の夢を見るか？」ですが映画とは時代と物語のシチュエーションこそ同じでも、内容は全く別物と言ってもよほど変更されています。しかし、「映画はその原作にはかなわない」というジンクスを破った数少ない作品の1つで、SF映画でありながら非常にヒューマンな部分が強調整されており、この手の映画ではあまり描かれないテーマが取り上げられていました。

「人間には想像もつかない物を見てきた。それが奴隷の一生だ。しかしそんな事も時が来れば忘れてしまう。その時が来たようだ。」

この言葉を淡々と語ったレプリカントと呼ばれる人工

の人間は命への執着という当然の行動を取ったが故に人間から殺されることとなります。台詞の中のその時とは寿命のことで自分を殺そうとした人間に命の大切さ、死



の恐ろしさを教えて、この言葉を最後にゆっくりと、寝むるように死んでいきます。

もしレンタルビデオ屋で何を借りるか迷った時はこの作品をオススメします。

編 かいせつ

時は2020年……と言えば舞台は宇宙が多いんだけど、このブレードランナーは2020年と言えども足がしっかり大地についている。主演は、「スターウォーズ」「インディジョーンズ」の(ハリソン・フォード)、彼の演じるリックデッカーは、すご腕のブレードランナーで、劇中ではレプリカントと追撃戦をくりひろげる。ブレードランナーとは、対アンドロイド用に訓練された、特殊警察の刑事のことである。

学 科 紹 介

工学部には6つの学科が存在しますが、COMでは毎号2つの学科を取りあげて今まで以上に充実した内容で学科の紹介をすることになりました。

電気工学科

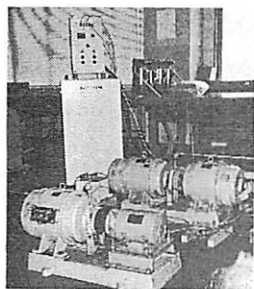
電気工学科には電気コース、電子コース、情報コースの3つのコースが存在します。これは2年生になる段階でそれぞれのコースにわかれるのですが、講義内容がコースによって変わりはじめるのは3年になってからです。3コースの共通科目としては電気磁気学、制御工学、プログラミング言語I (FORTRAN)、数値計算法、電気回路等があり、どのコースでもプログラムや回路について学ぶことができます。

そこでは各コースの内容を御紹介しましょう。

★電気コース

専門科目としては、発電工学、高電圧工学、照明及び電熱、電動機応用、電気製図 etc …であり、高電圧、強電系の講義が多いコースです。主に電気エネルギーの変換等を学びます。また3コース中で一番専門科目が多いという不幸な特徴をもったコースでもあります。

さて、3年の電気機器実験の実験室には大型のモーターの実験器具があり、変圧器の各種特性試験や同期発電機および電動機の各種特性試験等の実験があります。なお実験では100~200(V)の電圧を使用しているので、いい加減に実験をしたり、ふざけていて器具を壊すのはともかく、感電したりモーターに巻き込まれて自分を壊さないよう要注意して下さい。(昨年2人ほど感電した人がいるというウワサです。) 昨年の学祭では放電実験を実演してお客さんをびっくりさせて喜んでいました。



これが噂の“人をむ”モーター。

★電子コース

主に電界中の導体内の電子の動きや各素子の動作を勉強しているのが電子コースです。このコースの専門科目は電気音響工学、電波応用工学等で、電気及び情報コースとの共通専門科目が多いので電気工学について幅広く学ぶことができます。(決してつぶしがきくという意味ではありません。あしからず)

3年の電子工学実験では、電気光学効果による応用実験や光ファイバーの損失特性等の実験があり、実験の終了時間を待たずして終わる班がほとんどだそうで、熱心の実験をしているようです。

この電子コースでエレクトロニクスの理論を修得して時代の流れに対応して(流されて?) 未来に可能性を求めてみてはいかがでしょうか。



“さあ今日の実験は早く終わらせて帰るぞ”と、まだチャイムの鳴る前から気合をいれている学生の図。

★情報コース

情報コースでは情報処理(プログラム)とコンピュータのハードウェアについて勉強しています。つまりコンピュータの記憶装置(磁気ディスク、RAM、ROM等)やCPUの構造、その性質等です。専門科目としてシステムプログラム、電算構成論、情報機器、電子計算機システム等があります。

情報コースといってもパソコンを打つばかりではなくて時間的には他のコースと同じくらいではないでしょうか。しかし勉強したい学生にはいくらかでも開放された環境でパソコンを使うことができます。又、情報処理産業

は女性の活躍が大いに期待される職業分野でもあります。

3年の情報工学実験ではICを使用して種々の回路を組んで実験を行ったり、実験用マイクロコンピュータシステムを使用して実験をしていますが、このマイクロコンピュータシステムは数枚の基板で構成されていて、これをコネクタで接続するのですが、この作業が一苦勞で、一度接続した基板を2人がかりでははずす時なんかコネクタがミシミシ音をたてる程ひかないとぬけません。ICの足の痛さを学ぶのもこの実験の目的かどうかは担当の末安先生に聞いてみないとわかりません。



2階の端末室のパソコンの数とその設備には目を見張るものがあります。

以上で電気科3コースの紹介を終わりますが、次に電気科と切っても切れない関係にある所を紹介しましょう。

★情報処理センター

センターの場所についてですが、工学舎の1階、自動ドアの中にあり大型コンピューターを始めとして様々な高性能機器を揃えた各学科の各種研究における中核的な存在です。センターにある大型コンピューター及びミニコンは図書館、就職課、各研究室及び端末室に接続されていて、それぞれの場所で使用できます。センター自体の仕事は学生の成績の管理や図書館と就職課等で扱うソフトの管理等を行っています。

2階の端末室のパソコンには1台に1つの割合で20Mのハードディスクがついていて、種々のソフトウェアが使用できます。このハードディスクについてですが、本来ハードディスクというものはとてもデリケートな機械ということを知っている学生が少ないようで、アクセス中に電源を切ったり足でくるとばす(足もとにあるので)のが原因でファイルがめちゃくちゃになってます。一太郎に辞書ファイルが入っていないなんて情けないこともありました。みなさんハードディスクは愛情を持ってあつかってあげましょう。



1階のセンター内左に見えるのはロッカーではなく大型コンピューターです。

★電気科事務室

主に電気科3コースの実験を担当しておられる先生方が集まっておられる部屋です。事務室と聞くとかたかくしく想像してしまいがちですが中に入ると全く違う世界が広がっています。



事務室のみなさん。本当はこの写真の中以外にも数人の方がいらっしゃいます。

この部屋に入って遊んだ(?)ことのある人はあまりいないのではないのでしょうか。私はこの事務室の空気が好きで大した用もないのにこの部屋におじゃましてはだらだらと居座わり、仕事のじゃまをすることがしばしばあります。そういうことをしても少しも私のことをけむたがらずお茶をくれる事務室が私は好きだっ。

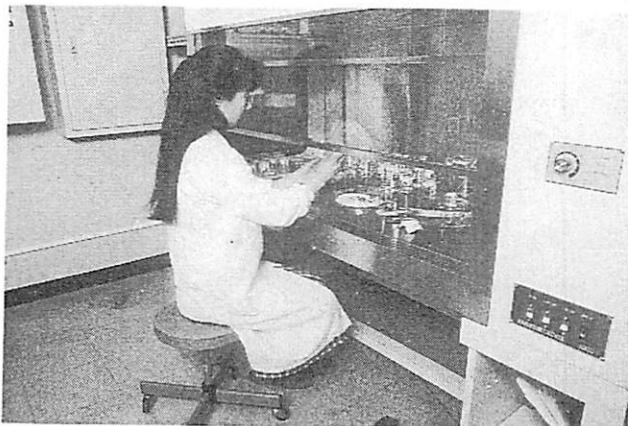
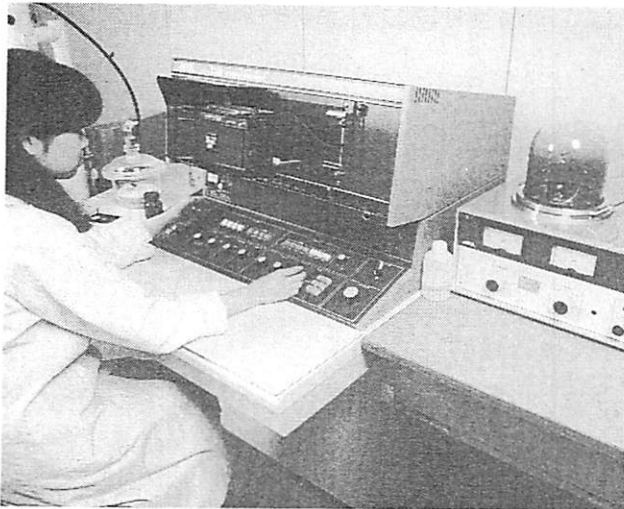


写っているのは私ではありません。

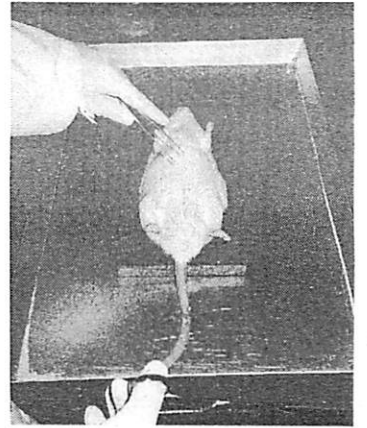
変なことばかり書いてしまいましたが、事務室にもたくさんの情報機器やソフトウェアがあって、割とお勉強になります。特にソフトウェアの数はちょっとやそっとじゃ揃わない数が置いてあるので隣りのパソコン室で使ってみてはどうでしょうか。

環境化学科

今、最大の環境問題となっているオゾン層破壊をはじめとした地球の温暖化や砂漠化の問題は、人類が生きていく上で解決しなくてはならない重要な問題です。しかし、人類が生きているからこういう問題が起ったともいえます。環境汚染や環境破壊の問題は、人口が増え過ぎたことが大きな原因の1つと考えられ、産業革命以来の生産力の増大にともない人口も急激に増えてきました。国連の統計では'89年に51億6200万人に達しているそうです。この膨大な数の人間が普通の生活をしているだけで環境汚染、環境破壊が進むのですから人間は地球という生命体の“がん細胞”といわれても、反論の声もだせません。人間は自ら、生きていくのに困難な環境を造っているのです。今こそ環境を考える時ではないでしょうか。



環境化学科では、このようなさまざまな環境汚染や環境破壊の問題を考えたり、生物工学（バイオテクノロジー）の技術や知識を追求します。本学科は化学関連の科目ばかりでなく、さきほど述べた生物工学を中心とした生物関連の科目、生物学、微生物化学、衛生化学、細胞工学…も盛り込まれており、科学を広い視野で考えます。1、2回生の時は、他の学科と同様に一般教養科目が主です。3回生になるとほとんどが化学、生物関係の授業になります。



▲この時までみんなビクビクでやりたくない表情でしたが、一旦実験を始めると病みつきになります。

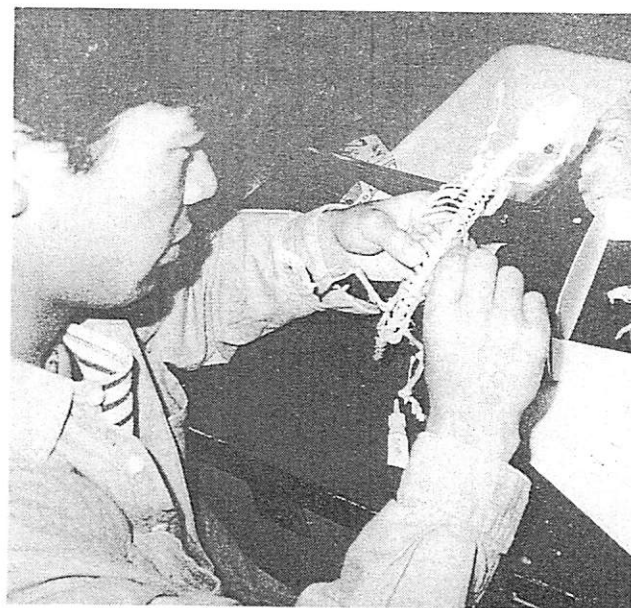
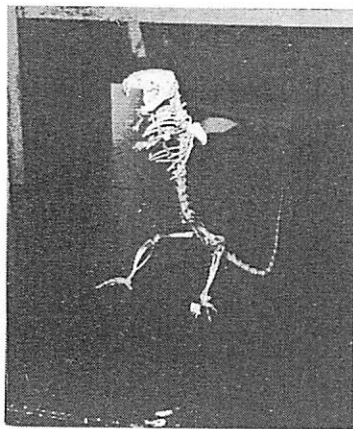


↑ NMR測定装置
有機化合物の分子構造の推定や解明を行う。

↘ 走査型電子顕微鏡
植物、微生物などの表面の微細構造をみる。

← クリーンベンチの無菌操作
植物、微生物を無菌的に取扱うための必須機器
カルスや菌類の接種や植継ぎに用いられる。

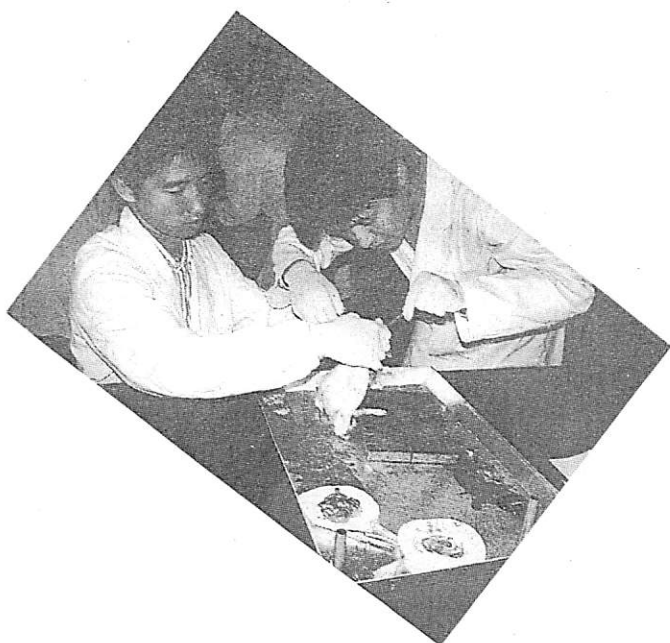
あまり堅苦しい話ばかりだと書く方も疲れるのでこの辺で話を柔らかくしたいと思います。工学部の中で白衣を着るのは環境化学科だけです。一見、清楚で清潔、純白の心を持った貴公子のように見えますが、腹の中は真っ黒です。たまに黄色もありますが、それは2年の生化学実験で扱ったルチンでしょう。よく学食で白衣姿の学生がいるけれど、白衣が着れてうきうき、ワクワクの1回生か、目立ちたがり屋の2回生でしょう。うきうき、ワクワク、目立ちたがり屋の私は3回生になっても白衣を着て学食へ行っていました。3回生になると実験が多い時には週5日もあり、脱ぐのが面倒になるといふ理由もあります。



▲ 衛生化学実験で、ばらばらになったラットの骨を組み立てているところです。

4回生になると研究室に入りますが、研究室は衛生化学、生態遺伝学、環境分析化学、環境微生物学、物理化学、生態化学、資源生物学、有機化学の8つに分かれて、それぞれ専門の実験をします。くわしい内容は研究室だよりを見てください。

環境問題が騒がれている現在、環境化学科をなくしてはこの世は救えない!!



実況中継!!

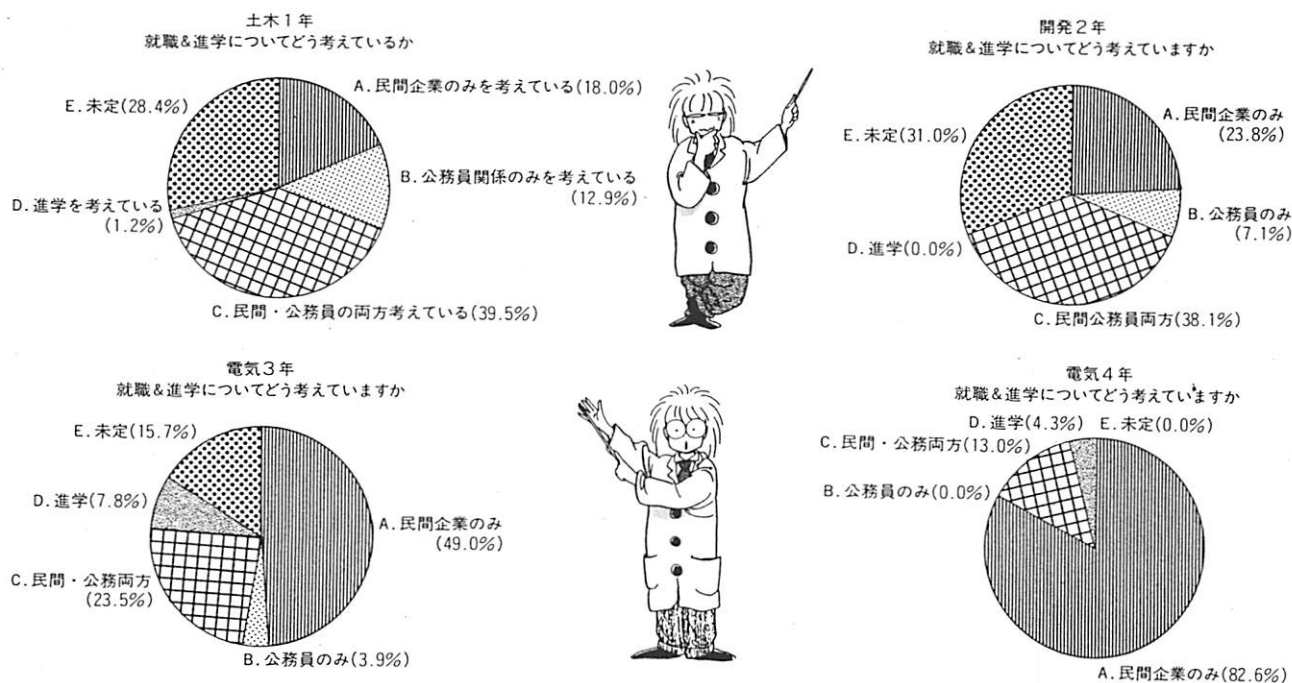
共立大生の実態

現在共立大工学部には約 1500 名の生徒が在籍していますが、今回いくつかの点において学生の考えをアンケートにおいて答えていただきました。

就職編

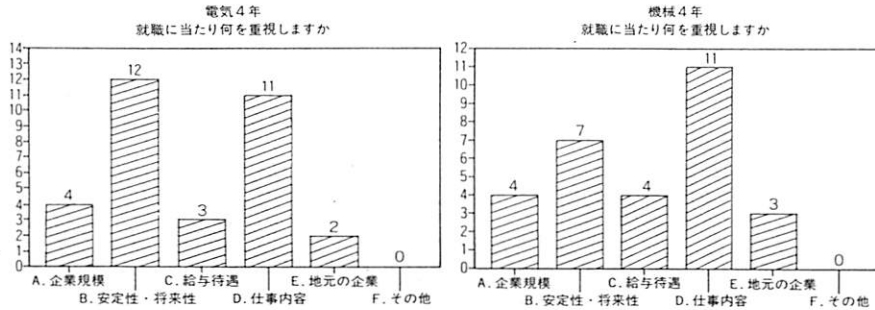
就職に関するいくつかの項目を答えてもらいましたが、ただ単に結果をならべるだけではつまらないと考えた私達は数々の比較、分析を行ってみました。

★まず就職と進学についての学年別の意識の変化を追ってみました。

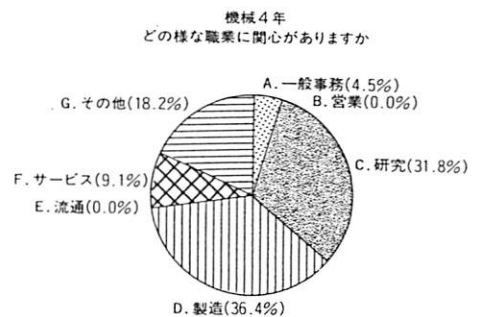
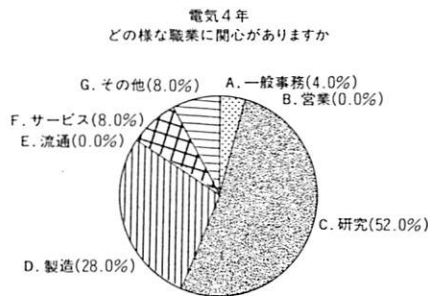


上に登場した各学科はそれぞれの学年で最も平均的であった学科を選びました。よく見てもらうと学生の意識が学年を追うごとにはっきりと変化していることがわかります。1, 2年生では民間企業のみ、公務員のみ、民間と公務員両方、未定のそれぞれがほとんど同じような割合で選ばれており、進学はほとんどいません。それが3年生になると民間企業のみという人が一気に半分近くをしめるようになり、進学という方向の人も増加します。つまり公務員のみ、民間と公務員両方、未定、という学生が減っているわけです。4年生になるとその傾向はより一層強くなり、民間企業のみという学生が8割を越え、公務員のみという学生が1人もいなくなってしまいます。未定というのが0%なのは4年生にしてみれば当然のことでしょうが、なぜ公務員のみを希望する学生がこう少ないのでしょうか。実は3年前にも今回と全く同じアンケートを行ったことがあるのですがその時は民間企業のみという学生は67%と多いものの今回ほどの多さではありませんでした。

★公務員希望がなぜ少ないのか、学生は公務員をどのようにとらえているのか探ってみました。



上の2つのグラフも4年生の中で1番典型的な学科をピックアップしました。どちらの学科も安定性・将来性と仕事内容が幅をきかせてますが安定性という点では公務員が企業に負けるわけがないのでこの事が共立の公務員離れには結び付かないことは確かです。ただもう1つの仕事内容については断言はできませんが公務員離れに一役かっているように思えます。



同じ学年学科で関心のある職業を見てみると上のような結果が出ていました。

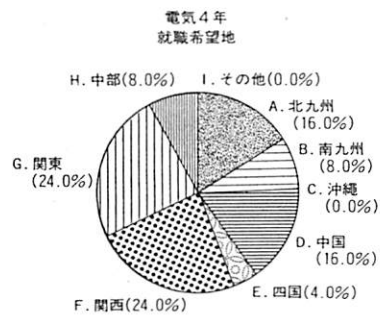
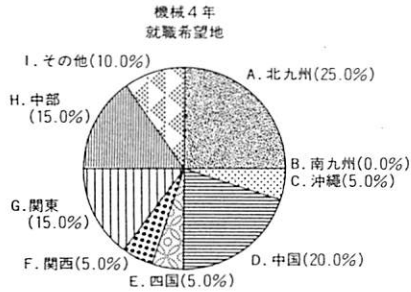
2学科とも研究と製造で大半を占めています。どうやら共立の公務員離れはこのことが原因のような気がします。アンケートでは直接公務員のイメージ、公務員の仕事をどこまで理解しているかは問いませんが、逆接的に言えば共立の工学部の学生は「公務員とは研究活動がなく、製造業もなく、少なくとも自分がやっていると楽しいと思える仕事内容ではない。」と考えているのではないのでしょうか。付け加えるならば公務員はやはり競争率が高く、合格しても確実に雇ってもらえるのかどうかわからないのでリスクの少ない民間企業を選ぶところでしょうか。

★新兵器登場!

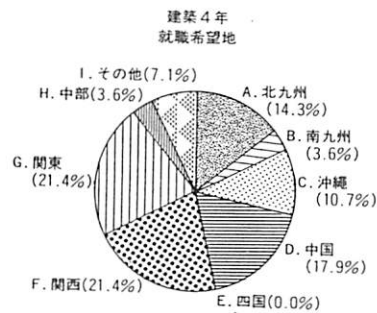
学生課の奥にふだんあまり学生が立ち入らない場所があります。そうそれは就職課と呼ばれ、学生をエンjoyしている者にとってはあと数年は立ち入りたくはない所です。そのイメージを打ち破るべく登場したのがこのマシン。今まで1つ1つ書類をはこび探していた企業もこの新兵器を使えばあっという間に能率的に探しあてることができます。まだ無責任でいたいという人もこれを使えば立派な社会人になれる!かどうかわかりません。



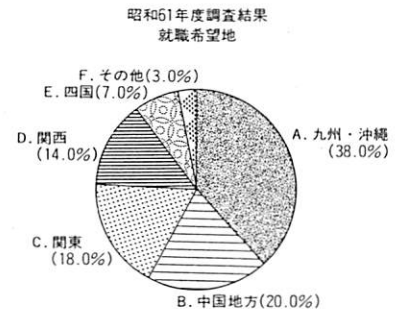
★さて、学生の就職意識からは少し離れて次は共立大の学生の就職希望地をまとめてみました。



御覧のように就職希望地はみごとにバラバラです。これは学生の地元思考の高さを表わしていると思われませんが、最近就職においても関東周辺の一局集中が進んでいて比較的大きな企業が集まっている福岡でさえも新入社員を確保するのはむずかしいそうです。“なんとか地元に残りたいが自分の目指す企業が地元にはない。”といったところでしょうか。これだけの学生がそれぞれの地元に着いて根を張っていれば現在のような一局集中だの遷都だのと騒ぐ必要もなかったことでしょうか、やはり学生の希望も世の中の流れにはさからえないものなのでしょう。



右にあるグラフは4年前にも今回と同様のアンケートをとった時の結果です。地域の分けが少々大きざっぱですが、ほとんど今回の調査結果と変わりがありません。4年前のデータがこのように出ているということはこの4年間もやはり地元優先は変化なかったのではないのでしょうか。関東を目指すことが良い事だとまではいいませんが、もっと意欲的に県外に出てみることも大事な考えの1つではないのでしょうか。



★緑の下の力持ち

共立の学生が各々の就職活動に集中できるのも、すべて右の写真の就職課のみなさんのおかげなのです。“緑の下の力持ち”といっちはいささか失礼という程、学生にとっては大事な皆様です。みんな感謝するように！就職に関してわからない事があれば案ずるより就職課に行くべし。ベテランの方々が揃っていらっしゃるの安心して相談することができます。



生 活 編

さあ、お堅い就職ネタから離れて共立大生の生活の実態をあばく生活アンケート編に移りたいと思います。今回の調査ではけっこう深い部分まで立ち入って、みなさんの知らない他人の生活を、又はあなた自身の生活を独断と偏見で語ろうと思います。

★まず生活の第1条件となるアパート。これがなけりゃ生活できない。そこで共立大生の住んでいるアパートをアンケートで調べると、あるわあるわ折尾にこんなにアパートがあったのかと思うほど数多くのアパートがありました。工学部の学生だけのアンケートだったわけですがそれでも100近くのアパート名があがっていました。そのアパートを家賃、広さ、日当り、その他の項目において5段階評価し、合計ポイントが20点以上のアパートを選び出しました。

COM優良アパート選定委員会選出!

“住み心地の良いアパート”

★大浦地区

- コーポあおい
- コーポ大田
- グリーンハイツ大浦
- シティーベールIDAI

★藤原地区

- マルイハイツ
- 神野アパート
- 村田アパート
- ジュネパレス
- 故郷ハイツ

★折尾地区

- メゾンドノーブル
- 天城荘

★千代ヶ崎地区

- 大平荘
- 第2大平荘

★浅川台地区

- ハイツクリスタル
- ジュネパレス

★本城地区

- メゾンドウェル

★浅川地区

- 出雲荘

★南鷹見地区

- 岡廼舎

★北鷹見地区

- ジュネパレス

★丸尾地区

- 桜荘

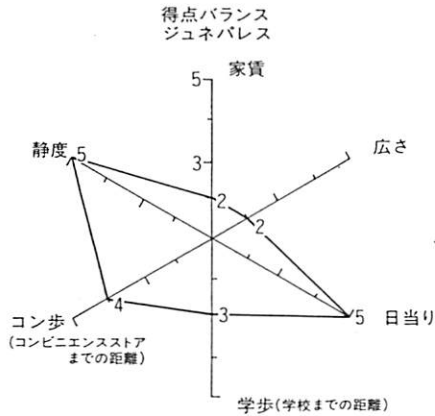
★区生ヶ丘地区

- よしとくハイツ

★浅川日の峯地区

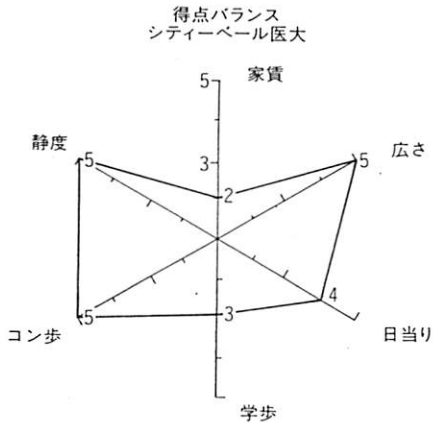
- コンドミニウム

さて、あなたの住んでいるアパートは前ページの優良アパートに含まれていましたでしょうか。
めでたく入選されたアパート名をしげしげと見つめると、ふと目にとまる名前があるはず。そう、なんと3つの地区にまたがって存在し、かつ20点以上の得点をあげている珍しいアパート、ジュネパレスです。そこでこのアパートの得点バランスを見てみると次のような結果がでました。

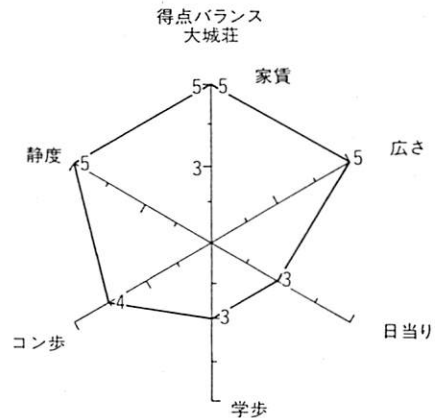


浅川台地区、北鷹見地区、藤原地区の3地区に存在しますがそのどれもが日当り、学校までの距離、コンビニエンスストアまでの距離、静度等について高いアベレージを残しています。ただし家賃と広さはちょっとポイントが低いです。家賃と広さより環境を取るという人にはオススメです。

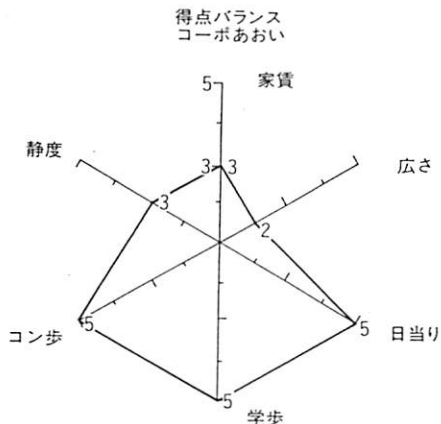
前ページにあげたアパートだけでも22戸ありますが得点バランスを見るとほとんどのアパートがそれぞれ違ったバランスを持っていてバラエティーに富んでいます。下にいくつかあげてみることにしましょう。



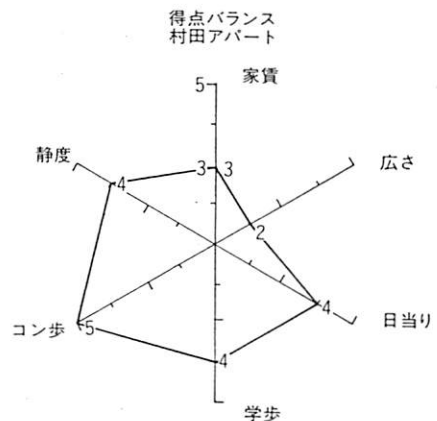
リッチな学生生活をおくりたい方へ。
★医大生向けリッチアパート



家賃が安ければそれで幸せという方へ。
★生活は家賃が基礎アパート

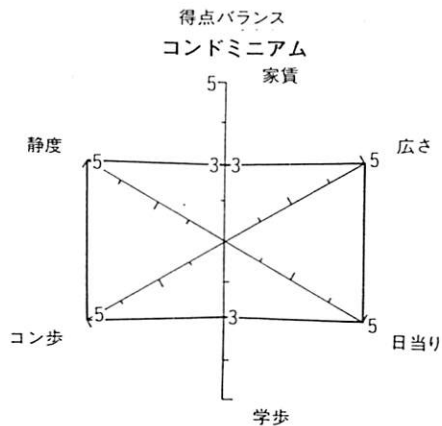


とにかく歩くのがいやという方へ。
★大学、コンビ二目の前アパート



生活は居住性より機動性だという方へ。
★せまいけど便利アパート

◦色々なタイプのアパートがありましたが、ここで一番ポイントの高いKing of Apartmentを御紹介しましょう。



なんと広さ、日当り、コンビニエンスストアまでの距離、静度の4つの点で5点満点をたたき出した「コンドミニアム」が総合得点26を獲得し第1位に選ばれました。

みごとな左右対称のグラフとなったこの「コンドミニアム」は浅川日の峯地区に存在しますが、私は見たことはありません。ちなみにコンドミニアムという意味は集合住宅とかいう意味だっと思ひます。ちょっと味気ないですね。

いろいろなアパートを紹介してきましたがどのアパートにも一長一短があり、100点満点というアパートはありませんでした。しかしこれは当然のことであり、世の中そんなに甘くはないということではないでしょうか。かえって一長一短があった方がそのアパートがより個性的で人にうまくマッチするように思ひます。今回このような形でアパートを点数化しましたが点が高いからどうということではなくて、そのアパートの個性を感じ取ってもらえればこちらとしても大変うれしいです。

★ここでちょっと趣を変えて、突然ですが各学科の学食ベスト5をならべてみましょう。

◦機械

1. 唐揚定 2. ミートソース 3. カレー 4. A定 5. カツ定

◦電気

1. 無し 2. 唐揚定 3. ミートソース 4. カレー 5. カツ定

◦環境

1. カレー 2. 唐揚定 3. カツ定 4. 焼きそば 5. うどん

◦土木

1. ざるそばセット 2. 玉子どん 3. かきあげ 4. ラーメン
5. カツ定

◦建築

1. 肉うどん 2. A定 3. 唐揚定 4. 共立定 5. カレー

◦開発

1. 唐揚定 2. A定 3. B定 4. カツ定 5. カレー

共立大生の学食

Best 3

1. 唐揚げ定食
2. カレー
3. A定食

★アルバイトをしているかを聞いてみました。 [%]

	YES	NO
○ 機械	26.5	73.5
○ 電気	23.4	76.6
○ 環境	24.7	75.3
○ 土木	11.3	88.7
○ 建築	18.3	81.7
○ 開発	28.6	71.4
全学科	22.1	77.9

★各科、高そうなベスト3

	普通車	バイク
○ 機械	ベンツ560SEL ソアラ クラウン	GSXR-750 SRX-600 VFR-400R
○ 電気	BMWアルピナ スカイラインGTR クラウン	FZ400R NSR-250R TZR-250
○ 環境	ベンツ560SEC ソアラ3000GTツインターボZX-10 ローレルターボ	FX400R プロス400 RZ250R
○ 土木	スーブラ2000GTツインターボ クラウン	FZR-250R CB250カスタム KR-1
○ 建築	ソアラ スカイラインGT マークII	XJ400ZS FZR400 FZ400R
○ 開発	ソアラ エクセル	VFR400R CBR400RR VT250F

King of Menu, 唐揚げ定食

なっなおう！ 唐揚げ定食が大胆、じゃなくて堂々の第1位。なんでだろう。

しかし、土木科は他の5学科の人々が唐揚げ定食をベスト3にくだませて、唐揚げ定食を盛り上げているにもかかわらず、1位がざるそばセットだって。(ちょっと興冷め。) 建築も1位が肉うどんだって。ちょっと変じゃない。

共立大の人達はあまりアルバイトをしていないようですね。みんな何してんだろう。昔の働け勤労苦学生は

いづこに…。

しかし、またしても土木と建築。他の4学科が20%代に苦勞して保っているのに、この2学科が平均をおとしている。

一番アルバイトをがんばっている

Best of Arbeiter

は

機械の2回生でした。

車の方は、F-40とかカウンタックとかが有ったのですがホントかどうか分からないので除きました。

BMWなら分かるけど、F-40はちょっとね…。国産では、クラウン、ソアラ、マークIIに人気が集まっていますね。これからはセリカとかスカイライン、New MRIIが良いのではないかな？

バイクは2ストではRGVとNSRに、4ストでは、FZRとVFRに人気を集めている。左記の「高そうな」とは見た目だけなので、あてにしないで下さいね。

さあ、オレたちのマシンでブッ飛ばそうぜ！ ファンブアーン バリボサヤーン ドッカーン……………終わった。

★おい! そこのお前!! この間の休みの日、どこで何してた!!!

	ドライブ	酒を飲みに行く	パチンコ	ビデオ	ゲーム	その他
機械	14.1	7.9	8.4	22.9	13.7	33.0
電気	15.0	8.3	15.6	20.2	12.4	28.5
環境	22.6	5.5	9.4	17.2	10.9	34.4
土木	3.8	4.8	12.4	22.9	15.2	40.9
建築	11.6	8.3	13.2	19.0	7.0	40.9
開発	5.7	7.5	11.3	20.8	11.3	43.4

(%)

右の表を見てどう思います? SF, コメディ, アクション, そして, そしてそして, そして~~~~アダールートー!! やっぱこれが常に20%前後をキープしていて, 最強, 不滅のビデオですね。

な~るほど, "その他" という回答をのぞけば "ビデオ" や "ドライブ" が多いですね。なにを隠そう私もビデオ派の一人です。ですから他の意見はちょっと横に置いて, ビデオの内容をもっと詳しく見てみましょう。

(%)

ジャンル 学科	S F	ホ ラ ー	コ メ デ イ	ア ク シ ョ ン	ド ラ マ	ミ ュ ー ジ ック	ア ダ ル ト	そ の 他
機械	14.0	10.5	11.2	18.9	9.8	9.8	20.2	5.6
電気	15.8	11.6	16.9	17.9	10.5	8.4	10.5	8.4
環境	9.4	4.8	16.7	19.0	14.3	14.3	16.7	4.8
土木	12.6	10.1	16.5	17.7	11.4	8.9	16.5	6.3
建築	10.9	13.4	13.4	13.4	10.9	9.2	17.7	10.9
開発	17.6	14.7	14.7	14.7	11.8	11.8	8.8	5.9

★あんたの小使い月なんぼ~!!

(%)

金額 (円)	0	~5千	~1万	~1.5万	~2万	~2.5万	~3万	3万~
機械	1.7	8.4	22.7	9.2	17.6	5.9	10.1	24.4
電気	1.0	10.4	17.7	6.3	14.6	5.2	20.8	24.0
環境	1.6	9.8	18.0	3.3	14.8	8.2	16.4	27.9
土木	0.0	23.9	23.9	12.7	9.9	4.2	9.9	15.5
建築	4.8	14.0	18.8	13.3	18.2	12.6	7.7	12.6
開発	0.0	30.3	12.1	9.1	15.1	6.1	9.1	18.3

1万円と2万円のところにピークがあります。更になんと3万円以上に最も巨大なピークあるのです。なんでこんなにリッチなんでしょうね~。いったい何に使うんでしょうか。パチンコですか, それとも, 飲み代またはカラオケ, デートでしょうか。ちなみに私の友人は女に貢いでます。

★ はああ~, やっとこの実況中継も終りを迎えることとなりました。就職から住まい関係, アルバイト, 車などに至るまで, 広範囲をカバーしたアンケートを用いたこの企画, どうでしたか? え? そうでしょうそうでしょう, 素晴らしい, 面白い, GREATだ, という魂の叫びが私の所まで轟音となって聞こえてきます。(それは罵声だとか, 幻聴だとかいわないように。)

それではみなさん, 8ページに渡り, お付き合い下さりまして有難う御座いました。以上を締め言葉といたしまして, 締括らせていただきます。さようなら。

開発学科海外研修旅行記 No.8

STUDY TOUR IN TAIWAN

1989. July



澄清湖の高丘望海

高雄市のはずれにある七重の塔、高さ43メートルあり、
高雄市内、台湾海峡が一望できる。

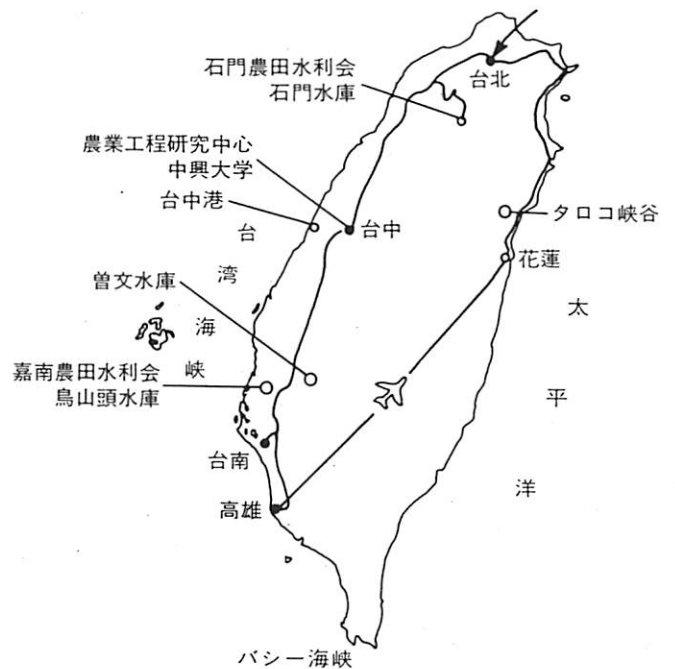
開発学科3年次生／岩切 雄二 久藤 栄彦
河野 仁 末原 暢夫
須田 満 滝川 正則
田中 克行 谷 政久
玉田 能也 中川 英成
中野 博 二反田 寛
橋本 淳 橋本 哲男

開発学科の今年の「海外研修旅行」は台湾（中華民国）で行なわれた。そこでここに報告をする。

台湾は第二次世界大戦前まで日本の領土であり、アジアの中でもいろいろな意味で日本と関わりの強い国である。そのため興味あることがたくさんあるが、誌面関係で研修の一部をごく簡単に紹介し報告とする。

九州共立大学工学部開発学科・海外研修旅行日程 (1989.JULY)

月日	時間	交通機関	日 程	宿 泊
1 7/11 (火)	10:30 11:35	CX-511 バス	福岡より空路台北へ 台北到着 台北市内見学	台北 サントス・ホテル
2 7/12 (水)	9:00 10:40 12:00 14:00 18:50	バス	石門農田水利会にて研修 石門水庫見学 昼食会（石門水庫管理局招待） ダム参観及遊湖 農業工程研究中心参観 台中へ ホテルにて晩餐会（中興大学の招待）	台中 台中ホテル
3 7/13 (木)	10:00 12:00 14:30	バス	中興大学にて見学 昼食会（中興大学の招待） 台中港見学 台南へ	台南 台南ホテル
4 7/14 (金)	9:00 10:30 12:30 14:30	バス	嘉南農田水利会にてセミナー 鳥山頭水庫参観 昼食会（嘉南農田水利会招待） 曾文水庫見学 高雄へ	高雄 キングシップ・ホテル
5 7/15 (土)	12:20 13:10	バス バス	高雄市内見学 高雄より空路花蓮へ 花蓮到着 タロコ峡谷見学 アミ族の踊り観賞	花蓮 マーシャル・ホテル
6 7/16 (日)	9:40 12:34	特急列車 呂光號54 バス	花蓮より台北へ 台北到着 着後 市内レストランにて昼食 フリータイム	台北 サントス・ホテル
7 7/17 (月)	17:35 20:40	バス CX-510	午前中 故宮博物院見学 台北より空路福岡へ 福岡到着 解散	



市内の大通り、近代的ビルが建ちならぶ

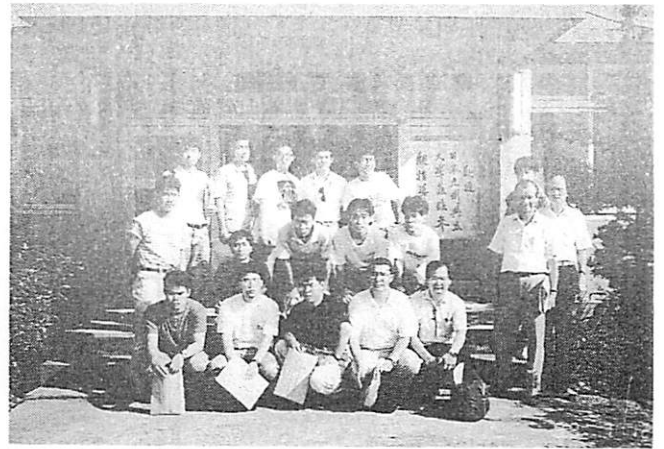


台北市内

漢字の看板が台湾らしさをかもしだす



石門農田水利会でのレセプション
 傅國雲会長、梁錦昌督導工程師に、熱烈な歓迎をしていただいた。



農業工程研究中心にての記念写真
 ここでは水と土壌など農業土木に関する研究を行なっている。



台中市内
 台湾の道路は台北に限らずバイクが非常によく目立つ。特に朝晩はどこの道路でもバイクの大洪水である。中には4人乗りも見受けられ、バイクは台湾の重要な交通機関をなしている。



中興大学内の図書館（中正紀念図書館）前にての記念写真



アミ族の踊り
 カラフルな民族衣装をまとい民族舞踊を披露する。アミ族は台湾の先住民である高砂族のなかでも最大の人口を有し、リズム感がすばらしく、歌や集団での踊りにすぐれているといわれている。



故宮博物院
 中国5千年の宝物、芸術品、文化財等が収蔵されている。世界四大博物館のひとつである。

〈言いたい放題〉

石 切

- ★見学した数々の水利施設等に関してはただただ圧倒された。
- ★台北等の都市はビルが建ちならび非常に近代的だ。地方はのどかさを残しており、水田やさとうきび畑、バナナ園等が広がっている。またアヒルの養殖場も多く見られた。

久 藤

- ★朝から晩まで油ものばかりで、嫌気がさした。でも中華料理がこんなすごい料理とは思ってもみなかった。
- ★本当にいい勉強になった。いくら日本で台湾のことがよく伝えられて知っているといっても、台湾の人と自ら話しができたことが良かった。

河 野

- ★なんと言う暑さだ。この暑さの中でこれから7日間過ごすのかと思いつつ、車にクーラが付いていなかったらどうしようと心配になった。

末 原

- ★タクシーは日本のジェットコースターよりも恐い運転だった。
- ★朝からおかゆにピーナッツでは一日の調子がくるい、油を使った料理が朝から晩まで続くと、レストランに入っても匂いがするだけで胸が悪くなり、無性に生野菜が食べたくなった。トマトジュースが生まれて初めておいしいと思った。
- ★自分も英語の勉強をもっとしっかりやっておけばよかったと後悔した。

須 田

- ★どこに行ってもバイクが多いのには驚いた。
- ★はたして台湾の人はあのような料理を頻繁に食べていられるのだろうか？

滝 川

- ★中興大学招待の晩餐会では学長等偉い先生ばかりで、大変緊張した。
- ★高雄の夜市で食べたフルーツゼリーはとてもおいしかった。
- ★自分を含めマナーができていないことを強く感じた。

田 中

- ★どの研修先でも大変な歓迎を受け、うれしかった。感謝している。
- ★みんな暑さにバテ気味であったが、なぜかその日の研修が終わると人が変わったように元気が出た。

谷

- ★ハードスケジュールすぎた。
- ★金銭感覚が狂っていたので、百元と百円を混同してかなり出費してしまった。
- ★台湾は食物はうまいし住むにはいいかな……

玉 田

- ★飛行場の大きさに度胆をぬかれた。とてつもなく広大だった。
- ★向こうが日本より安いというのは2、3年前の話だと思った。
- ★ホテルの設備で遊べなかったのが残念だ。

中 川

- ★どこの街でも赤や黄色等のハデな看板が建物の壁という壁を埋め尽くしている。
- ★オートバイの数が多く群れをなして流れている。それに2人3人は当たり前、中には4人乗りがいる。
- ★日本とは活気が違う、断然エネルギーである。
- ★今回を含め毎年の行き先はアジアから離れていないのだが、日本は「世界の中の日本」である前に「アジアの中の日本」であるのだから、まずアジアを知ること、東南アジアを最初の海外旅行として選ぶのも大きな意義があると思う。

中 野

- ★台北等近代化されたところは日本とあまり変わりが無いが、夜の屋台等を目の当たりにすると、やはり台湾だと実感させられる。
- ★大学時代の良い思い出になるだろう。また、いろいろな面で貴重な経験をしたと思う。

二反田

- ★中興大学は、とても広くて図書館等各種の教育研究施設や公式競技場等すばらしい施設・設備が良く整備されていた。またゴルフ場もあるそう。共立大もこんなであったらいいのになあ……と思った。
- ★タロコ峡谷は大理石の断崖がはるか空を突き刺し、眼下は目くらむ深さの谷底、そしてごうごうと音をたていくつもの滝が落ちている。それが次から次へと20キロも続く。この迫力には度胆をぬかれてしまった。

橋 本(淳)

- ★楽しく思っただけで、「海難合唱隊」を「ビーチボーイズ」等、何でも漢字になっていることだ。
- ★日本語が通じすぎるといっても、おもしろくない。せっかく外国に行ったのだから、通じないなりに英語を使いたかった。

橋 本(哲)

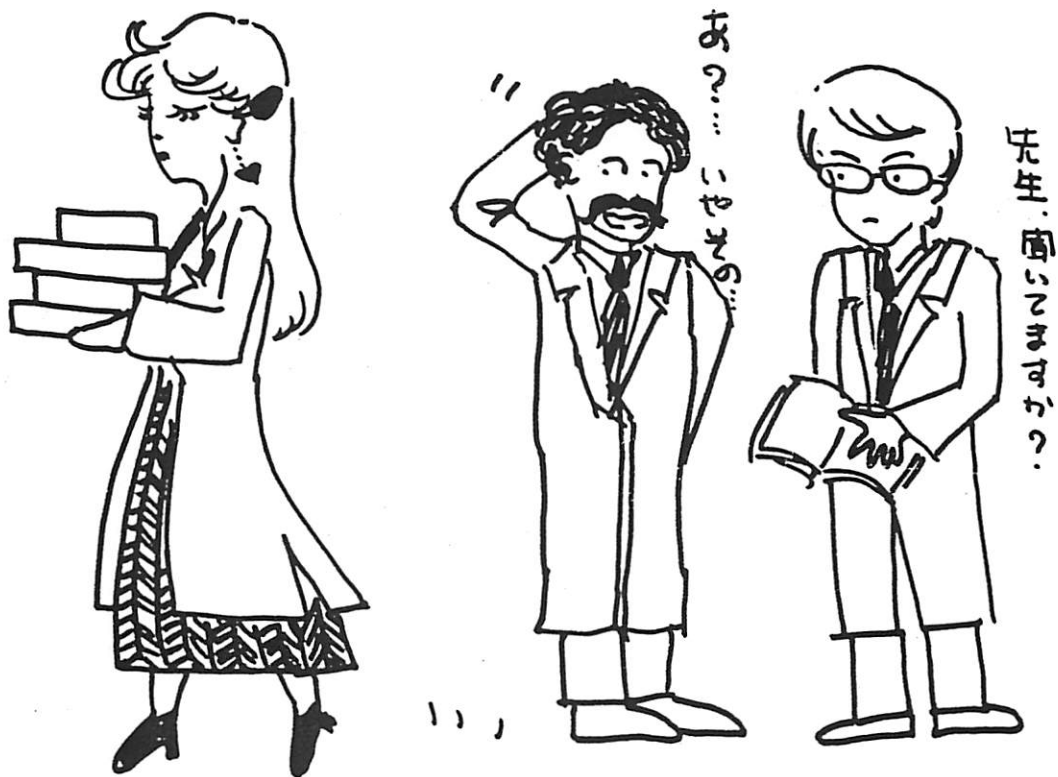
- ★開発学科に入学したときから、海外研修旅行に行くのが楽しみだった。単なる観光旅行ではなく、他国の水利施設や土木建築物を見て回れるのが魅力だ。
- ★同じアジアの国だからだろうか、あまり外国に来たという感じがなく、ものたりなかったが、見るものは珍しかった。街は大変活気に溢れている。
- ★特に関心を抱いたのは、日本では国や県が中心となる水利施設の建設・維持管理などを農田水利会とよばれる組織が行なっていることだった。
- ★鳥山頭水庫のシリンダー型の取水口の迫力には圧倒された。
- ★故宮博物院の数々の展示物には感動した。特に、水墨画の一人一人の表情が異なっていることや、精工を尽くした彫り物等、中国人の手先の器用さと粘り強さには驚いた。
- ★毎日中華料理で4日目ともなると飽きてきて、ほとんど食べる気がしなかった。しかし朝のお粥は、前日にさんざん油っこいものを食べた後でもとても美味しかった。
- ★またいつか機会があれば、あのガチャガチャした街の中をゆっくり歩いてみたい。

今回の海外研修旅行において、実施計画や事前の手配、また現地での案内等大変お世話になった次の方々にお礼と感謝申し上げます。

台湾省石門農田水利会会長・傅國雲、同督導工程師・梁錦昌
 台湾省石門水庫管理局・杜佐義、同 宋桂慧
 農業工程研究中心工程組組長・陳獻
 國立大学校長・陳清義
 國立中興大学主任秘書・游繁結
 國立中興大学水土保持系教授・江永哲

國立中興大学森林學系教授・方榮坤
 國立中興大学農業經濟研究所副教授・鄭詩華
 國立中興大学牧畜系研究所副教授・林亮全
 臺中港務局・紀澄清、翁永昌
 台灣省嘉南農田水利會會長・李源泉、同 鄭赤鑒、徐欣忠、吳懷山

研究室だより



各研究室の後ろの数字は研究室の場所を表わしています（例えば（2-2）は2学舎2階のこと。）気軽に研究室へ遊びに行ってみてはどうか？

教養学科

長井達三研究室(2-2)——物理学



界面の統計物理学

これが私の研究題目です。界面というのは、石鹸泡の集合を考えると、一つの泡と隣の泡の境界である石鹸膜のことです。石鹸泡の集合体はこの様な界面の集まった‘もの’と考え直すことが出来ます。このように多数の界面の集合という捕らえ方をしますと、自然界にはこの様な‘もの’が広い範囲に存在します。ミクロには、多結晶の断面から、マクロには、玄武岩の柱状節理まで、また生物の細胞組織などなど……。これらの系が示す模様は如何にしてでき、どういう共通の法則がその下にあるか？ というのが、私の問題です。

この系の特徴は、形が大事な役目をしていることです。2枚のガラス板の間に作った2次元石鹸泡の集合を例に取ります。各泡の形は角数で表すことが出来ます。いまこの系を一定の環境に保ちますと、個々の泡の中の気体が膜を通して圧力の低い方へ流れ各泡の面積が変化します。n角形の泡の面積Aは次の式に従って時間変化します。

$$\frac{dA}{dt} = k(n-6)$$

この式でkは膜によって決まる定数です。つまり界面の運動は個々の泡の角数で決まることとなります。

n > 6の泡は大きくなります。n < 6の泡は小さくなり、しまいには消えてなくなります。こうして泡の総数は次第に減少して行きますが、それがどういう時間依存性を示すかと言うことがこの系の成長の統計的な法則を与えます。この式は2次元の多結晶でも成り立つと考えられています。そうすると石鹸泡の集合と多結晶が同じ統計法則に従って成長することになります。

このような問題を、これまでに形にはなく、粒子にたいして発展させられてきた統計力学をお手本にして、理論的に研究しています。

池田治雄研究室(2-2)——数学



現代の科学は、それが対象とする現象に対して適切な数学モデルを作り、それによって研究を進めて行っているといえるであろう。

ところで、ごく最近まで、この手法が適用できるのは、自然現象に限られていた。社会現象等は、あまりに複雑過ぎて、たとえ数学モデルができて、それがどの程度適切なものであるか検証することができなかった。

それが最近のコンピュータの発達によって、人力では及びもつかない巨大な情報の処理が可能になり、社会現象等についての種々の数学モデルも、次第に検証可能となり、これらの方面でも科学的な

研究方法が取入れられるようになってきた。

従来は、熟練者の勘とか決断とかに頼ることが多かった行政や経済等の部門でも、今日大幅にデータにもとづいた科学的な対応がなされている。それはこれらが対象とする現象も次第に自然現象並に扱えるようになったからにほかならない。

今まで高度の数学は、もっぱら理科系の人達のものであった。しかしこれからは、どのような分野の人達も、その分野に応じた数学的な知識・技能及び事象を数学的に処理する能力が必要になってくる。従って、学校における数学教育の重要性がますます増大していると考えられるのである。

山栄 允研究室(2-2)——英語



chemistryと化学は同じか？

化学は、Chemistryの訳語であり、物質とその変換を研究する自然科学の一分野である。オランダから初めて伝えられたころは「舎密」(せいみ)と呼んだが、1860年ごろ「化学」に変わった。バケ学とは、物理に比べていささか変な名前だと、その昔高校で化学を習い始めたころからずっと気になっている。

ところで英語のchemistryは、化学以外の意味でときどきTimeやNewsweekなどに現れる。たとえば以前ここで紹介したAnn Landersさんの人生相談コーナーにも次の例があった。The first day I saw him, I sensed that there was some powerful chemistry between us.「彼と初めて会った日に、私たちの間に互いに強く引かれるものがあるのを感じました」といった程度の意味である。

またthe chemistry of love というと、愛の「不思議な働き」であって、愛の「化学」ではない。つまり化学反応を思わせるような不思議な働き、説明困難な人の相性を意味する語としてchemistryが使われている。

これらの用例を見ると、chemistryには何かしら神秘性が漂っており、いささかおかげさだが錬金術以来の西洋歴史の陰影を感じる。そして化学が確かにバケの学問であることを納得するその一方で、chemistryに比べるとこの訳語にどこか底の浅さを感じてしまう。chemistryの摩訶不思議にバカされて化学が生まれたのだろうか？

平尾一郎研究室(図-4)——化学



学生諸君、お元気ですか。

私も諸君に負けないように老骨に鞭うちながら研究と教育に努力いたしております。

おかげさまで本年も次の研究をまとめ九州共立大学の紀要に論文として掲載していただきました。通算すると私の141番目の論文となりました。

新規な生物活性を期待したオキシランのアルキル化反応を用いるプロスタグランジン類縁体の合成

九州共立大学研究報告 13 33 (1989)

更に次の論文を本年3月出版予定の九州共立大学の紀要に投稿のために呈出いたしました。

オキソヒドロキノリンカルボン酸誘導体の抗菌活性

九州共立大学研究報告 14 投稿中 (1990)

学生諸君の健康を祈ります。

田中洋介研究室(2-2)——物理



ハイパー原子核の磁気モーメントの概要に関しては、前回(No.6)に述べましたが、今回はハイパー原子核のシュミット・ダイアグラム(Schmidt diagram)に関して書きます。通常の原子核のシュミット・ダイアグラムは、1937年にT. Schmidt によって発表されましたが(Zeitschrift für Physik 106 (1937)358),その後の磁気モーメントの研究に重要な役割を果たし、今日なお意義を持つ有名なダイアグラムです。このダイアグラムは、奇核(奇数質量の核)の磁気モーメント(μ)を奇核のスピン(J)の関数としてプロットした図です。面白いことは、若干の例外を除いて、磁気モーメントの実験値はことごとくシュミット・ラインの内側に存在することです。そこで我々は、この点に着目して、ハイパー原子核のシュミット・ダイアグラムの作成を計画しました。偶数質量のハイパー原子核の磁気モーメント(μ)を原子核のスピン(J_n)の関数としてプロットすれば、 $N^{\pm 1}Y$ 系のダイアグラムが得られます($N=n$ and $P; Y=A, \Sigma$ and Ξ)。結果は、ABSTRACTS of The XXIII Yamada Conference on Nuclear Weak Process and Nuclear Structure(Osaka, 1989) P 72 に発表しました。

斉藤 登研究室(2-2)——数学



求積法で解ける微分方程式として最初に学ぶものは次の変数分離形である：

$$\frac{dy}{dx} = f(x)g(y).$$

これは $h(y) \neq 0$ として

$$\frac{1}{g(y)} \frac{dy}{dx} = f(x)$$

と変形し、両辺を積分して置換積分法の公式を用いると

$$\int \frac{1}{g(y)} dy = \int f(x) dx + c \quad (c : \text{任意定数})$$

が一般解である。また $g(a) = 0$ を満たす a があれば、定値関数 $y = a$ も解である。

以上は多くの教科書に書いてあることであり、小生の講義でもこのように述べた。しかしこの解法は不十分であって、 y の定義域内のすべての点で $y \neq a$ なる解と $y = a$ なる解のみを求めている。ある点 x_0 では $y(x_0) = a$ 、別の点では $y \neq a$ となるような解については何も答えていない。

次の具体例で説明しよう。微分方程式

$$\frac{dy}{dx} = 3y^{\frac{2}{3}}$$

を定石どおりに変数分離形として解くと $y = (x-c)^3$ (c :任意定数)が一般解であり、他に定値関数 $y = 0$ も解である。したがって $x = 0$ のとき $y = 0$ となる初期値問題の解として、 $y = x^3$ と $y = 0$ なる異なる2つの解を得る。ところが方程式に代入

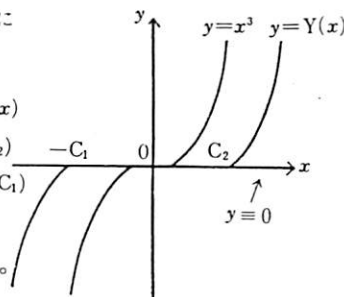
してみれば容易に分かるように

C_1, C_2 を正定数として

$$Y(x) = \begin{cases} (x-C_2)^3 & (C_2 \leq x) \\ 0 & (-C_1 \leq x \leq C_2) \\ (x+C_1)^3 & (x \leq -C_1) \end{cases}$$

なる関数 $y = Y(x)$ も同じ

初期値問題の解となっている。



C_1, C_2 は任意だから $y = Y(x)$ の形の初期値問題の解が無数にあることになる。とくにいわゆる変数分離形の解法からは、上記の $y = Y(x)$ の形の解は得られないことに注意してほしい。

この例からも分かるようにある点 x_0 では $y(x_0) = a$ 、別の点では $y \neq a$ となる解があるかどうかはなかなか微妙な問題なのである。実はこの種の解があるかどうかを調べることは解の一意性の問題といわれるもので $f(y)$ の滑らかさに関するある種の条件を付けて議論される。

これまでの話だけでもいわゆる求積法に限界があることが分っていただけたと思う。微分方程式の講義のときに皆さんが学んでいる求積法は微分方程式の理論の中ではその一部を占めているだけであって、解の存在性、一意性、パラメータに関する連続性、微分可能性などの一般論を展開し、その結果を用いて解の種々の性質を調べることが現代の微分方程式の理論の中心になっている。

関能 浩研究室(記念館)——保健体育



◆エアロビックウォーキングのすすめ

身体運動の量を消費カロリーに現わすことは必ずしも簡単には行なわれ難い。そこで歩数計(万歩計とも、ペドメーター)を用いて歩行歩数を測り、それによって消費カロリーを概算する試みがある。すでに1日1万歩という形で社会的に受け入れられている。(望ましい歩数は12500歩)1日の歩行歩数を左右するものとして性別・年齢・職業更にライフスタイルなどが考えられる。

ところで1歩当りのエネルギー消費量は歩行速度の増加と共に指数函数的に増加する。また歩行速度(m/分)は歩数(歩/分)に歩幅を乗じたものであるが、歩行速度の変化に対し、この歩数と歩幅の対応様式は一定でない。従って歩行速度とエネルギー消費量との関係のように、歩数とエネルギー消費量との関係を単純に数式化することは不可能である。まして正確に歩数を捉えることのできないペドメーターからエネルギー消費量を測定することはできないが、複雑な動作が混在する日常生活のエネルギー消費量の目安を知る手

段にはなりうと思う。

そこで現在ペドメーターの欠点を補正して消費エネルギーの測定できる器具が健康器具として市販されている。

その中でY社製のカロリーメーターは、使用者の体重、運動強度に応じてその量が測定できる。これを使用して測定を行なってみた。下表は10月のある1週間分の歩数と消費カロリー並びに1歩当りのcalである。

日	歩数	消費Kcal	1歩当りcal
日	5300	180	33.9
月	8900	310	34.6
火	7300	240	32.8
水	9100	350	38.7
木	9000	320	35.4
金	7500	260	34.7
土	10200	410	40.0
平均	81857.7	295.7	36.1

⑩水は強歩6km 土日はジョギング7kmを含む

参考迄に東京学芸大学の波多野らが作成した各職種毎の典型的な1日における歩行歩数の推定値を紹介しよう。

サラリーマン	5800	セールスマン	5700
OL	5380	自営業 男	5850
公務員	5700	女	7650
部・課長	4980	無職老人	2800
高校教員	6100	主婦	4500
大学教員	5500	休日在宅	2930

牧原義一研究室(5-2)——物理



いろいろな金属の中で、希土類金属(La, Ce, …等の15種の金属)以後これらを総称して“R金属”と呼ぶ)と鉄族金属(Mn, Fe, Co, Ni等の金属。“T金属”)は強い磁氣的性質(磁性)を示します。すなわち、磁石にくっつく物質のほとんどがRまたはT元素を含んでいます。私は、このR金属とT金属の両者をいろいろな割合で含んだ合金(正しくは金属間化合物)の磁性を実験的に研究しています。このような合金は、R金属とT金属の両方の性質をあわせもつているため、非常に興味深い磁性を示し、基礎および応用面から活発な研究が行われています。

研究は、試料作製→各種の測定→測定結果の解釈、の手順で行いますが、今回は試料作製について簡単にお話ししましょう。我々の分野では、試料作製は非常に重要な仕事です。磁性に関する新しい現象を発見し、その現象の基礎となっている新しい物理を解明するためには純良な試料が要求されます。しかし、これまでに研究されておらず、かつ興味深い磁性を示すと考えられる試料の作製は非常に困難な場合が多いものです。このような試料の作製は、試行

錯誤のくり返しとなります。他の物質で成功した方法で、いろいろ条件を変えてやってみてもできずに、最後にやけくそでその物質には適さないと考えられる方法で作ってみたら、みごとに結晶ができたこともありました。このようにして得られた試料は非常に貴重なものです。他の人が作れないような優れた試料を作れば、それだけで世界の研究所から晩めしに招待されるのです。

田吹昌俊研究室(2-2)——英語



21世紀は難民の時代になるだろうといった人がいる。それを裏づけるように日本の各地に難民船が漂着し日本政府はその対策に苦慮しているようだ。難民には経済難民と政治難民というように二通りある。日本にやってくる難民のほとんどが経済難民である。水が高いほうから低い方に流れるように難民も経済力のある国から経済力の無い国へと流れる。そういった難民の受け入れを巡って賛否両論いろんな議論がなされているが、どちらの立場にも各々納得すべき点があるように思う。難民開国派は日本が世界有数の経済力を持っているということ、単純労働の分野での人出不足が深刻であるということ等を根拠に難民受け入れを合法化すべきだという。一方、鎖国派は国内の労働市場が失われ失業者がでること、日本人とは異質な人間と生活することの困難等を指摘して受け入れを拒否している。また時を同じくして、福岡でも似たような事件が起こった。ある小学校の敷地の一部を借りて、インターナショナルスクールを作ろうとしたところその小学校のPTAから猛反対にあったのだ。

人間(もしくは生物)は、じぶんの生活圏(すなはち縄張り)に外の者(すなはちalien)が入ってくるとそれを威嚇し外に追い出そうとする本能が働く。ところがそういった最初の混乱時期が過ぎ、環境に馴染んでくると案外お互いに無くてはならない存在になってくるものだ。日本が今後外国人(もしくは難民)に対して、鎖国的態度を取るか、もしくは開国的方向でいくのかは判らないが、外の者に対して持つ異質感は案外最初だけで、それはやがて同質感へと変わって行くもんだと言うことを心得ておく必要がある。少なくとも外国語を通して外の文化を学ぼうとする場合、我々は先ずopen-mindな態度を取るべきだろう。

武末邦通研究室(2-2)——数学



この稿では、森毅著「現代の古典解析」(日本評論社、新装版1985年)を学生達に紹介したい。森毅先生(ニックネーム・一刀齋)については、多くの啓蒙的な数学書を著されているばかりでなく、一般の文化現象にも鋭い眼識を持っておられ、マスコミにもよく顔(面長、長髪の独特な顔)を出されているので、知っている学生も多いと思う。

この本は、最初1970年に出版された。当時は70年安保で、大学は学園闘争に沸いていた時代である。私が習った数学の先生に全共闘

のシンパがいて、その人が教科書として採用したのがこの本である。教科書といっても、手に取って見れば分かると思うが、どちらかといえば、数学に関する読み物といった方がふさわしい本である。60名程のクラスであったのだが、授業形態はゼミ形式で、前の時間に当番が決められ、学生がこの本の内容を解説することになっていた。しかし、授業は短時間で打ち切れ、その後、学園闘争に関するクラス討論会（先生主導の下に）が行なわれるのが常であった。

結局の所、オーソドックスな意味に於ける数学的力は余り付かなかったようであるが、非常に魅力的な本で数学的思考とでもいったものを身に付けるのに大いに役立ったと思う。内容に詳しく触れるのは止すが、270頁ぐらいの間に大学4年間に於いて解析学の対象（微積分基礎から微分方程式、ベクトル解析、複素変数関数、フーリエ級数・変換、他いろいろある）として扱う分野を多数取り上げている。当然、その各々に対して割く紙幅はわずかで、具体的な計算よりは、その分野の持つ意味に多く触れている。

学生達は分かりそうな所、または既に習った分野に対応する所を拾い読みするとよいであろう。長期に渡って、時々手に取って読み直す価値のある本である。

濱田英隆研究室(2-2)——数学



一変数複素関数論の初等的部分は、主に次の3つから成り立っています。

- I コーシーの積分定理と、その応用（その1つとして留数定理がある）。
- II リーマン面に関すること。
- III 有理型関数の値分布について。

関数論の講義では、主に、Iについて取り扱っています。近年IIIについては、多変数の問題に拡張されています。即ち、 M, N を複素多様体として、 $f: M \rightarrow N$ を M から N への正則写像（または、有理型写像）とする。このときの写像 f の性質や像 $f(M)$ の性質を調べるという問題です。私は、最近、このテーマについても研究しています。

島谷 浩研究室(2-2)——英語



「何年も英語を学んでいるのに英語力がちっとも身に付かない」と英語教育関係者に恨みを抱く学習者は非常に多い。様々な問題点が日本での英語教育にあることは否定しないが、学習者の多くは、今まで実際に読んだ英文の量がほんのわずかしかなという事実はあまり目を向けないようだ。テキスト以外の英書を読んだ経験がほとんど無い者が多い。また、たとえ原書を読む決意をして読み始めたとしても、難解すぎて途中で放り出してしまった経験を誰もが一度や二度持っているだろう。

速く多量の英語を読み理解する能力を身に付けるためには、残念

ながら授業でのテキスト読解だけでは不十分で、クラス外で多くの英語を読む練習をし、気楽に英語を読む習慣をつける必要があろう。

本学の図書館には、英語学習者の為に限られた語数で易しく書かれている英書（Graded Readers）を集めたコーナーがある（図書館三階）。ここでは、利用者が自由に各自の英語力に合った読書ができるように、英書が難易度別に種分けされている。難易度は語彙レベルで四段階に分けられ、初級（300～1,000語）、中級下（1,000～2,000語）、中級上（2,000～3,000語）、上級（3,000～7,000語）となっている。

自分の興味や関心にあった本を選び、まず1ページ程読み、どの程度内容が理解できるかを最初にチェックすると、自分の最適な読書レベルが大体わかる。自主的に挑戦してみたい！

太田 成俊研究室(2-2)——物理



私の研究は、物理学の物性理論という分野の統計力学という範疇に入ります。そのなかでも非平衡系や相転移の動的側面に興味をもってきました。最近、「ドメイン成長」ということについて、理論的計算と計算機実験の両面で研究をしています。

わかりやすく言うと、ジャンプの容器にいっぱいまった小さな泡が、放って置くと時間とともに大きな泡になりますが、その過程を動的モデルをたてて計算機実験をしています。

科学の分野でよくあることですが、人間社会でありそうな事が、人間社会と全く異なる世界で見られます。例えば、上のジャンプの泡のときにも、小さい泡は大きい泡に喰われてなくなるのですが、その大きい泡もさらに大きい泡によって呑み込まれてゆきます。ある範囲の中で大きい方であった泡が、さらに時間がたった時に、生き残れるかどうかは、その範囲外の泡の大きさによっているわけです。

この様に大きい物が勝ち残っていく例は、動植物の世界のみならず、人間の世界でもよく見られることです。泡の世界ではただ単にその泡の相対的な「大きさ」だけで、どれだけの時間生き残れるかが決まっているのに対し、人間社会では、体の大きさにはそれほど関係なく、体力（例えばスポーツ選手）、知力（学者あるいはクイズ解答者）のほか、財力（財界人）や人脈による力（政治家）なども大きく関係しているようです。しかし、なによりも先に、健康であることは、人間社会では共通した条件であるようです。

機械工学科

上滝具貞研究室(2-2)——流体



本研究室では「トンネル内の物体の抵抗」と「インゼクションフイ

ーダーの特性」を調べるための実験を昨年に続いて今年も行う予定です。

インゼクションフィーダーとは要するに霧吹きのように、ノズルの吹出部が高速のために若干負圧になるので、ここから粉粒体を吸い込み、管内で速度エネルギーの一部を圧力に変えて輸送を行う装置である。

今年は昨年のデータを利用して、いよいよ菜種などの輸送実験を行います。(卒論生 中居稔博、妹尾佳典)

また、「トンネル内の物体の抵抗」に関する文献は意外に少なく、大へんですが、上滝先生のアドバイスと、橋本さんの協力のもとにがんばって実験をやっています。(卒論生 岡本光男、松永朋也)

藤原正孝研究室(5-2)——熱工学



技術 (TECHNA) は、すべて物を生ぜしめることに関わる。それは、あるとないとの可能な、しかもその初まりが技術者 (technicus) に存している製品や、研究成果に対して、存してない事物が、如何にすれば生じうるかという究明と匠とに関わっている。けれども技術の製作するところは、「必然的に生成または、存在するもの」でもなければ「自然的に生成し存在するもの」でもない。後者は、それ自身のうちに、源初を有している。

製作と運転は、異なるものであるから、技術は必ず製作に関するもので運転技術とは別のものである。

ところで機械技術は、或る技術であるが、それは、まさしく一つの「エネルギーを伴った製作可能状態」なのであって、およそ「エネルギーを伴った製作可能状態でない技術」はなく、技術ならぬこのような性質の「状態」は存在しないのである。ここにおいて、技術 (TECHNA) と「真なるエネルギーを伴った製作可能状態」とは一致している。

熱工学研究室は、エネルギー：神々 (Gvadius) の人間への贈物と考えられるべき何かである：を技術をもって神与のものを有効に活用して、幸福をもって神与のものとするのは妥当である。それは最善なものだけに、人間に属するあらゆるものうち、かかるものとして考えられることの最も妥当なものである。

卒業論文題目 (1989年度)

「ガソリンエンジン乱流燃焼モデルの数値解析」

卒業論文学生

二村 泰久・村重 広太郎・戸谷 明夫

照屋 淳規・川井 和也

木村和男研究室(2-2)——材料力学



卒業研究題目：応力集中についての数値解析
及びその実験的研究

氏名：敏本 久明・田中 実・利川 弘行・光上 恭平

本年度は上記題目で卒業研究に取り組む事にした。一昨年も応力集中に関して卒業研究を行ったが、この時は有限要素法のプログラム開発より始めたので、プログラム作成に大半の時間を費した。そこで今年は実験的研究を主体とし、実験装置の設計製作をまづ行い、解析用ソフトも本年は新しい既製のものを使う事とし、データーチェック用のプログラムのみを Fortran で作成することにした。卒研生が設計し実習工場に製作をお願いしていた実験装置もすでに出来上り、ストレンゲージのはりつけ作業や測定実験がまっている。現在卒研生はパソコンと相対し解析に専心中である。就職も全員決り、夏休みには海にキャンプに出掛けたり、今年の卒研生はなかなか充実した？最後の学園生活を送っているようだ。

清水茂俊研究室(2-2)——材料力学



熱心な清水教授の御指導のもと、時には怒られながらも私たち卒研生4名は、下記のような卒業研究を行なっています。

近年、金属材料に代わる物として、GFRP等が出てき、工業界の各分野でも徐々に普及し身近な物になりつつあります。

GFRP (ガラス繊維強化プラスチック) とは、金属材料に比べて、強度的に劣っているプラスチックをガラス等の繊維材で補い、金属材料なみの強度をもった複合材料のことです。

GFRPのテストピースを使用し、引張り試験、引張り疲労試験を行ない、GFRPの破壊強度特性を知るとというのが、私たちが行なっている研究の目的であります。

材料力学の分野では、新素材の破壊強度特性は、重要なテーマであるので、完成度の高い卒業研究にするため精一杯頑張っていくと思います。

卒業研究課題：「GFRPの疲労亀裂進展に関する研究」

卒業研究生 岩佐 俊明・上 浩史

谷中 正則・堀内 秀一

吉富 佐研究室(2-2)——ロボット



今年の吉富先生を中心とした私たちの研究室では、「多関節ロボットの位置計算に関する研究」をテーマとして研究を進めています。現在使用されている産業用ロボットは多品種少量生産に対応するためオフラインティーチング化される傾向にあります。我々の研究室では、そこに着目し、ロボットの指先の位置を計算しさらにロボットの工作精度などからおこる誤差の計算をする研究をおこなっています。

現在、位置計算と誤差に関係する部分との2つに分けて理論を研究し、又全員でロボットの姿勢を画面に出すプログラムに取り組んでいます。

まだこのテーマは新らしく文献をあつめても少量しかなく、なかなか難しいテーマですが、たまにコンパなどで英気を養い、うっぶ

んをはらし、2月の発表会には、より完成度の高いものを発表できるように頑張っていきたいと思っています。

村岡俊夫研究室(2-2)——工作機械



村岡先生のもとで、我々研究生は、昨年にひきつづき加工精度向上を目標とし、今回は常温環境における工作機械の熱変形と、新たに、切削機構における切削油剤の効果という二つのテーマに分れ、5名の卒研究生は夏休みから実験を開始しました。

卒業研究テーマ決定後、早速実験を始めるまでに、村岡先生の厳しい指導のもとで、国内の研究論文や文献と先輩方の卒研論文で勉強して、工作機械の加工精度の重要性や、切削機構について理解を深めました。

まず、工作機械の熱変形の実験について、簡単に説明してみる。横形マシニングセンタのように、立体的な移動範囲をもつ機械では、周囲温度変化のある状態では、熱変形により特に加工精度への影響は大きいので、常温環境のもとで機械の熱変形特性を把握して加工精度向上のために役立てるため研究にとりこんでいます。

次に、切削機構における切削油剤の効果については、鋼材などを加工する時、切削油剤を使用すれば効果があるのは広く知られている、しかし、定量的な効果としては殆ど発表されていない。そこで約10種類の切削油剤を選択しドリルによる穴あけ加工中の切削抵抗の変化と刃具の寿命についての研究を行なっています。

実験は注意を要する測定を朝から夕まで連続して行なうのでなかなか大変です。現在ほぼ実験は終り、これからぼう大なデータの整理とまとめに入ります。両テーマともまだ一般に公表されていない結果も得られ、全員気合いを入れて頑張っています。

(記：住田 真一)

1. 常温環境における工作機械の熱変形

住田 真一・高木 重信・玉井 淳一

2. 切削機構における切削油剤の効果

岡田 博之・水谷 元典

佐藤征一研究室(8-1)——ロボット



私達の卒業研究はマイクロコンピュータによるDCサーボモータの制御です。この研究の目的はより速い応答速度、より正確な位置精度を得ることを目的としています。

具体的には、コンピュータ側から指令電圧を出して、それをアンプで増巾しモータに供給してモータを回転させます。回転軸にとりつけてあるタコジェネレータ、ロータリーエンコーダにより速度及び位置情報をとらえてコンピュータ側にフィードバックし、何らかの制御則により、指令電圧を発生させ再びモータに送る……ということを繰り返しながらモータの回転角度を目標位置に近づけるものです。

この研究は自動制御という理論から入って、その理論に基づいて実験を行うものです。最終的には実験結果とシミュレーションにより得られた理論値を比較し、考察を行います。従って理論と実験を併行して行うので自動制御という分野を理解するのに非常に有意義で面白い研究だと思います。

(文責 吉永)

0155 湯川 規正

1107 市川 信幸

1174 吉永 浩

1177 和田 進

題目：マイクロコンピュータによるDCサーボモータの制御

上条恵右研究室(2-2)——自動制御

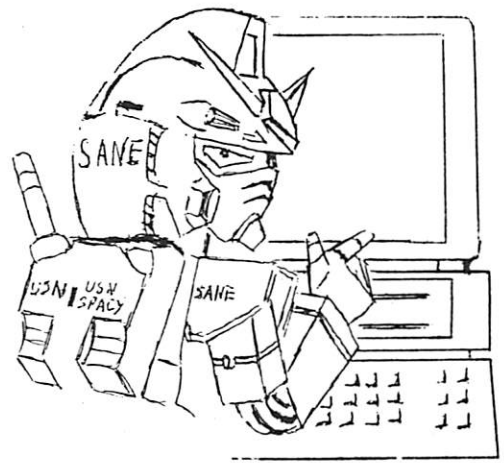


“たいやき”を作る、あの鉄板を思い浮かべてもらいたい。できあがった“たいやき”の見た目や色つやは、鉄板に彫られた網の形やその仕上げ具合に左右される。様々な工業製品を均一に多量生産するツールにも、“たいやき”の鉄板に当たる「金型」がよく使われている。この金型を製作する上で、仕上げ段階の磨き作業は、いまだに熟練者の手作業で行われている。それは、この工程が金型の品質を左右する重要な作業で、長年の経験とノウハウを必要とするためである。しかし現在では、時代のニーズからも金型の仕上げ工程（荒仕上げから鏡面仕上げ）を自動化することへの期待が高い。そこで、ロボットを用いた型磨き作業の自動化をテーマとして研究を行っている。本年度の内容は、ロボットの先に取り付ける定押し付け圧機能を持つ磨き装置の開発である。実際に、装置の設計、製作を行い、その性能試験を行うが、センサーとモータをコンピュータでコントロールすることになる。これらを卒研究生5人で取り組んでおり、自分たちのひいた図面どりに装置が組み上がる日を夢みて頑張っている。

卒研究生 榎並 陽

卒研究生：高野 久樹 田中 陪文

兀下 敏幸 椋木 誠



電気工学科

守 誠一研究室(2-2)——電波工学



本年度の卒業研究学生は、次の通りです。

- 木村 修 光通信におけるデータ伝送
- 佐伯 繁美 ろ波器の理論と設計
- 砂岡 伸一 同上
- 松本 健 わが国の通信衛星の現状
- 牟田 辰久 同上

この卒論を通して学校教育での総まとめをするのだという気概をもって確かりと地道な勉学努力を期待し、またそのように指導したいと思っています。

岡本辰美研究室(2-2)——電気材料



卒業研究テーマ

- 走査型トンネル顕微鏡について
高崎 豊浩
- 圧電素子センサーについて
宮永 誠
森 浩文
- 新磁性材料について
友塚 博幸
橋本 章光

松枝宏明研究室(2-2)——電気回路



QUICK BASICによるプログラミング

- 氏名：児玉 吉史
- 当銘 武志
- 芳本 治彦
- 重松 明伸

私たちの卒研室は5人の少人数で行っています。少人数だけあってチームワークのとれた楽しい卒研室です。

研究課題は、最近作られたQuick・BASICでのプログラミングに挑戦しています。まずは基本的なことから始めプログラムの理解そして自分でプログラムを作成していくということです。

初めはとっつきにくかったパソコンも毎日扱うことによって身近に感じられる様になりました。同時にワープロやLotus1・2・3など社会に出ても十分に役立つものなども学んでいます。

毎日パソコンとにらみ合っていると疲れますがその疲れをいやす

ものは何ととってもコンパです。先日も先生の御誘いで飲みに行きました。これからも交流を深めながら楽しい卒研室にしていきたいものです。

福田順子研究室(センタ)——情報処理



コンピュータグラフィック処理システムについて

- 高橋 正生・藤井 正治・安岡 鉄也
- 関山 常和・中園 浩徳・三谷 英樹

皆さんこんにちは、情報処理センター内にある、我が研究室はコンピュータが好きで好きな人からこれから使い方を覚えて行きたいと言う学生達が下は一年生から上は四年生までの色々な人が集まります。又、機械は嫌いでコンピュータが使えなくてもと言う人達も、そう卑屈にならず一度覗いて見て下さい。それでコンピュータが好きになれるかも知れませんよ、それに情報処理センターがどうい所か知らない人達も中を見学してみてもはどうでしょうか。

我が研究室は、先生と生徒が友達のようにしている研究室です。

(記 関山)

萩原益雄研究室(2-1)——電気機器



電気機器(発電機、電動機等)の分野では、近年インバータ、サイクロコンバータなどの半導体電力変換回路を用いた交流電動機のトルク、速度制御が急速に進歩しており、産業用、民生用を問わず広く利用されつつある。

当研究室ではこれに関連したテーマで4名の諸君が卒業研究に取り組んでいる。

1. 空間電圧ベクトルを用いたPWMインバータの波形制御について
三橋 紀之
山田 裕昭
2. 誘導電動機の周波数制御において、電動機定数がトルク、速度特性に及ぼす影響について
大澤 敦
山本 享

末安久利研究室(2-3)——電子機器



電子計算機の利用形態は単なる数値計算のみでなく、各種電化製品の制御へのマイクロプロセッサの利用、社会・通信システムへの利用等広範囲に亘り、電子計算機と無縁のシステムや機器を探すのが困難な程である。

私達は、電子計算機のハードウェアの知識がなくてもそれを組込

んだ製品を充分使用できるようになっている。

然し、電子計算機のハードウェアの知識があることは、今後、進展する電子計算機を正しく理解する上でも、更には新しい応用を考える上でも重要であると考えられるので、卒業研究題目の一つとしてハードウェアを設けた。

また、画像処理を各分野で活用出来る様にするために、導入した画像処理装置のハードウェアの調整及びソフトウェアの開発を進めている。

卒業研究題目

- 電子計算機のハードウェアについて
一丁田 守・岡森 政司
- ローカルエリアネットワークについて
大西 佳之・小国 泰昌
- バイオマグネトロニクスについて
田中 武二・堀切 誠

土木工学科

安田与吉研究室(5-2)——都市計画



1. 水谷 登

都市に於て、敏速に行動することは最も重要な事の一つである。道路と鉄道の平面交差が幾つもあると云うことは大きな損失である。それで例として「一宮駅」を中心として前後約3軒の間にあるJR、名鉄本線、名鉄尾西線の道路との平面交差を連続立体交差化することの経済効果についてとりくんでみた。

2. 佐護 秀一

村馬は長崎県に属し、九州と朝鮮半島の中間にある大きな島である。この中心都市である巖原町の都市計画にとりくんでみた。

鐘ヶ江貢研究室(5-3)——土質工学



ボタは石炭の採掘に伴い搬出され、選炭によって廃棄された砂岩、頁岩、松岩、および石炭など第三紀層の岩屑で、このボタが自然発火したものを「焼化ボタ」、未燃焼のものを「未焼化ボタ」と呼んでいる。ボタを集積したボタ山が筑豊地方の田川鞍手地区、中間遠賀地区等に今尚多く存在しているが、ボタ山は以前は廃棄物として考えられ、崩壊等の災害を引き起す無用の長物としてのみ考えられていたが、昭和30年頃からこのボタ山の有効な利用法が検討され始めた。

焼化ボタは埋立材料、コンクリート用細粗骨材等に利用されているが、未焼化ボタも道路の盛土材として試用されている。

以上のことから次の諸君が今年高松炭鉱のボタ山の試料を採取して卒業研究に取り組んでいる。

森岡 栄一

山口 順次

題目：炭鉱ボタの物理的及び力学的特性について。



諫山幸男研究室(5-3)——土木材料

火山噴出物の一つであるシラス・軽石は軽量コンクリート用の天然軽量骨材として利用されてきた。とくに南九州に産する軽石は昭和30年から40年にかけて毎月15,000トン程度が阪神地区に海上輸送され、高層ビル建築に利用された。しかし、軽石の吸水率が40~50%と非常に大きく、コンクリート用骨材として問題があり、最近その需要が落ちこんできている。当研究室では地域資源の有効利用の面からシラスパルーンによる軽量コンクリートの試作研究を進めているが、本年度は軽石の表面処理によって吸水率の減少効果を強める実験をつづけている。

卒業研究題目……シラスパルーン利用による軽量コンクリートの研究——軽石粒の表面処理法について——

学生氏名 1304 大沢 浩敏
1310 河野 真一

尚本研究は鹿児島県資源開発協議会から35万円の委託研究費の助成を受けている。



長弘雄次研究室(5-2)——測量

我が国は社会環境整備のための建設工事が現在積極的に進められています。

本研究室は、新鋭の測量トータルシステムを使用して数年前から学園全体の地形図作成の研究に取り組んでいますが、学園環境整備の一環として、一面しかない道路を両面から学園に入れる道路計画を卒研の学生が取り組んでいます。それによって学園全体の土地の有効利用が図れるものと期待しています。

本年度の卒研の諸君は次のとおりです。

小鶴 豊隆・小畑 隆浩・藤澤 正佳
学園内進入の道路路線計画に関する研究



小坪清真研究室(5-2)——構造力学

去る10月17日夕刻、サンフランシスコ地方を襲った地震による被害は、M=7前後の中規模地震ながら、高速道路の破壊、埋立地の家屋の崩壊、停電による電算機の停止等の他、数十名の人命が失われる惨状を示した。被害の多い地域は軟弱地盤で地盤振動の増幅が大きかったのが原因であると言われている。又、破壊した橋梁は設計震度が過小の旧式の構造物で、構造的にも不備の点が多かったことが明らかにされている。

この地震は都市型震害の有様を我々に示したが、このような地震が我が国で起きた場合、橋梁、道路、鉄道、上下水道、電気、ガス等の安全性はどうであろうか。

当研究室では各種土木構造物の耐震性の検討を行っている。本年度は特にライフラインの耐震安全性の問題をとり上げ、卒論としてはつぎに示すように、水道施設に関して検討している。

西川 浩教 浄水場内配水池の耐震性能について
西村 剛 アーチ型水管橋の耐震性について

松下博通研究室(6-2)

コンクリート工学



土木構造物の多くは、鋼材あるいはコンクリートで築造されるが、これは、材料が安価で、取り扱いが容易であるためであるが、まだまだ、解決しなければならない問題も多い。

近年では、コンクリート構造物の設計手法も、土木学会の設計基準が改正され、また、今後は、壊れない構造物の設計手法から、長持ちする構造物の設計手法に変わりつつある。

このような情勢化にあって、コンクリートの材料的、構造的の研究は、我が研究室でも、その一端を担い、積極的に取り組まれている。

といっても、毎年の研究室行事としては、温泉一泊の忘年会、現場見学会、新卒論生の歓迎飲み会など、研究のみならず、?にも多忙な研究室である。

研究内容の一端を紹介すると

- ①耐硫酸性を目的とした、高含有スラグセメントの開発と物性に関する実験的研究
- ②橋梁床版の取り替え工法としての、BOXジベルのせん断疲労強度に関する研究
- ③海洋構造物を対象とした、コンクリートの含水速度と含水状態が強度に及ぼす影響に関する研究
- ④新しいコンクリート舗装方法として、RCCPの疲労強度に関する研究
- ⑤新しいコンクリートの配合設計法としての、余剰ペースト理論にもとづく配合設計法の研究
- ⑥温泉地帯、ボタ造成地などのコンクリート構造物の劣化機構と対策の検討
- ⑦九州におけるコンクリート環境の位置付けに関する研究

研究内容は、いずれも長期にわたるものであり、卒論生の多忙なことは言うまでもない。いつも感謝している次第である。

卒論生から一言ノ

【新屋直之です!!】自分から言うのもなんですけど、この研究室はとても明るく、かつ和やかな雰囲気です。毎日毎日研究できる研究室です。松下先生は非常にやさしく、毎日愛の指導と愛の鉄拳をくらっています。その愛の鉄拳はかわしながら、これからの研究で、少しでも役に立つものを多く学び、頑張っていこうと思います。研究室万歳!! 後輩よ、学び、遊び、人生を語るために、腕力を養うために、集え!!

【東 聡之です!!】この研究室は、非常に整った実験設備があり、我々だけではすべてを使い切ることができないのが現状です。しかし、安藤先生や木本先生の協力を得て、苦しみながらも、一步一步研究を推し進めています。この研究室で蓄えた多くの知識と、養った忍耐と根性は、一生涯、役に立つと思っています。

今日もガンバルゾー!!

我が学生人生に悔いはなし!!

上田年比古研究室(5-2)

水工学



当研究室の担当課目は水理学、河川工学、上下水道、発電水力などである。

研究事項としては、河川の流出解析、水資源問題、地下水解析、水道施設の計画などである。

学生の卒論としては、本年は次のようにしている。

- 鬼丸 琢也 水道施設の計画
- 寺岡 浩 水理実験装置の計画・設計

三原徹治研究室(5-2)

構造工学



私達の研究室では、構造物の設計問題について研究しています。

村本博は、「セミリジットジョイントをもつラーメンの弾塑性近似解析の研究」を行います。これは、製作、施工コストの低減を目的とするセミリジットジョイントをもつラーメン構造物を近似式を用いて解析しようと言うものです。

滝口浩幸、和田好弘は三原先生の熱心な教えのもと、コンピューターによる構造解析を行っています。内容はというと、とても難しいもので、土木の構造において、とても専門的分野にあたります。

この研究室では、毎日、コツコツと勉強してその成果が卒研終了時には、大きな物となってあらわれるでしょう。卒業する時には、この分野においてエキスパートとなり、大学生活の最後の勉強、また良き思い出として心に残るでしょう。

高山俊一研究室(5-3)

土質工学
コンクリート工学



3年生までの授業では教科書による知識の吸収が多かったが、4年生になり、卒業研究で実験のため実験器具や材料に触れ、初めて工学部の学生であるとの実感を持つようになるものと思う。自らすすんで研究を行えば、研究そのものや未知への挑戦に対する興味がだいに沸いて来るものです。卒論は努力すればするほど楽しくなるものです。そのため、卒論を力一杯行えば、工学部に入学した意義は充分あるものと思う。

昨年4月に赴任しましたので、慣れない事が多く、充分な研究ができないが、ファイトで乗り切りたいと思っている。卒論生のテー

マは次のとおりである。

① 赤外線映像装置によるRC構造物の表面劣化評価法に関する基礎的研究

井上浩光

コンクリート構造物の劣化状況を、温度変化を感知できる赤外線カメラによって判定しようとするものである。

② コンクリート表面硬化剤の性能に関する研究

金田道英

溶液を簡単に塗布するだけで、コンクリート表面の強化を実施できるか調べる。

③ 新素材を用いたPCロッドの開発とその利用に関する研究

森本浩行

錆を生ずる鉄筋に代って、炭素・アラミド繊維がコンクリート補強材の一部として使用可能か検討する。

田中邦博研究室(5-2)——測量・基礎工学



当研究室では、土木工学に対する基礎となる測量や基礎構造物などに関する研究を行っています。

今年の卒業研究は、杭の支持力に関する研究であります。

構造物の基礎として杭基礎があり、杭工法の打込み杭、埋込み杭、場所打ち杭と分類され、これらに基づく支持力を推定法や計算法を用い調査・研究を行なっている。

卒業研究生

木田 峰司

白石 芳樹

(文責：木田)

建築学科

重藤和之研究室(8-1)——建築材料



暑中環境下における表層コンクリートの劣化現象に注目した研究を進めているが、台風の中の沖縄ゼミ旅行、秋の英彦山登山、ビール代を賭けたソフトボールが本職のユーモアあふれる研究室であります。

以下研究室員の紹介を行います。

勝谷昌寛：研究員の相談役。ギャンブルとなると必ず顔を出している男。(パチンコやめました)

青木隆和：手は動かさず絶えずいらいら口を動かしている建築一の情報屋青木君。

池山哲矢：あさってを夢みる放浪詩人。出勤は社長クラス。

菅野哲夫：研究室は休んでもクラブには行く奴。会長出勤のマコチ君。

久保田晃治：玄洋寮のメシを四年間喰った男。緑の血を持つエイリアン。

謝花善孝：バジヨグ盗まれ、おまけにこけて一発廃車のFZ。今はバスにて通勤中。

豊里哲也：北九州市民大観衆の前で三味線の独演会。ギャラは?万円。五時の時報と太鼓の音で目を覚ます男。

九鬼正明、能美隆幸、部谷靖浩、広岡基幸、原慎二、以上五名が特論生。来年のスタッフです。

竹下秀俊研究室(8-3)——建築計画



当研究室の今年度の卒業研究テーマは「折尾のまちづくりに関する調査研究」である。卒業生が11名いるので各々以下のサブテーマによってグループ分けしている。

① 折尾商店街の活性化について

林 英俊、小早川秀吉

② 交通計画について

中野 毅、吉田一馬、小林一雄

③ 生活環境問題について

戸田勝次、早川真二、松野守晃

④ 地域と大学のコミュニケーションについて

浜崎茂樹、佐々木一良、岩崎倉一郎

また、これらの4年生は全員「折尾のまちづくり研究会」に入っており、各々の部会活動も行っている。

卒業設計でも、一部の学生は折尾駅前再開発や堀川の再生をテーマにとりあげている。

夏休み恒例の研究室旅行は、今年度はヨロン島へ5泊6日で海水浴に行った。全員陽焼けがひどくて無残な姿になっていたが、秋になるとさすがに元通りになった。

尾道建二研究室(8-1)——建築史



「研究室旅日記」

平成元年9月30日(土)小倉日明港を後にした我々8名は神戸へ向った。目的は、建築家・安藤忠雄とポストモダンの建築家と言われる高松伸の作品見学、それに、都市再開発による大型商業施設「つかしん」の見学等である。船中の人となる。西の海に日が沈む。「まっかな太陽」ノンノン、美空ひばりはもういないんだっけ、「あこがれのハワイ航路」よろしく、旅の前途を案じて、いやいや折念いたしまして、まずはまずは乾盃である。翌日、エート、「どこから船へ乗って神戸へ着いたんだっけ？」昨夜の宴のせい、ポーとしている。上陸である。旅の初めは、まず神戸北野である。ここでは伝統的建造物群「異人館」の見学、それに、安藤忠雄の作品6点を見学する。二日酔はどこへやら、歩けば腹がへるものである。メシは高い所で食べるのがうまい。目指すはポートアイランドホテルの

最上階のレストランにてな具合で大阪湾と六甲の山々を眺めながらの食事である。ポートアイランドの集合住宅群、バンドール、六甲の集合住宅、「つかしん」等を見学の後、大阪のホテルへ。夕食の為、街へ出る。御堂筋を南へ走る。ライティングされた並木が美しい。道頓堀、高松伸のキリンプラザビルを見る。食事は浪速名物のお好み焼である。ビールもうまい！ 夕食後、竹山聖の作品を見学。さて、ホテルへ帰って寝るか、「先生、僕たち、アノー、関西名物のストリップというものも見学してきます！」「じゃ、あんまり遅くなるなよ！」そんな具合で、我々の見学ツアーは進行していったのでございました。その他に見学したのは、丹下健三作品「大津プリンスホテル」、高松伸作品「織陣」その他、安藤忠雄作品「タイムズ」それに京都東山界限などであった。

今年、当研究室4年、政岡清計君が琉球大学大学院へ合格した。3年生曰く、「来年の見学ゼミ旅行は沖縄だ！」来年の研究室、旅珍道記、どうなる事やら、たのしみだ。

山崎直也研究室(8-2)——建築設計製図



当研究室の今年度の卒論テーマは、「ログハウスの断熱性における分析」である。

このテーマは、ログハウスの特性である断熱性及び、温度調節作用が一般的に高いとされているが、数値的には明らかにされていないため、今回の研究において、どの程度の性能が確保されているかを、温度と湿度の測定を行いデータ分析をする。

我々まとまりのある研究室の卒論生は、平日は無難なこと、日曜祝祭日を返上し、日夜論文作成に向けて頭をかかえ取り組んでいる。

当研究室の卒論生は、班長の鹿倉を筆頭に以下の7名である。

池村秀明、井上弘、国広一志、河内建二、樽井謙一、原田光則、樋口三也
文責：池村

永田隆昌研究室(8-2)——都市計画



現在、当研究室では、今年から新しく、「環境デザイン手法に関する研究」を行なうことになった。

この研究は、現在のデザイン論、デザイン学の水準がどこまで到達しているのかについて、過去の論文や書物などを分析したり、すぐれた街並みや建物を対象にして、そのデザインの良い所を調査したりすることによって、良いデザインの要素、形、プロポーションとは何かを考える。これらの研究結果を利用して、これからの建物や街並みのデザインに取り組んでいくつもりである。

なに分初めの研究なので、過去のデザイン論、デザイン学の資料集めなどがたいへんだけど、この研究はとても面白く、有意義なことであると考えます。
文責 特論生 下森博之

平坂継臣研究室(8-4)——鉄骨構造



当研究室では、「RC根巻き鋼管柱脚部の力学性状に関する実験的研究」と題して実験研究を行なっている。

柱脚とは、鉄骨柱とコンクリート基礎との接合点であり材料の性質、構造等の性状が大きく異なる接合部である。建物の構造上極めて重要な位置であるにも係わらず、明確な方針がたたないまま、曖昧な過程のもとに設計・施工が行なわれている現状である。今後の建築界を担う(担うであろう)我々としては、建築の辞書に曖昧の文字を載せる事は出来ないと思い、この研究に取り組んでいるところである。

研究課題と同様に研究室も重苦しく堅い雰囲気とイメージされがちであるが、鋼そのものは本来非常に柔らかい素材であり、一見堅そうに見える平坂先生も鋼同様にとてもユニークで我々との垣根を越えた付き合いをして下さるので、アットホームな明るく良い雰囲気の研究室になっている。

とかく敬遠されがちな構造系のゼミであるが、大学生活を充実させたいと意気込み当研究室を選んだのだが少々充実し過ぎかなといった感じがするのは私だけであろうか。

最後に先生と研究生の紹介をしておきます。

平坂 継臣先生：お酒と名の付く物が大好きで、インテリアデザインへの造詣が深い。

谷口 美鈴：ドジで可愛い小悪魔。なーんてね。何時でも何処でもはしゃぐはしゃぐ、お祭娘！

寺岡 博満：これまた酒が三度の飯より大好き、はっきり言って体がボロボロです。アーメン！

中村 隆一：私は、はっきり言ってお酒が飲みません。人生にお酒が必要なのでしょうか。

中山 三雄：ディスコ大好き人間、歌って踊れる建築家を目指しています。

日高 義博：とにかく遊ぶ遊ぶ、テニス・ビリヤード・ゴルフ・麻雀・パチンコなんでもこい！

特論生：奥本剛司 大饗武司 兼次孝司 由見真治朗

特論生諸君の即戦力をおおいに期待しつつ平坂研究室の紹介を終わります。
文責 日高義博

江崎文也研究室(8-2)

鉄筋コンクリート構造



この原稿の依頼を受け取ったのが埼玉県下の高校訪問の最中で、訪問予定の高校へ向かうタクシーの中でサンフランシスコ地震のラジオ放送を聞き、早速被害状況をビデオに収録するため自宅へ電話連絡したことを思いだしながらこの原稿を書いています。何故こんな事を言うのかと言いますと、耐震構造、特に鉄筋コンクリート

(RC) 構造物のせん断破壊防止について長年研究を続けている私にとって、地震災害がまさに実物実験による貴重な研究資料にほかならぬからであります。

ロマプリータ地震と名付けられた今回の地震で、オークランド市を通る高速道路 880号線の RC 橋脚が脆くも崩壊しているテレビの映像を見て、相も変わらず構造物の鉛直支持部材の崩壊がいかに悲惨な結果を招くかをまざまざと見せつけられ、実験室での模型実験等で警鐘されてきた RC 造鉛直支持部材のせん断破壊は絶対防止しなければならないことをあらためて痛感させられました。

私はこれまで RC 構造物の主耐震要素である耐震壁について、たとえせん断破壊を起こしてもその破壊を壁板内に限定し、破壊後も周辺の柱・梁が鉛直荷重を支持できるように、耐震壁の水平抵抗・破壊機構を解明し、崩壊の原因となる鉛直荷重支持能力の低下を防止する設計法を確立するための研究を行ってきました。これまでは水平耐力を解明することに主眼をおいてきましたが、今年からは変形性能を含め RC 造鉛直支持部材の靱性改善のための新しい補強法の開発に取り組んでいきたいと考えています。

本学に昨年 4 月着任した早々にこのような地震災害に接し、これまで行ってきた研究の重要性をあらためて再認識するとともに、今後とも日本の耐震構造に貢献できるように卒論生とともに頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

本年度卒論生：土屋浩一、松田佳司

特論生：井内啓二、上田武士、大重智広

小林慎一、中田陽一、吉川嗣広、吉村宏二

石内悌三研究室(8-3)——建築設備



当研究室では水環境の改善を目的として、回分式活性汚泥法による実験研究を行っている。

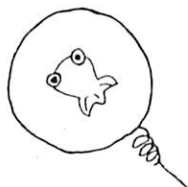
我が国の下水道の普及率は欧米先進国に比べて大幅に遅れており、政府もその拡充に力を入れている。

しかし河川の汚濁に最も関係のある上流の田舎の地方にはまだその布設は望むべくもない。

我々の生活の向上と水環境の悪化は比例するものと思われる。

家庭から出る生活排水(特に雑排水)の処理により、上流を含めた河川の浄化がなされることを夢んでいる。

さし当って、本年度は瀬川君が最適の反応工程を見出すべく取り組んでいる。まだ基礎実験の段階ではあるが如何なる成果が得られるか楽しみである。



環境化学科

山本 陽研究室(西-4)——衛生化学



薄暗い廊下の向うにポツと実験室の明りが灯る。人通りが少ないせいか、とても静かなその部屋には「衛生化学実験室」とある。中を覗いてみると、実験台の上には色々なものが乗っている。——人影は…

山本先生の研究室には現在バセリの鉢があります。実験室では直射日光が当たらないので、ここで生き長らえています。又、動物室にはラット達がいます。彼らも暑さ、寒さにめげずにケンカをしながら元気に肥え太っています。これらは卒業実験の為に少なからず協力してくれます。

当研究室での主な研究は薬物代謝に関する事です。一つは、ラットにある薬物を飲ませ、それがどの様に代謝されて排泄されるかという事を探ります。もう一つは、腸内細菌による薬物代謝についての問題で、ラットの体内にいる細菌を取り出し、培養して、薬物を代謝するかどうか見ています。興味のある方、一度覗きにきてみませんか？

メンバー：卒論生 古波津正・原森浩司・助手 山崎

卒業研究テーマ

古波津 正：シリステチンの代謝

原森 浩司：同上

(文責：山崎)

片山 平研究室(西-4)——生態遺伝学



バイオテクノロジーという言葉は、最近では毎日のように新聞、テレビ、ラジオなどに顔を出している。それが具体的にはどのようなものかは分からなくても、たいいてい人は、その言葉だけは知っているだろう。

バイオテクノロジーと一口に言うが、その技術が対象とする範囲は非常に広く、生物(生命)に関係するものはすべて含まれるといつてよい。生物の持っている特性を明らかにして、そのわずかな違いを的確にとらえ、生活に利用できるように役立てて行こうとするものといえよう。

さて、当研究室であるが、おっと、その前にメンバーを紹介させていただこう。まずは当研究室の総元締である片山平教授、昨年の手術から見事カムバックをとげられ、今まで以上に研究に力を入れられている。次に「徳島の種馬」ことロッキー宮内君、浜田省吾を心の師と仰ぐ「柳川の貴公子」こと大淵君、讃岐うどんのこの人にお任せ「香川のグルメ」こと西田君、将来の金八先生を夢み、女子校生のハートを奪おうとする「土佐のジョニー」こと西本君、以上 5 名(先生を中心に)が薬培養、生長点培養、大量増殖、プ

ロトプラストの分離と植物体の育成および遺伝子導入、さらに作出した植物体の染色体変異について研究している。(西本記)

田代勇司研究室(西-5)——環境微生物学



今から21世紀にかけての“新産業革命”の1つとして、バイオテクノロジー(生物学または生物機能利用工学)が主役である。その中心的役割を果しているのが微生物である。食料・医薬品・エネルギー等の生産、環境問題、人口問題に対処するためである。

本講座では、天然物や廃棄物をより付加価値の高い物質(医薬品・食料など)に転換させるという根本的な考えの下に、微生物を工業的に利用し、または、環境浄化に利用する目的に沿って、生物工学的視点から研究と教育を行なっている。

今年度の7人の卒業生のテーマは「環境汚染物質の微生物による分解」である。

秋貞英雄研究室(西-4)——物理化学



本研究室は、界面活性剤の物性の研究を主題にしています。界面活性剤は、農業から工業、いたるところの産業に種々利用されています。それだけでなく、生物の存在自体に重要な役割(細胞膜主成分)を演じています。生命の謎は、神秘(不可思議)ではありません。しかし神様が人間に与えた最も難解なパズルと言えます。界面活性剤は、その謎を解くヒントの一つといえます。

本研究室のスタッフは、他に助手1名(生田みどり)と4人の卒業生です。今年の卒業生は、指導教官の心を、婚期の遅れた娘を持つ父親にさせてくれる難物ぞろいです。

卒業生のテーマ

- デシルスルホン酸アルキルジアンモニウムのCMC (福岡 和明)
- デシルスルホン酸アルキルアンモニウムCMCの添加塩効果 (中川 悟)
- 界面活性剤の部分モル体積の測定 (高橋 誠)
- PVC膜による界面活性剤溶液の膜電位測定 (恒内 昭二)

吉川博道研究室(西-3)——生態化学



夢をもって何かをする……。うまくいけばよいけれど、途中で矛盾が出てきたり、行き詰まったりするかもしれません。でも何かを一生懸命追いかけていることはとてもいいことだと思います。この研究室ではそういう精神を養えるんじゃないかなあって気がします。ちょっと大きな文章になりましたが、早速本題にはいりましょ

う。現在、生態化学研究室では、植物ホルモンの一つであるアブシジン酸について研究を行なっています。4年生3人、2年生2人、全員が同一のテーマ「アブシジン酸ミックスの合成と生物活性」を少しずつ違った方向から検討しています。

厳しいけれどとても頼りがいのある吉川先生のもとで4年生3人は日々たくましくなっており、普段の頑張りが見事に奏して、4月からは清原さんは中外テクノス(株)、島崎君は宮崎大学大学院そして辻君は九州大学大学院へそれぞれ進むことになっています。また、2年生の金田君と白井君も前の2人に続けと大学院入試を目指して勉強に励んでいます。

実験のあいまをぬっては、スポーツや知識の増える討論会などをして大変充実した一日を過ごしています。

やる気のある方はどうぞ吉川研究室へな

日高秀夫研究室(西-5)——資源生物学



日本の河川の主要な水質汚濁源は生活排水です。その中に多量に含まれる合成洗剤に対し、魚類は低濃度で忌避します。最も鋭敏に忌避するのがアユです。

アユは日本の代表的な魚であり、古来、日本人の精神風土に大きな影響を与え続けてきた重要な魚です。ところが、四万十川をはじめとする多くの「アユの川」では近年、遡上量が激減しており、種としての生存が危ぶまれています。そのような中で、北九州市の中心地を流れる紫川では天然アユが戻ってきました。様々な環境規制と下水道の整備などによる成果です。北九州市は紫川を市のシンボルと位置づけ、建設省の「マイタウン・マイリバー事業」の指定を受け、景観整備を含めた環境改善に取り組みははじめました。

当研究室は、これらの川と魚を取り巻く様々な問題について、多様な視点から研究をしています(河合塾、全国進学情報センター発行のGuide line 1989年9月号42~43頁「おもしろ研究室探訪」に「紫川アユ学誕生」と題して紹介記事が載りました)。

本学に赴任して2年になります。合成洗剤の分析ができるようになったので、あちこちの河川調査に加えて本年度から公共下水道や合併浄化槽の調査をはじめました。

四万十川ではいままでの研究成果を「四万十川のアユ大カムバック計画」と題して地元自治体主催の講演会で報告することができました。また、そのおり、水質汚濁調査も行いました。

紫川では、調査研究の他に、今年から新しく担当することになった3年生の実験の一環として、7月に野外環境調査法の実習を行ないました。また、1989年3月25日にかねてから念願していた「紫川を愛する会」が発足しました。この会は、行政、企業、大学、一般市民と幅広い層から紫川に関心をもつ人が集まり、紫川とその周辺の地域の過去・現在・未来を多様な観点から考え、紫川の全体像を知ろう、紫川に関して集大成をしようということを目的に作られました。筆者は世話人の一人として、主に会報「紫川」の編集発行を

担当しています。この会を通じて他分野の人と知り合うことができ、出会いの面白さを楽しんでいます。皆さんもご参加しませんか。

藤 普子研究室(西-3)——有機化学



担子菌類シタケから単離されたレンチナンが抗ガン剤として臨床的に用いられていることは前回に述べた。

我々は担子菌類の中から薬用に用いられるレイシ、チョレイ、ブクリョウを選び、これらの成分の構造解析や生体活性などについての研究を行っている。この抽出成分中にはいずれも数種の還元性物質が存在することを電気化学検出器を備えた高速液体クロマトグラフィーにより検出した。これらの還元性成分とガン化および老化などに関連性をもつと考えられる脂質過酸化との関係について追究してゆく。

卒業実験テーマ

松岡 敏美：ブクリョウ還元性成分の生化学的研究

山城 学：チョレイ還元性成分の生化学的研究

開発学科

松原 茂研究室(西-6)——環境工学



本年度の私の開発学科の受持ち講義は、水理学(Ⅱ)、同演習(Ⅱ)と防災工学である。最近開発学科では学科課程も変更されて居り、殊に本年度は教官の入れ替りも行なわれた。その結果、私の研究室も環境工学と名を改めた。本年度の研究テーマは①土の熱的性質②地表面における気象要素の高さによる変化である。これらは地表面付近の熱、水蒸気および炭酸ガスの分布を明らかにし人間環境の解明を目的としている。ただ開発学科の現状では実験、現地測定の実施が不可能である。それで今まで通り他大学の協力を得る他ないというのが現況である。本年度も炭酸ガスの測定には岡山大学大滝教授の協力を得ている。そのうち実験室を作り計器を充実して立派な環境研究室を作り上げたいものです。

長 智男研究室(西-6)——水資源工学



沙漠化は現在の地球環境問題の中の重要な一つである。沙漠化防止には種々な手段方法が必要であるが、水資源の開発と適正な利用もその一つの柱となっている。昨年はオーストラリアで開催された第4回国際マイクロ灌漑会議に出席した。会議後、オーストラリア最大の河川マレイ川に沿ってアデレードまで下る数百キロの間、水資源の開発と利用の実際を見る機会が与えられ、乾燥地水利開発の

進展ぶりを知ることができた。都市下水の森林施用など河川水質の悪化を防ぐ一方、マイクロ灌漑によって貴重な水資源を有効に使ったモダンな農業を大規模に発展させているのはさすがであった。アメリカ、イスラエルと並んでオーストラリアの研究には見るべきものがある。わが学科の現状では実験的研究はできないが、集収した文献資料による研究にも夢はある。

わが国の水資源量の $\frac{2}{3}$ は農業用水であるが、近年、都市用水の著しい増大とともに高度な開発、利用、管理の時代になりつつあり、今秋のアジア・アフリカ地域国際灌漑排水会議でもその技術レベルが注目された。地域の水資源と水利用の特徴を研究することが当研究室の課題である。

粟谷陽一研究室(西-7)——水理学



卒業研究のテーマは、水処理の一過程である沈降濃縮に関するものである。沈降分離は最も基本的な処理過程であるが、複雑な興味ある現象が多く、未解明の点も残されている。水理実験用の場所を持たないため、狭い場所と比較的簡単な設備で実験観察がある程度可能であることが、このテーマを選んだもう一つの理由である。

現在取りあげた問題は、下水汚泥の濃縮問題を対象として、高濃度の懸濁粒子を含む沈降筒を用い、筒内に適当な弱い撹拌や筒の傾斜を与えて沈降状況を観察し、汚泥の濃縮促進を試みるものである。

また、このような濃縮現象を数値的に再現する手法を検討し、観測結果と比較しながら、高濃度の沈降現象の詳細も明らかにしたいと思っている。

新しく発足したばかりの研究室ということもあり、卒研生には、手づくりの実験の味をあげてもらおうつもりで、今のところ、工作に腕をふるってもらっている。

片山正敏研究室(西-6)——応用力学



地球の表面の約70%を覆っている海洋には、ニッケル・コバルト・銅などの鉱物資源や石油・天然ガスなどのエネルギー資源さらには魚貝類などの生物資源などが豊富に含まれている。これらの資源開発はもとより、海洋は、各種海上プラントや海上ホテル・施設など空間利用面でも活用されているが、近年第3の国土空間としての沿岸域(いわゆるウォーターフロント)開発も脚光を浴びている。このように海洋開発は人類にとって重要でかつ身近なものとなってきているにもかかわらず、海洋が厳しい自然環境に曝されているため、その開発にあたっては多くの未解決の課題を抱えている。

当研究室では、海洋開発にあたって使用される各種設備や構造物などについて、システム工学的アプローチからの基本計画・設計法や厳しい自然環境荷重(主として波浪荷重)の下での構造・運動応答解析、構造・強度上の安全性評価法などの研究を中心に、今後長

期的に取り組んで行きたいと考えている。

しかしながら、現状での開発学科の実験設備は皆無に近い状況なので、当面は理論的研究を中心に進めて行く予定である。それにしても、今年度の開発学科4年生は全員で6名であり、当研究室の卒業生は奥中嘉宏君1名であるから多くは望めず、卒業研究テーマも「ウォーターフロント開発」に的を絞り、文献調査を主体に研究を進めてもらっている。1日も早く、理論および実験のバランスのとれた研究が行える日のくることを期待している。

亀田伸裕研究室(西-7)——地盤工学



園田裕虎研究室(西-7)——地盤工学



当研究室では、地域開発やウォーターフロント・緑地・リゾート等の開発に伴う、地表付近と地下深部岩盤の性状、土質等基礎的要素及び地象学的要素の研究を目指している。

また、学科の学生に対しては土質工学、防災工学、航空測量学(含むリモートセンシング)、測量学等の講義を主に受け持っている。

現在は温度を測ろうとする物体に直接触れることなく、それから放射されている赤外線を利用して、その物体の表面温度を測定する熱赤外線カメラを用いて、土の熱的特性を明らかにし、その結果を利用してランドサット等の衛星データを利用して、地表の熱的特性を推測する方法を研究中である。

今年は、その手始めとして先ず熱赤外線カメラの特性を明らかにすることから始めている。特に熱赤外線カメラを使用する際重要なファクターとなる「物質の放射率」を適性にまた簡単に求められるように、その性状を調べているところである。

現在わたしは、熱赤外線カメラの使い方から、「土の水分量で放射率がどう変化するかやってみると言われ」土に水を加えてドロンコ遊びをすることを毎日の日課とし、「参考資料だ読んでおけ」と言われ、つぎつぎと増えていく文献を眺め溜息をつく日々を過ごしている。その上大好きな酒が喉を通らないほど、大好きな英語の文献の訳をさせていただき、あれ程出来なかった禁酒を実行し健康的な生活を送っている今日此頃である。(しかし、何故かタバコの量が増える?)

ちなみに私の卒研の題目は「熱赤外線カメラを用いた、地盤の温度測定に関する基礎的研究」である。

ところで、我が学科の良き兄貴(親父かもしれない!)である亀田先生は先日(10月20日)に四十数回目の誕生日を迎え、限りなく五十に近くなり、益々若くなったことを最後に報告しておく。

文責:池田和男

福田哲郎研究室(西-6)——水資源工学



土壌は直接的には我々の日々の糧を養い育ててくれる大切な物体であるが、より基本的には陸地の表層にあって、我々の生活に極めて関係の深い物質やエネルギーを授受したり、変換したりしている貴重な空間である。それゆえ、それ自身またかけがえのない国の資源でもある。

我々はこの狭い国土を大切に使うていかねばならない。そのためには土壌に関する幅広い知識を身につけることが必要である。

これまで、当研究室では水利システムに関する研究などソフトな面の研究が主であったが、本年はやや趣を変えて、文字どおり「泥くさい」土の研究を手掛けている。数ある土壌の機能のうち、本年は主に保水機能および通水機能について実験的研究を行う。

卒研究生:安増 豊紀

成富 勝研究室(西-6)——応用力学



——地震は繰り返す!——

つい先日アメリカのサンフランシスコで地震が発生し、多くの犠牲者と多大の被害を被ったことはまだ記憶に新しい。この地震はサン・アンドレアス断層が震源とされており、過去にもこの断層で発生している。このように地震とは必ず繰り返し発生するもので、地震国である日本についても同様である。では、逃れることのできない地震からいかにしてわが身あるいは構造物を守るか。これが課題である。研究室としてはこのような耐震的課題の解決に微力ながら取り組んでいくつもりである。

なお、今年度については残念ながら卒研・研究を行うための環境がまだ十分に整っていないため、卒研は制約を受けざるをえない。そこで、九州工業大学で行われた振動実験に参加し、卒研のデータを提供していただいた。実験は各種形状の貯水槽模型を用いた振動台による振動実験で、実験から得られたデータを用いて実規模の液体貯水槽に対する壁面動水圧および波高の地震応答最大値を合理的に推定する方法を確立しようとするものである。



言いたい事を言ひたい！

日頃、嬉しい事、腹が立つ事、不思議な事を学生のみなさんに書いてもらいました。

★僕はくせ毛が嫌いなので運命に逆らってストレートパーマをかけていました。でも普通のストレートパーマでは髪がいたんだり、またそれほど効果もなかったので、くせ毛専用ストレートパーマをかけに某美容室にいった時のことをお話しします。

その店は割と混んでいて僕の他に2人おばさんが待っていました。しょうがねえなあと思いつつ椅子に座ってなんか暇つぶしに読むものないかなあと思ってさがしていました。しかし、そこには女性のファッション雑誌と盆栽の本しかない。そんなものに興味ないのでそのまま『ほけ〜』としてしていると、その店のママさん何を思ったのか、僕のために本を捜す行動にでたみたいで、うろろうしながら雑誌を捜していた。でも、なかなか見つからないように家の奥から捜してくる様子だった。僕はやっと暇がつぶせると思いちょっと心うきうき。しかし、ママさんが手にもってきた本は小学校低学年の子供が読みそうな本『コロコロコミック』ではないか。せっかく捜してくれてきた本をいらぬともいえず、僕はそれから1時間ぐらいその本を眺める運命に(おもしろくない〜)。教訓、運命に逆らうものはどうほにはまる。それからというものくせ毛のまがりにさらに磨きをかけるため、パーマをかけている。

★共立大生に限ったわけじゃないけど最近ただ漠然と“おもしろくない。大学なんてつまらない。”って言う学生がやけに多い。僕はそいつらに言いたい。あんたたちのおもしろい大学ってどんな大学？一体どんな夢を持ってどんな学生生活を送りたくて大学に来た？それが共立大にないからって大学のせいにするな！学校はただの受け皿であってそれ自体は楽しいものでも何でもない。楽しいものにするのは生徒自身の力なんだよ！くさった魚のような目をするんじゃない！自分の夢を人にたよろうとするな！ 以上です。



★僕は以前とても美しい景色を見ていたことがある。

名古屋から天理、奈良を通り、和歌山へ車で旅行したとき、奈良から和歌山へ通じる国道でのことでした。その景色は夕方の薄暗くなった頃、夕焼けと夜の闇で空が紫色をし、前面にまでせまる山は墨汁のように緑がかった黒色をしており、山と空との境は山に黄金色のレースをつけたように輝いていた。そしてもっとも目をひいたものが桜である。桜の花が山の中腹のあたりで咲いていて、山に帯をつけたようにぼんやりと白く浮びあがるようであった。

この風景を車から降りて写真にも写したが、目の網膜でとらえた映像ほど美しくなかった。その景色は例えていえば、鬼のいる昔のような場所というものです。

その他にも、山で見た森の木の葉を通した太陽の色、大阪のネオンの光と街の一瞬の静けさの感じなどと数多くあり、どれも視線をひくものでありますが、次にどこで、どういう様なものが見れるか楽しみです。

昔の人が名勝地とした、富士の山、日光などの景色もやはり美しいですが、日常的な美しさは身のまわりに起るだけに特に印象深いものがあると思います。

★あれは去年の夏の事、私は友人と共に近所の神社の夏祭りに出かけた帰り。私達は神社の近くの農道を歩いていました。その道は街灯1本もないまっくらな道でした。その道の中にさしかかった時の事、前方から子供のはしゃぎ声、私達はたいして気にも留めず話しながら歩き続けました。その時私達の足にドンと子供が当たって来たのです。私達はびっくりして左右を見ました。まわりは水田が広がるだけで私達にぶつかってこけたとしたら、水田の中におちたはずです。しかし、周りには子供のおちた様子はありません。すると後方からさっきの子供の声、私達は子供はやっぱり身が軽いねえと話しながら、帰りの道を急ぎました。そして友人の宅の前まで来た時、私達2人の顔は一気に血の気を失いました。

私達のズボンのこしから下にたくさんのドロまみれの小さな手形、そして足首の部分には子供のにぎったあとがあったのです。これは後日わかった事ですが、数年前の大雨の時、幼稚園から帰宅途中の子供が、用水口にすいこまれ死んだという事件があったそうです。

★自然環境は年々悪くなる一方である。オゾン層の破壊、熱帯雨林の伐採、工場から川に流される排水や同じ様に家庭から出る生活排水、工場の煙突から出るケムリや車から吐き出される排気ガス、有害物質の垂れ流しなど大きな問題がある。この事により人間の生活に対する影響は大きいものの、それ以上に他の生物に対する影響は大きく、環境の変化に敏感な生物は生きるのが困難となってしまった。

好きな動物の中でも特に憧れるのは鷹です。鷹の様に何者にも恐れず、力強く自由に飛ぶ事ができたらどんなに素晴らしい事か……。鷹が力強く飛ぶイメージは企業の商標に使われるなど、人々に親しまれてきました。野球で言えばダイエーホークス。フィラデルフィアイーグルズ（アメリカ）など。

また鷹のイメージとは反対のネコ、小鳥、犬などの様なかわいい生き物は自分の心にどんなに安らぎを与えてくれたことか知れません。それぞれに特色を持ったすばらしい生物達をもっともっと保護し、野生は野生らしくそのままに守りたい。そのためにも環境問題を考えてゆきたい。



★1年の頃、僕は寮にいました。寮の飯はいつもいつも同じようなものばかり。野菜が少なかったので、むしように野菜が食いたかった。昼、学食でカレーを食べ、夕ごはんでもカレーの時間が何回かありました。寮の朝めしは生卵とみそ汁とのり、それにごはんです。いつもどおりのメニューで、生卵が古い。僕は2年になったら寮をでて、いつも“おいしくて、栄養のある”ものを作ろうと心に深く誓いました。

2年の5月、朝めしに目玉焼きと昨日の残りのシチューを暖めたりして、朝めしにしては完璧なものを作っていた。しかし後期になると起きるのがだるくなり、“明日は作ろう”と反省する日が多くなった。

今、3年の僕は友達から、『朝めし食べてきた。』と聞かれて『朝めしって何。』という朝めしという言葉を忘れるぐらいに食べていない。

★その日僕は200円しかお金を持っていませんでした。お金を持っていないと小心者になってしまうクセのある僕はちょっとびくびくしながら学食で200円以下のメニューを探していました。“よしっ今日は丸天うどんにしよう”そう決心してレジへ向うと、そこに薄笑いをうかべ立っているおばさんが1人。少し微笑みながら“丸天うどん”と頼むと“あんた200円しか持ってないやろ”と矢のような一言。僕の心臓は予想もしなかったみごとなつっ込みひきつけを起こしてしまい、うどんの味を感じることなく学食をあとにしたのでした。その一件から数日が過ぎて心のキズもいえた頃、僕はたまっている実験のレポートを書くため売店へレポート用紙とボールペンを買に行きました。レポートがたまると小心者になってしまうクセのある僕はちょっとびくびくしながらレポート2冊とボールペン1本を持ちレジへ向うと、なんとそこには先日のあのおばさんがあの薄笑いをうかべて立っているではありませんか。びくつきながら品物とお金を出すと“あんたレポートたまとるんやろ”とまたまた矢のようなつっ込み。

お金がなくてもレポートためてもいいじゃねーか！ほっといてくれよおへ。

★数ヵ月前の珍しく冷え込んだある日、某アパートに2通の抗議の手紙が入っていた。その手紙にはバイクの音が大きいと書かれていたのだが、なんと漢字がJIS第一水準いや小学校3年生が書いたのよりはるかに少ない、しかも平仮名やカタカナ迄も間違えている（筆者もあまりひとの事はいえない）これは、もう恥以前に日本人と言えるのだろうか。

題ではオバタリアンと漢字について、だけでももう少し入り込んで、女性と常識(認識)について書いてみたい。

男の目(筆者の独断と偏見という意見もある)で見たと、完全に常識が足りない。さらに一部のひどいものになると、足りないどころか常識が無い・無い・無い。ほんとに1mgも無い、以前小倉駅・新幹線内等でいやというほど、知らされた。しかし常識が無いイコール、化学及び物理的根拠も無く、また人の迷惑を考えずに意見を述べたり、行動することだろう。

つまり、女性意識とは、化学や物理の事を考えながら人を思いやる心だと思う。

★おい！ その○○大○と○○高○とポケ○邪魔な形で道を塞ぐんじゃねえ！ てめえら、そういう歩き方されると人様の迷惑なんだよ。

ベルやホーンを鳴らしても避けない奴もいれば、もっとたちの悪いのになると、ほんの2.30cm避けただけで、どうやって通れちゅんじゃい、更にもう1回鳴らすと、ならみつけたあげくに(こんな幅も通れんのかいと言うような目つき) やっと、それでも50cmぐらい避けてくれる。

それと、こないだのポケ○、渋滞の車の間から、しかも4トトラックの前から飛び出しやがって、おかげで金○打ったやんか。

さらに、こないだのマーチに乗った○バタリアンてめえーおれを殺す気かいGSに入るとき曲がった後でウィンカーをつけるのは辞めてくれ危うく追突する所だったんだぞ。追突したら法的には、こっちが前方不注意で罰されるんだぞ。

そんなわけで、私は女性ドライバーが大嫌いだ!!

★今の子供たちは、たいへんですね。私たちが子供のころは小学校から帰って来ると日が暮れるまで外で遊んで、ゴハンまでTVを見ていました。

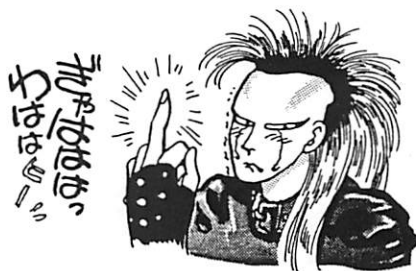
ゴハンが終わってからもずーっとTVを見て、私はホントTV時代の子供だったんだなと今考えても、そう思います。ところが！パン！ 今の子供たちときたら、家に帰ると、いきなり塾の三連発とか、家庭教師がカオをおぼえられないほど来たりとか、それはもう時間との戦い。夢も希望もないねホント。でも今は幼稚園ですら入園テストがある時代、それが彼らにはフツーなのかも知れない。そしてTV時代からVTRの時代、つまりビデオ時代が、やって来たのです。時間のない子供たちにはピッタリの時代、なんせ見たい時に見たい物が見れるし、TVもビデオにいれておけば面白くない所はパスできるんだから。まして新聞のTVガイドを見てワクワクしながら待つなんてことはしなくなった。しかし、それは時間を大切にしているということなんだろうか？ そうかも知れないけれども、私は、今の子供たちに。ゆっくり考えれる時間をあげてほしい。そしてビデオ時代の次には、時間に動かされる人間の時代でなく。時間を楽しめる人間の時代になると良いと思っています。by 子供のみかた!

★その日僕は帰りが遅くなり、酒酔い客の多いJR鹿児島本線下りの列車に乗っていました。車内はお酒のおいが充満して、あちこちで宴会のつづきが行われてました。列車が福間という田舎の駅に着いた時、酔い客の酔いをいっぺんに吹き飛ばす強烈な事件が起きました。

福間駅に列車が停まり客が乗り降りした後、間もなく列車のドアが閉まろうとするその瞬間、『ドコッ』という妙な音が響き車内は一瞬の静けさの後、数人の酔い客が僕の座っている横のドアを指さして『おいありゃなんか』と言ってます。そのドアを見ると何かはさまっているようです。よく見るとそれはまるで肌の色にまっ赤な30センチ位の張り金が放射状にのびた異様な物で、なんとかドアからはずれようと小刻みに動いてました。しばらくすると再びドアが開きその物体はぬけましたが入ってこようとはしません。一体何だろうと窓のぞくとそこに立っていたのは頭の上から足の先までバリバリにきめたパンクキッズであったのです。どうやらド

アにはさまっていたのは頭のように毛を剃った頭の側面にはドアのあとがくっきりと赤く残ってました。なんとも情けない少年でしたが目だけは鋭く光っており、大爆笑している酔い客に向けて中指を突き立てたのにはさすがに僕も笑ってしまいました。少年の悲しい抵抗も酔っぱらったおじさん達には全く通じることもなく、おじさん達は口々にうちの娘がああいう男のポスターを部屋にはっているだのまるでバケモノだの言ってました。

どんなにめいっぱいパンクしてもおじさんにはいい酒の肴にしかならなかったようです。ちゃんちゃん。



◇ 編集委員の言いたいこと

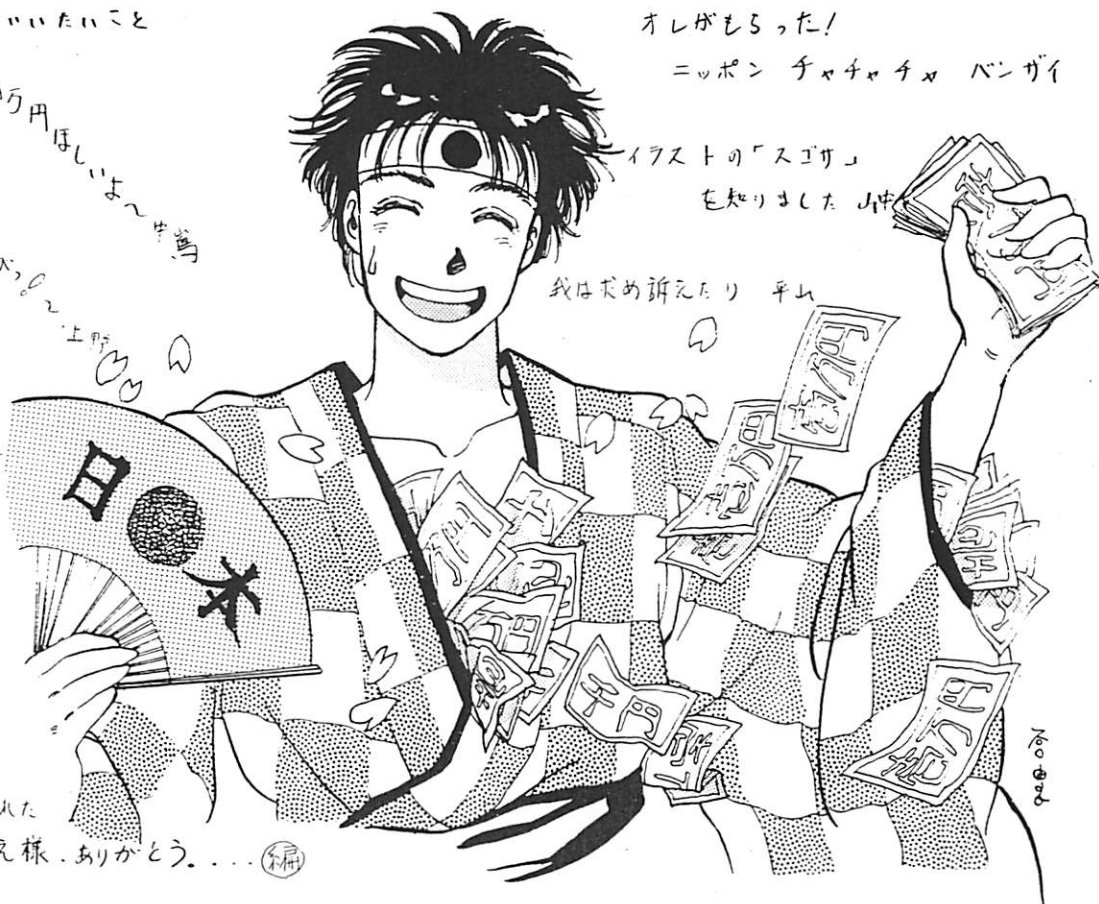
百万円ほしいよ〜中調
おしがり おしがり〜上野
いれ！一冊の漫画
のこぼ 名地

オレがもらった!

ニッポン チャチャチャ バンガイ 江田

イラストの「スゴサ」
を知りました 山中

我はだめ訴えたり 平山



この絵を書いてくれた

おねえ様、ありがとう。(不)

★EDITOR ROOM

授業が終わり、学生は足早に帰っていく。車のエンジン、女の笑い声ハイヒールの足音。それらが消える頃には辺りは薄暗くなり、外燈に明りがともる。学生にとり残された校舎は眠りについた獅子のごとく、どっしりして月でかすかにその姿を見せている。ふっと星に視線を向けると夜の女王が微笑んでいるようで、吸い込まれそうな気がした。

時が止まっている。

♪ノリノリ、なんなんだこの音は？ 音のほうに近づいていくと、そこにはこうこうと光を放っている部屋があった。こんな時間に学生はいないはずなのに。僕は怖い物見たさにおそろおそろ部屋に近づいていった。……くもりガラスで中が見れない。もう少し近づけば、傷がついて透明になっている部分で見えるはずだ。手は汗ばんでいた。僕は意を決め、その透明なところに向かって1歩、2歩と近づいた。顔にかかったくもの巣をはらい、中を覗くとそこには

COM編集室 、さうめん



いやー、疲れた、疲れた。やっぱり慣れないシリアスタッチな文章書くと疲れるわ。まあ、ここまで遠回しに書いてきたけど、ただ単にCOM編集部室を紹介したいだけなんよ。なんで紹介したいのかというと、まだ、まだCOMの存在を知らない人がいる。なさけな一い。

COMのEDITOR ROOMは学食から2学舎に入っすぐ左です。COMのメンバーは男しか入れない。従ってこの部屋は女人禁制よ、女人禁制！

(というのはいじは張ってごめんなさい。本当は女の子に入ってもらいたかったんだけど入ってこなかったもので…つい。)

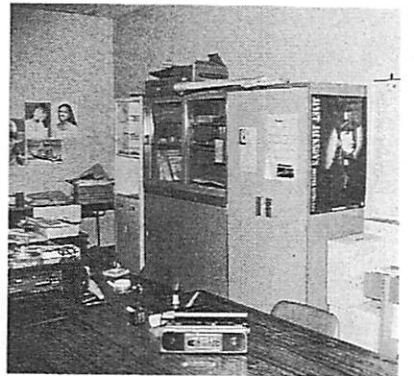
だいたい共立大に女の子が少ないのがいけんのよね。



ドアを開けると

そこには…

踊る奴に、歌う奴、眠てる奴に、笑う奴、勉強する奴に、突然自己紹介を始める奴までいて(そんな奴はいないって!)男ばかりでひしめき合いながら遊んでいます。



EDITOR ROOMは、7号の編集委員になってがらりと雰囲気が変わり、殺風景だった部屋も今ではポスターを汚ないぐらい張りめぐらしています。机の上は、ちらかし放題ちらかし、話し合いをする直前に片付けたりするんですが、お片付けするところにならがあるかわからなくなりまして、そこで何か捜しだしたりするとまた、部屋が汚なくなる。1年間飽きずにそれを繰り返してきました。(オス)

編集するときは必ずといっていいほど音楽をかけています。自分としてはTMの歌をCOMのテーマソングにしたかったんですが、COMのテーマソングはいつのまにか

Regainの歌

になってしまいました。

♪ ♪ ♪ ♪ 黄色と黒は勇気の印
24時間戦かえますか
リゲイン、リゲイン
ぼくらのリゲイン…

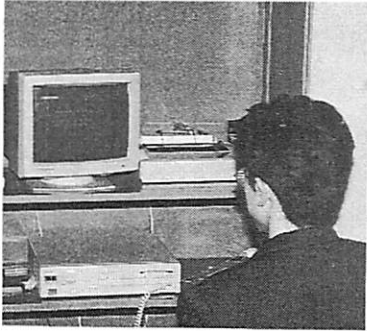
つづき…

COMの編集に一番協力的だったのは、誰がなんといおうと

静香ちゃん

に決まりばい。(お坊ちゃまの見すぎでついつい茶魔語がでてしまう。)

コ、コムにも女の子がいたの? という声が聞こえてきそうですが、静香ちゃんとはパソコンの事なんです。(ヘエ ヘエ ばからしいでしょ。)



この静香という名まえを決めるのにも結構、討論しました。(ばかばかしいと言わずに、まあ読んでください。)最初はCOMにパソコンが入ってきたのだから、両方の名をとって“パソコム”にしようかと話してたんです。ところが、男ばかりでCOMにもうるおいが欲しい、というわがままな奴もいまして、女の名にしようとなりました。

京都にいるときあ、しのぶと呼ばれたが一、神戸じゃ、なぎさと名乗ったのという歌がありますが、ありとあらゆる女の名ができました。で結局決まったのが静香です。(俺はりえがよかった。なんといっても元気があるし、自分を飾らない。ふんどし姿には、ぶっ飛び。)なにも、工藤静香をイメージして選んだのではないのですが、部員の中にはあわ

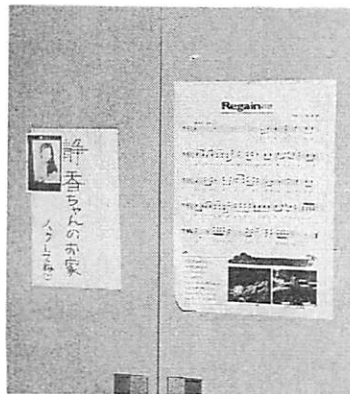
て者がいまして、これもいつのまにか、工藤静香のポスターをどんと張っている。(いつのまにかが、やたらと多い。)



静香のイメージが工藤静香のイメージじゃないとすると、一体誰のイメージだろう。

答えはドラエモンにでてくるシズカちゃんだったんです。ロリコンじゃないよ。

静香ちゃんのお家の戸には、“ノックしてね”とか書いてあるものだから、部員たちはノックして戸を開いています。けなげだー。



とまあ、こんなところでCOMの雑誌は作られているわけです。COMがいずれ福原学園の情報雑誌になったらおもしろいんじゃないかなあと思うのですが…。

COMは1年に一冊の雑誌で3回生、2回生が主力となり動いています。これからも末永く愛読してください。お願いします。

たわ言

平成は激動の時代といっていでしょう。

ずっと変わらないと思われていたベルリンの壁が崩壊し、民主化の運動が次々と起こる。(ゴルバチョフさんがんぼって!!)

もう1回、ずっと変わらないと思っていたタイソン伝説が崩れた。

“初めてのダウン、初めてのダウンです。プロに入って初めてのダウンです。… ノックアウトか。ノックアウト!! タイソン伝説が崩れました。”

タイソンがKOされるなんて誰が思っただろう。興奮しているアナウンサーの声がやけに耳にひびき、タイソンがノックアウトされるシーンがいく度となくながされた。

(1990.2.11)

8Rでタイソンが放った右アッパーはダグラスを捕え、タイソンはダグラスからダウンを奮った。それがカウント10を越えているのではないかと審議されているが、この原稿を書いている時点でどうなるかわからない。しかし、タイソンが倒されるとはショックである。

タイソンにはまた復活してもらいたい。新たにタイソン伝説を築いてもらいたい。(タイソンと千代の富士には不動の記録を作ってもらいたいよね。) イェッサー。

第4回工学会講演会

吉野ヶ里と邪馬台国



佐賀県・吉野ヶ里遺跡の調査を続けている同県教育庁文化課参事高島忠平さんが12月9日に、わが大学の工学部大教室で「吉野ヶ里と邪馬台国」と題して講演されました。

高島さんは「吉野ヶ里遺跡の規模は現在で25%。しかし、今後の調査次第では40%にも広がると思う。魏志倭人伝にある宮室、楼観、成棚、邸閣といった跡が確認されたことから邪馬台国と同じ時代の『クニ』の形を取っているが、邪馬台国であるかは疑わしい」と述べられました。

また邪馬台国近畿説が一般的だが、高島さんは「邪馬台国に不可欠の楼観(物見やぐら)で、主柱となる柱が、重圧により地面に埋まらないようにするため柱の下に横木を置いた技術は二、三世紀に九州各地で見られる。近畿では五世紀によく始まっていることから邪馬台国の時代の二~三世紀には、その条件を満たす大型楼観は近畿には存在しなかった」と九州説を強調され、その位置は八女市付近が有力であると述べられました。



編集後記

No. 7のCOMは、教職員と学生との距離が縮まるような企画を考えてみました。まず教職員のインタビュー。これは、教職員の趣味や、学生時代の事、さらに学生への助言などを聞き、学生が教職員とコミュニケーションをとるときの手助けになればと思います。次に、『コミュニケーションスペースを造ろう』と題して、学内活性化するために教職員と学生との、または学生同士のコミュニケーションをはかる場を造りたいと考えアンケート調査をしました。コミュニケーションスペースに関心をもっている学生が80%以上という結果が得られ嬉しく思います。そしてこの2つのまとめとして、我が大学の伊東学長にインタビューしました。

今回のCOMはより多くの学生の声を聞きたいと思いアンケート調査を2回も行いました。今回御協力下さいま



学生編集委員長
実松 忠義

した教職員の方々や、学生、関係者の皆様に編集委員一同心から感謝いたします。次回のCOMも今回以上の協力をお願いし、さらにグレードアップすることを望みます。

最後にCOMのメンバーに。メリットを求めずに働いたことは学生の時しかできない事だと思い、誇れることだと思います。お疲れさん。

◇ 学生編集委員



◆中島 正人

COMCOMCOMCOMCOMで初まり、COMで終わった平成元年度だった。また手塚治虫大先生が亡くなられ、更に松田優作もガンで死ぬなど、大破乱の年でもあった。



◆山中 秀高

この一年、自分の「こだわり」と「力」不足で失う物があまりにも大きすぎた。しかしCOMを編集し終った今、その穴埋ができそうです。二度と同じ物で埋めることはできないが。



◆伊藤 英助

ごめんなさい。私はとうとう何一つせずにすんでしまいました。ケガしたりいろいろあったもので……。他の編集のみなさん。こんな私をゆるしてね。海より深く反省。



◆上野 耕助

まだまだやりたい事があったのですが、ちょっと時間的にむりな面もあって自分の考えていたことの半分くらいしかできませんでした。その割には身も心もボロボロです。



◆池田 智人

今回のCOMは日常生活に重点が置かれています。COMのメンバーは私生活のまんまで編集しました。文を書く難かしさと、団結する難かしさを改めて知りました。



◆宮地 高秀

晩御飯につられて、まあ少しだけやってみようと、思い入ったが何か毎日ほとんど夜までのこって仕事をやっている。(注 本人は仕事と遊ぶの単語の区別は付いていない。)



◆平山健一郎

みなに推薦されてCOM編集委員になりました。が、しかし、何をもって、俺を推薦したのだろう。たぶん何も考えていないと思うが。

以上



◆吉開 秋欣

無意自然

♥ Illustration

◆谷口 由良

◇ 教職員編集委員

土木	高山	俊一
環境	藤	普子
教養	太田	成俊
電気	眞田	瑞穂
開発	成富	勝
事務	永田	恭敬



COM編集委員 平成元年 12月 撮影

*** COM * 名称由来**

"COM"は、communication, community, companion, commonなどの英語の接頭語です。それは、with, together, altogether, completely すなわち「皆さん一緒に」と言う意味を持っています。この意味は、この雑誌の目的である教職員、学生の交流と一致します。そのような訳で、その新鮮な語感とあいまって、この雑誌の名称に決定されました。



発行 **九州共立大学工学部**

〒807 北九州市八幡西区自由ヶ丘1番8号

TEL 093-691-3331・3333